



はじめに

このたびは、「WS005IN」(以降、本製品と呼びます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(※4～9ページ)は、必ずお読みいただき、安全に正しくお取り扱いください。お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

■ ユーザー登録は、当社ホームページ上からオンラインで行ってください。

ユーザー登録時にはご使用のW-SIM(※3ページ)本体に記載しておりますシリアルナンバー(数字9桁)をご入力いただき、W-SIMをユーザー登録します。事前にシリアルナンバーをお控えの上ご入力ください。
当社ホームページアドレス：URL <http://www.netindex.co.jp/>

おことわり

本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。

本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容については万全を期してはありますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本製品のフォントは株式会社リコーが製作、販売したリコービットマップフォントを使用しております。

日本語変換は、オムロンソフトウェア株式会社のモバイルWnnを使用しています。

Mobile Wnn V2® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2001-2003 All Rights Reserved.

W-SIM(ウィルコムシム)について

W-SIM(ウィルコムシム)とは、PHS無線通信技術(アンテナ部および無線機)を搭載し、電話帳などのユーザーデータを合わせ持つ汎用性のある多機能通信モジュールです。

W-SIMは抜き差しが可能ですので、本製品以外のW-SIM対応端末(データ通信カードなど)に取り付けることで、いろいろなシーンで多種多様に利用することができます。



お知らせ

- 本製品は、通信中着信機能※に対応していません。通信中着信機能が搭載されたW-SIMをご利用の場合でも本製品に取り付けた場合は、ご利用になれません。

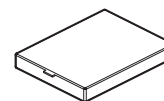
※通信中に着信の有無をお知らせする機能です。

梱包品の確認

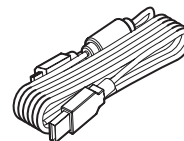
- 本体
(WS005IN)



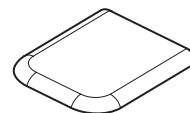
- リチウムポリマーバッテリー
(LISALIPL-100)



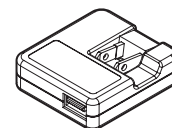
- 充電用ケーブル
(LISACBL-100)



- バッテリーカバー



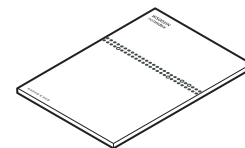
- ACアダプタ
(GRVADP-100)



- W-SIM(ウィルコムシム)



- 取扱説明書(保証書)



お知らせ

- 本体のみご購入の場合は、W-SIMは同梱されておりません。

お願い

- リチウムポリマーバッテリーとバッテリーカバーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(※166ページ)をご参照ください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

 危険	 警告	 注意
この表示は「人が死亡または重傷 ^{*1} を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。	この表示は「人が死亡または重傷 ^{*1} を負う可能性が想定される内容」を示しています。	この表示は「人が傷害 ^{*2} を負う可能性が想定される内容や物的損害 ^{*3} の発生が想定される内容」を示しています。
^{*1} 「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。		
^{*2} 「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。		
^{*3} 「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。		

図記号の説明

			
行ってはいけない(禁止)内容を示しています。	分解してはいけない(禁止)内容を示しています。	必ず実行していただく(強制)内容を示しています。	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

免責事項について

- 地震および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記憶内容の変化・消失・事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社はその責任を負えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

本体/バッテリー/充電用ケーブル/ACアダプタ 共通

 危険 必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。

-  必ず専用の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・液漏れの原因となります。
本製品周辺機器
- ・リチウムポリマーバッテリー(LISALIPL-100)
 - ・充電用ケーブル(LISACBL-100)
 - ・ACアダプタ(GRVADP-100)

 高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)や引火性ガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

 電子レンジや高温容器などの中に入れてください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

 接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入れたりしないようにしてください。火災や故障の原因となります。

 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。

 警告 必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。

 落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。発熱・発火・破裂・故障・液漏れの原因となります。

 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電の恐れがあります。

 分解や改造をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。
修理などは当社窓口にご相談ください。

 水などの液体をかけたりしないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグを抜いてください。水に濡れた場合や湿気による故障は保証外となり、修理ができません。

注意 必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

バッテリーカバーを取り外したまま使用しないでください。



禁止

直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。変形や故障の原因となる場合があります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。



禁止

幼児の手の届く場所には置かないでください。傷害などの原因となる場合があります。



禁止

湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水に濡れた場合や湿気による故障と判明した場合は保証の対象外となり、修理ができません。



禁止

使用中に煙が出る、においがする、異常な音がする、発熱しているなど異常が起きたら使用をしないでください。異常が起きた場合は電源を切り、バッテリーを外してご連絡ください。また、水に濡れたり、落下したり、破損したりした場合などもそのまま使用せず、ご連絡ください。



禁止

お客様による修理などは危険ですから、絶対にしないでください。



禁止

外部から電源が供給されている状態の本体・バッテリー・充電用ケーブル・ACアダプタに長時間、触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止

W-SIMの挿入口(32ページ)に異物などを入れないでください。W-SIMスロットを傷つけてW-SIMの破損の原因となります。

本体について

危険 誤った取り扱いをすると、発熱・液漏れ・破裂のおそれがあり危険です。必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

赤外線通信ポートを目に向けて送信しないでください。目に影響を与える可能性があります。また、その他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。



警告 必ず、以下の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

交通事故の原因になりますので、自動車などを運転中は使用しないでください。運転者が使用する場合は、駐車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



強制

通話するときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに通話すると、転倒、交通事故の原因となります。



禁止

運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、航空機内では使用しないでください。(電源をお切りください。)



強制

埋め込み型心臓ペースメーカや医用電気機器の近くでPHSを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、以下のことを守ってください。

1. 埋め込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、PHSをペースメーカから離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るように心がけてください。
3. 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
 - 手術中・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはPHSを持ち込まないでください。
 - 病棟内では、PHSの電源を切ってください。
 - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切ってください。
 - 医療機関が個々にPHSの使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で埋め込み型心臓ペースメーカ以外の医用電気機器を使用されている場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。



強制

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例：ペースメーカ・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)

注意 必ず、以下の注意事項をお読みになってからご使用ください。

 禁止 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

 強制 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
 (「使用材料と表面処理について」※12ページ)

バッテリーについて

本製品のバッテリーは、リチウムポリマーバッテリーです。
 バッテリーはお買い上げ時には十分充電されていません。必ず充電してからお使いください。

なお、リチウムポリマーバッテリーの取り扱いについては、「バッテリーについて」※11ページ)をご参照ください。



Li-Polymer

危険 誤った取り扱いをすると、発熱・液漏れ・破裂のおそれがあり危険です。必ず、以下の危険事項をお読みになってからご使用ください。

 禁止 (+)(-)端子およびもう1つある端子部分はショートさせないでください。

 禁止 釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

 禁止 持ち運ぶ際や保管するときは、金属片などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となります。

 分解禁止 分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破損の原因となります。

 禁止 バッテリーを水や海水などで濡らさないでください。バッテリーが濡れると、発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、バッテリーを外して、お買い上げの販売店またはウィルコムサービスセンター※187ページ)までご連絡ください。

 禁止 破損や液漏れしたバッテリーを使用しないでください。

 強制 内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。

 強制 充電する場合は、必ず専用の充電用ケーブルとACアダプタを使用してください。
 ・充電用ケーブル(LISACBL-100)
 ・ACアダプタ(GRVADP-100)

充電用ケーブル/ACアダプタについて

警告 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず、以下の警告事項をよくお読みになってからお使いください。

 禁止 指定の充電用ケーブルおよびACアダプタを使用し、指定以外の電源電圧では使用しないでください。火災や感電などの原因となります。海外で使用する場合には、別途、適合した電源プラグの形状のアダプタをご使用ください。

 禁止 ACアダプタの電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電や発熱・発火による火災の原因となります。ゆるんだコンセントは使用しないでください。

 禁止 充電用ケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

 禁止 雷が鳴り出したらACアダプタの電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

 強制 お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。また、ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

 強制 水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。

注意 誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず以下の注意事項をお読みになってからお使いください。

 禁止 風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。感電の原因となります。

 禁止 濡れたバッテリーを使用しないでください。

 強制 充電は安定した場所で行ってください。傾いたところや、ぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。本製品が外れたり、火災や故障の原因となります。

 強制 ACアダプタの電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。充電用ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

取扱上のお願

本体／バッテリー／充電用ケーブル／ACアダプタ共通

- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因にもなりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品をお使いのときに、そらしたり、無理な力を加えたりしないでください。故障や破損の原因となります。取り扱いには十分にご注意ください。
- 極端な高温・低温・多湿はお避けください。
(周辺温度5℃～35℃、湿度45%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きをしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取り外してください。

本体について

- 公共の場所でのご使用の際は、周囲の迷惑にならないようご注意ください。
- 電話帳やメモ帳などに登録した内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は手帳などに控えておいてください。なお、事故や故障が原因で電話帳やメモ帳などが変化・消失した場合の損害および損失利益につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ストラップなどを持って振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因となることがあります。また、ヒモが傷ついているなど、傷んだストラップは取り付けしないでください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの堅い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの堅い部材がディスプレイに触れるストラップは、キズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話部が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話部(音声穴)が耳周囲に塞がれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本体内部に水滴が付くことがあります(結露といえます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますので、ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- 水をかけないでください。本製品は、防水仕様になっておりません。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品に使用しているディスプレイは、極めて稀にバックライトがOFFになった際に黒いラインが入る場合がございますが、表示機能および性能には影響がございませんので、あらかじめご了承ください。

バッテリーについて

- 夏季、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、バッテリーの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長時間で使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
(充電中、バッテリーが温かくなることがありますが異常ではありません。)
- バッテリーには寿命があります。充電をくり返すうちに利用可能時間は徐々に短くなります。最初に比べて半分程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーをお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。



Li-Polymer

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずに最寄りのウィルコムプラザ／ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店などにお持ちください。
充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
有限責任中間法人JBRC
TEL：03-6403-5673
ホームページ：http://www.jbrc.com

充電用ケーブル／ACアダプタについて

- ご使用にならないときは、ACアダプタの電源プラグをコンセントから外してください。
- 充電中、周囲の温度が高いかもしくは低いと保護機能がはたらき、充電できない場合があります。充電ケーブルを外し、周囲温度が5℃～35℃の場所にしばらく置いてから、再度充電してください。

暗証番号／LI暗証番号について

- 暗証番号は、電話帳ロック／設定リセット／セキュリティ、選択削除／全件削除などの機能をご利用いただく際に必要となりますので、必ずご確認ください。
- LI暗証番号は、LI機能(※152ページ)を設定するときに必要な暗証番号です。

お買い上げ時：
暗証番号：「0000」
LI暗証番号：「0000」

お願い

- 暗証番号とLI暗証番号はお買い上げ時には「0000」が設定されていますが、お客様が必要に応じてそれぞれ変更できます。(※136、154ページ)
- 暗証番号とLI暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようご注意ください。万一お忘れになった場合は、本製品とウィルコムの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書(顔写真の入ったもの)をご用意の上、ウィルコムプラザ／ウィルコムカウンターまでご連絡ください。

暗証番号

--	--	--	--

LI暗証番号

--	--	--	--

使用材料と表面処理について

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース	PC	UV塗装
ディスプレイウインドウパネル	PMMA	ハードコート
キー	PC	UV塗装

マナーについて

マナーもいっしょに携帯しましょう

周囲への心配りを忘れずに、楽しく安全に使いましょう。

使用禁止の場所では電源を切りましょう



- 電波が飛行に支障をきたすおそれがあるので、航空機内では電源を切っておきましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

使用する場所の状況や、声の大きさに気をつけましょう



- 自動車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。運転中は電源を切るか安全運転モード(※51ページ)などにして安全運転を心がけましょう。
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、電話をかけることを控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように、電源を切るかマナーモード(※53ページ)を利用しましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。
- 電車の車内やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。

もくじ

■ はじめに	2
■ おことわり	2
■ W-SIM(ウィルコムSIM)について	2
■ 梱包品の確認	3
■ 安全上のご注意	4
安全にお使いいただくために必ずお読みください	4
本体/バッテリー/充電用ケーブル/ACアダプタ共通	5
本体について	7
バッテリーについて	8
充電用ケーブル/ACアダプタについて	9
■ 取扱上のお願い	10
本体/バッテリー/充電用ケーブル/ACアダプタ共通	10
本体について	10
バッテリーについて	11
充電用ケーブル/ACアダプタについて	11
暗証番号/L暗証番号について	11
使用材料と表面処理について	12
■ マナーについて	12
マナーもいっしょに携帯しましょう	12

1

ご使用になる前に

本書の読みかた	20
各部の名称と機能	22
各部の名称	22
各部の機能	23
ディスプレイの見かた	24
ディスプレイの照明について	24
ピクト表示エリア	24
壁紙および日付/カレンダーの表示	25
操作ガイド表示エリア	25
キー操作の基本	26
カーソルを動かして選択/確定する (カーソルキー/センターキー)	26
数字キーを使って項目を選択する(ダイヤルキー)	27
一つ前の画面に戻る/操作を中止する (左機能キー/電源・終話キー)	27
機能キーの操作について	27
主なキーの役割について	28
ご使用前の準備	30
バッテリーについて	30
充電する	31
W-SIMを取り付ける	32
電源をON/OFFにする	33
時計を設定する	34

2

基本的な使いかた

電話をかける	36
電話番号を入力してかける	36
発信履歴から電話をかける(リダイヤル)	38
着信履歴から電話をかける	39
自分の電話番号を相手に通知する	40
国際電話をかける	41
電話を受ける	42
電話がかかってきたら	42
通話中や着信中にできること	43
通話中に受話音量を調節する	43
小さな声で話せるようにする(小声通話)	43
通話中に保留する	43
かかってきた電話を留守応答する	44
着信中に着信音を一時的に切る(クイックサイレント)	44
着信中に着信音をバイブレータに切り替える(マナー着信)	44
通話中にプッシュ信号を送る	45
ダイヤルキーを使ってプッシュ信号を送る	45
発信履歴／着信履歴からプッシュ信号を送る	46
電話帳に登録したプッシュ信号を送信する	46
メインメニューから機能呼び出す	47
項目を選んで機能呼び出す	47
機能番号を入力して機能呼び出す	48
留守電機能を使う.....〈留守電機能〉	49
電話に出られないときに相手の用件を録音する(留守電設定)	49
応答メッセージを録音／再生／消去する	50
留守録を再生／消去する	50
安全運転モードを設定する	51
応答先と応答方法を切り替える	52
安全運転モードを解除する	52
マナーモードを設定する	53
マナーモードを解除する	53
マナーモード中のバイブレータ／LEDの設定をする	53
着信拒否を設定する.....〈着信拒否〉	55
着信拒否を設定／解除する	55
着信拒否する相手を登録／編集する(拒否リスト編集)	56
着信拒否に登録した電話番号／Eメールアドレスを削除する	56

3

文字の入力と設定

文字を入力する	58
文字入力モードの切り替え	58
各キーに割り当てられた文字について	59
ひらがなを入力する	59
濁点／半濁点を入力する	60
小文字のひらがなを入力する	60
英字を入力する	60
数字を入力する	60
文字を削除する	60
漢字やカタカナに変換する	61
予測変換で入力する	61
文字を変換して入力する	61

3

文字の入力と設定 (つづき)

文字入力メニューを使う	63
絵文字を入力する	64
記号を入力する	64
定型文を入力する	65
文字をコピー／ペースト(貼り付け)する	65
各機能からデータを引用する	66
定型文を編集する.....〈定型文〉	66
定型文をリセットする	66
よく使う単語を登録する	67
ユーザ辞書に単語を登録／編集する	67
ユーザ辞書に登録した単語を削除する	67
学習辞書をリセットする.....〈学習辞書リセット〉	68

4

電話帳の使いかた

電話帳に登録する.....	70
電話帳の各項目に登録する	70
他の機能から電話帳に登録する	74
電話帳を検索する.....	75
名前(読み)で検索する	75
メモリ番号で検索する	76
グループで検索する	76
電話番号で検索する	76
登録内容を編集／削除する	77
編集する	77
削除する	77
電話帳から発信する.....	78
電話をかける	78
メールを送信する	78
スピードダイヤルで電話をかける	80
グループに名前を付ける	80
グループ名変更.....〈グループ名変更〉	80
相手によって着信音などを変える	81
グループ着信設定.....〈グループ着信設定〉	81
W-SIMの電話帳を更新する.....〈W-SIMマニュアル更新〉	82

5

メールの使いかた

オンラインサインアップをする.....〈オンラインサインアップ〉	85
設定内容を確認／変更する	86
Eメール／ライトEメール／ライトメールについて	87
Eメールについて	87
ライトEメールについて	88
ライトメールについて	89
メールメニューについて	90
Eメールを作成して送信する	91
Eメールを作成する	91
アドレスリストを編集する	93
Eメールの送信メニューについて	94
Eメールを送信する	95
保存したEメールを編集して送信する	95

5

メールの使いかた (つづき)

ライトEメールを作成して送信する.....〈ライトEメール〉	96
ライトEメールを作成する.....	96
ライトEメールを送信する.....	97
保存したライトEメールを編集して送信する.....	97
ライトメールを作成して送信する.....〈ライトメール〉	98
ライトメールを作成する.....	98
ライトメールを送信する.....	99
保存したライトメールを編集して送信する.....	100
メールを受信／返信／転送する.....	100
受信したメールを読む.....	100
メールに返信する.....	103
メールを転送する.....	104
メール本文のEメールアドレス／電話番号を直接利用する (クリックابل).....	104
メールを管理する.....	106
メール一覧画面のメニューを使う.....	106
受信Eメール詳細画面のメニューを使う.....	107
受信ライトEメール／ライトメール詳細画面のメニューを使う.....	108
送信Eメール詳細画面のメニューを使う.....	109
送信ライトEメール／ライトメール詳細画面のメニューを使う.....	110
メールを削除する.....	111
メールを別のフォルダに移動する.....	111
メール一覧の表示順を変える(ソート).....	112
メールを保護する.....	112
メールの機能を設定する.....〈メール設定〉	113
フォルダ名を変更する.....	114
署名を設定する.....	115
メールの文字の大きさを設定する.....	116
ライトメール送信時の確認音を設定する.....	116
センター番号を変更する.....	117
ライトEメールの題名入力不要にする.....	117
EメールセンターのEメールを削除するか設定する.....	118
Eメールの通信方式を設定する.....	119
Eメールの返信先を事前に指定する.....	120

6

音/バイブレータ/ LEDの設定

着信音や着信パターンを設定する.....〈着信設定〉	122
着信音量を設定する.....	123
着信メロディを設定する.....	124
バイブレータを設定する.....	124
バイブレータ優先を設定する.....	125
LEDの点滅パターンを設定する.....	125
リマインダーを設定する.....	126
キーの操作音を設定する.....〈キー確認音〉	126
保留音を設定する.....〈保留音〉	127
受話音量を設定する.....〈受話音量〉	127
通知音を設定する.....〈通知音設定〉	128
通話経過時間の通知音を設定する.....	128
圏外のときの通知音を設定する.....	128

7

画面/照明の設定

待受画面の壁紙を設定する.....〈待受画面〉	130
画面やキーのバックライトを設定する.....〈バックライト〉	130
画面の点灯時間を設定する.....	130
キーの照明を設定する.....	131
画面の明るさを設定する.....〈輝度調整〉	131
画面のコントラストを設定する.....〈コントラスト〉	131
ダイヤル発信中やメール送信中の 動画を設定する.....〈動画設定〉	132

8

セキュリティ機能 の設定

キーロックを設定／解除する.....	134
電話帳にロックをかける.....〈電話帳ロック〉	134
ダイヤルロックを設定／解除する.....〈ダイヤルロック〉	135
ダイヤルロックを設定する.....	135
ダイヤルロックを解除する.....	135
シークレットモードを設定／解除する...〈電話帳シークレット〉	135
暗証番号を変更する.....〈暗証番号変更〉	136
登録内容や各機能の設定をリセットする..〈設定リセット〉	136
W-SIMの認証コード (PINコード)を設定する.....〈W-SIM設定〉	137

9

その他の 便利な機能

自分の電話番号を確認／登録する.....〈プロフィール〉	140
自分の電話番号を確認する.....	140
詳細を登録する.....	140
登録した詳細を確認／編集／削除する.....	141
赤外線通信を利用する.....	142
データを受信する.....	142
データを送信する.....	144
アラーム機能を使う.....〈アラーム設定〉	145
アラーム設定を登録／編集する.....	145
アラーム設定を一時的に停止する.....	146
アラームを止める.....	146
時計の表示方法を設定する.....〈表示モード〉	147
カレンダーを表示する.....〈暦(こよみ)〉	147
スケジュール機能を使う.....〈スケジュール〉	148
スケジュールを登録／編集する.....	148
スケジュールを削除する.....	149
電卓を使う.....〈電卓〉	149
メモ帳を使う.....〈メモ帳〉	150
メモを登録／編集する.....	150
メモを削除する.....	150
電波の送受信を停止する.....〈停波モード〉	150
小さな声で話せるように設定する.....〈小声通話〉	151
相手が応答したことをお知らせする.....〈応答パイプ〉	151
充電中にW-SIMの電話帳を更新する.....〈充電中更新〉	151

9

その他の 便利な機能(つづき)

現在の位置情報を通知する	152
LI機能を設定する	152
相手から位置情報送出の要求があったとき	155
国際ローミングを利用する	155
ローミングモードに切り替える	155
ローミングモードで電話をかける	156
ローミングモードで電話を受ける	156
ローミング情報を登録する	157
タイ/ベトナムのローミング情報をリセットする	158

10

ウィルコム の各種サービス

国際電話サービスについて(申し込み不要)	160
位置検索サービスについて	160
留守番電話サービスについて	160
メッセージを確認する	160
メッセージを聞く	161
留守番電話サービスの設定を変更する	161
安全運転モードについて(申し込み不要)	162
着信転送サービスについて(申し込み不要)	162
料金分計サービスについて	163
料金分計で電話をかける	163
国際ローミングサービスについて	164

11

付 録

主な仕様	166
バッテリーの交換	166
バッテリーを取り付ける	166
バッテリーを取り外す	167
故障とお考えになる前に	168
本体について	168
オンラインサインアップについて	169
Eメール/ライトEメール/ライトメールについて	169
携帯電話/PHS端末のリサイクルについて	170
機能一覧	171
各機能の選択項目一覧	175
定型文一覧	175
記号一覧	176
絵文字一覧	177
アニメーション絵文字一覧	177
フレーム一覧	178
索引	179
お問い合わせ先	187
株式会社ネットインデックス	187
ウィルコムサービスセンター	187
通話相手先電話番号の照会方法について	187
保証書	裏表紙

1

ご使用になる前に

本書の読みかた	20
各部の名称と機能	22
各部の名称	22
各部の機能	23
ディスプレイの見かた	24
ディスプレイの照明について	24
ピクト表示エリア	24
壁紙および日付/カレンダーの表示	25
操作ガイド表示エリア	25
キー操作の基本	26
カーソルを動かして選択/確定する (カーソルキー/センターキー)	26
数字キーを使って項目を選択する(ダイヤルキー)	27
一つ前の画面に戻る/操作を中止する (左機能キー/電源・終話キー)	27
機能キーの操作について	27
主なキーの役割について	28
ご使用前の準備	30
バッテリーについて	30
充電する	31
W-SIMを取り付ける	32
電源をON/OFFにする	33
時計を設定する	34

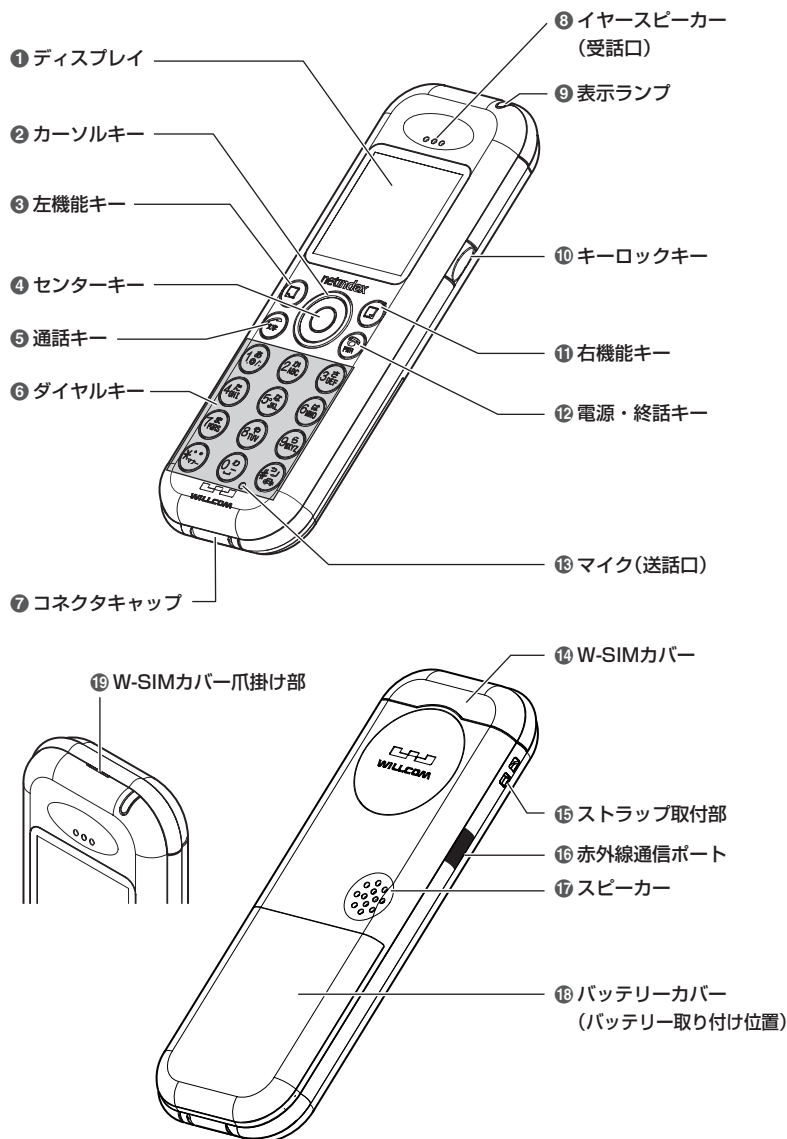
- キー操作の表記については、「キー操作の基本」(26ページ)をご参照ください。
- 下記のページは説明のためのサンプルです。

21

各部の名称

1

ご使用になる前に



各部の機能

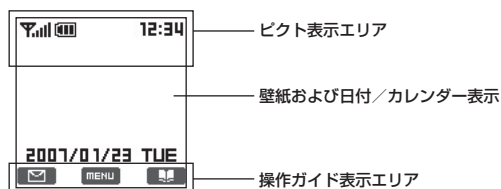
- ① ディスプレイ：(「ディスプレイの見かた」24ページ)
- ② カーソルキー ：画面上のカーソルを移動するときに押します。
 - ・待受中に を押すと、発信履歴(リダイヤル)が表示されます。
 - ・待受中に を押すと、着信履歴が表示されます。
 - ・待受中に を押すと、電話帳の検索画面が表示されます。
 - ・待受中に を押すと、スケジュールが表示されます。
- ③ 左機能キー ：ディスプレイ左下に表示している機能进行操作するときに押します。
- ④ センターキー ：各機能の登録や設定をするとき、また選んだ項目を確定するときに押します(ディスプレイ中央下に表示している機能进行操作するときに押します)。
- ⑤ 通話キー ：電話をかけるときや受けるときに押します。
文字入力中は、文字入力モードを切り替えます。
- ⑥ ダイヤルキー：電話番号や文字を入力するときに押します。
- ⑦ コネクタキャップ：充電用ケーブルを接続するときに開きます。
- ⑧ イヤースピーカー(受話口)：通話中に相手の声が聞こえます。
- ⑨ 表示ランプ：電話の着信時やメールの受信時に点灯します。
- ⑩ キーロックキー ：キーロックを設定/解除するときに押します。
- ⑪ 右機能キー ：ディスプレイ右下に表示している機能进行操作するときに押します。
- ⑫ 電源・終話キー ：電話を切るときに押します。また電源を入れるときや切るとき、機能の設定を終了するときに押します。
- ⑬ マイク(送話口)：通話中に自分の声を相手に伝えます。
- ⑭ W-SIMカバー：W-SIMの取り付け・取り外しをするとき、このカバーを開けます。
- ⑮ ストラップ取付部：ここにストラップを取り付けます。
- ⑯ 赤外線通信ポート：赤外線通信を行うときに使用します。
- ⑰ スピーカー：電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。
- ⑱ バッテリーカバー：バッテリーを交換するとき、このカバーを開きます。
- ⑲ W-SIMカバー爪掛け部：W-SIMカバーを開けるときに使用します。

1

ご使用になる前に

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示される内容は次のようになっています。



お知らせ

- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

ディスプレイの照明について

電源を入れたときや、電話／メールの着信があったとき、キー操作中などに照明が点灯します。ディスプレイの照明の点灯時間や明るさを、お好みに合わせて変更することができます。

- 「画面の点灯時間を設定する」 130ページ
- 「画面の明るさを設定する」 131ページ
- 「画面のコントラストを設定する」 131ページ

ピクト表示エリア

表示内容	表示の意味
電波状態表示	受信している電波状態を表示します。
電波状態表示	電波が十分届いています。
圏外	サービスエリア外にいるか、電波が届いていません。
停波モード	停波モードがONになっているため、電波の送受信が停止中です。
W-SIM	W-SIMが取り付けられていないときに表示されます。
バッテリー残量表示	バッテリー残量の目安を表示します。
充電中	充電中を示します。
十分残っています。	少なくなっています。
あまりありません。充電してください。	
ほとんどありません。充電してください。 (警告音が鳴り、約60秒後に電源が切れます。)	

表示内容	表示の意味
未読メール	未読のEメール／ライトEメール／ライトメールがあるときに表示されます。
通話中表示	通話中に表示されます。
W-SIM更新要求表示	W-SIMの電話帳の更新が必要なときに表示されます。
時計表示	現在の時刻が表示されます。
バイブレータ表示	音声着信(124ページ)のバイブレータを設定しているときに表示されます。
サイレント表示	音声着信(123ページ)の着信音量を「OFF」に設定しているときに表示されます。
マナーモード表示	マナーモード(53ページ)を設定しているときに表示されます。
安全運転モード	安全運転モード(51ページ)を設定しているときに表示されます。
留守録設定中	留守録(49ページ)を設定しているときに表示されます。
録音件数表示	留守録の録音件数が表示されます(49ページ)。
小声通話中表示	小声通話中(43ページ)に表示されます。
ローミング表示	ローミングモード(155ページ)を設定しているときに表示されます。
ダイヤルロック表示	ダイヤルロック(135ページ)を設定しているときに表示されます。
位置情報(LI)表示	自動位置情報送出(152ページ)を設定しているときに表示されます。
アラーム表示	アラーム(145ページ)を設定しているときに表示されます。
料金分計表示	料金分計(163ページ)を設定しているときに表示されます。

壁紙および日付／カレンダーの表示

表示内容	表示の意味
壁紙表示	壁紙はお好みに合わせて設定できます(「待受画面の壁紙を設定する」 130ページ)。
日付／カレンダー表示	日付と時刻を設定し(34ページ)、時計の表示方法を設定して表示します(147ページ)。

操作ガイド表示エリア

表示内容	表示の意味
機能キー機能表示	機能キー(機能キー)に対応する機能が表示されます(「機能キーの操作について」 27ページ)。
キーロック表示	キーロック中(134ページ)に表示されます。

キー操作の基本

本製品では、カーソルキー、センターキー、および機能キーを使って機能を呼び出し、設定や登録を行います。

ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。

1

ご使用になる前に

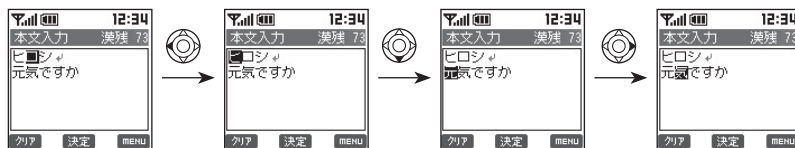
カーソルを動かして選択/確定する(カーソルキー/センターキー)

本書内の表記	キーの操作	説明
		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。中央の円を押し続けると画面をスクロールすることができます。
		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイド表示エリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します(「機能キーの操作について」27ページ)。

■ 各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合



■ 文字の入力画面でカーソルを移動する場合



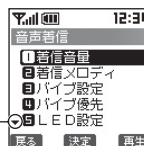
■ 文字の入力画面で変換候補を決定する場合



スクロールマークについて

項目が画面内に表示しきれない場合は、スクロールマークが表示され、中央の円で項目の続きを確認することができます。

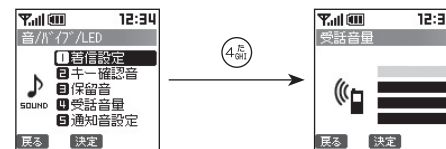
スクロールマーク



数字キーを使って項目を選択する(ダイヤルキー)

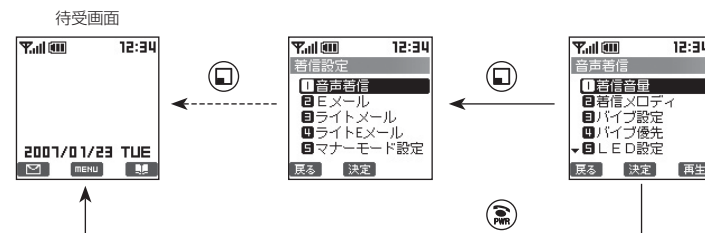
メニュー項目の左側に番号(0~9、※、#)が表示されているときは、(カーソルを合わせ)で選択する以外に対応するキーを押して選択/決定することができます。

例: 項目4「受話音量」を選択する場合



一つ前の画面に戻る/操作を中止する(左機能キー/電源・終話キー)

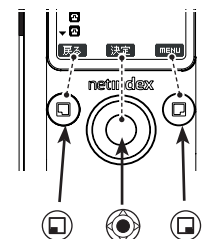
途中操作がわからなくなったときや間違えたときは、[戻る] (操作ガイド表示エリアに[戻る]が表示されている場合)を押して前の画面に戻ることができます。また、[電源]を押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。



機能キーの操作について

ディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示/実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

本書での表記	説明
	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します(右図では[戻る]で一つ前の画面に戻ります)。
	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を表示します(右図では[決定]で項目を確定します)。
	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します(右図では[MENU]でメニューを表示します)。

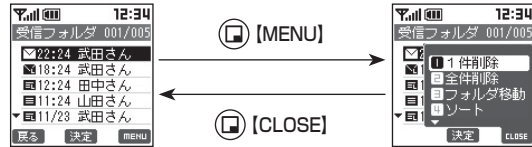


1

ご使用になる前に

メニューを使う

操作ガイド表示エリア右側に【MENU】が表示されているときに  を押すと、メニューが表示されます。画面によって表示される内容が異なります。メニュー項目が画面内に表示しきれない場合は、左側にスクロールマークを表示します(「スクロールマークについて」[P.26](#)ページ)。



主なキーの役割について

主なキーの役割と機能は以下のとおりです。キーを長く(約1秒以上)押すことで通常のキー操作と役割が変わるキーがあります。

本書での表記	待受中／着信中／通話中の役割	機能設定中の役割
	待受中： 短く押す：メインメニューの呼び出し 通話中：メインメニューの呼び出し	操作ガイド表示エリア中央の表示機能の実行
	待受中：電話帳検索の呼び出し 通話中：受話音量を大きく	カーソルを上に移動 音量を大きく
	待受中：スケジュールの呼び出し 着信中：クイックサイレント 通話中：受話音量を小さく	カーソルを下に移動 音量を小さく
	待受中／通話中：着信履歴表示	カーソルを左に移動
	待受中／通話中：発信履歴表示	カーソルを右に移動
	待受中： 短く押す：メールメニューの呼び出し 長く(約1秒以上)押す：留守録再生 着信中：留守電応答 通話中： 短く押す：保留／保留解除 長く(約1秒以上)押す：小声通話の設定／解除	操作ガイド表示エリア左側の表示機能の実行

本書での表記	待受中／着信中／通話中の役割	機能設定中の役割
	待受中： 短く押す：電話帳の呼び出し 長く(約1秒以上)押す：アンテナサーチ起動 着信中： 長く(約1秒以上)押す：電話帳ロック 通話中： 短く押す：電話帳の呼び出し 長く(約1秒以上)押す：アンテナサーチ起動	操作ガイド表示エリア右側の表示機能の実行
	待受中： 長く(約1秒以上)押す：キーロックの設定／解除	
	待受中： 短く押す：発信 着信中：着信応答 通話中： P(ポーズ)で区切られた番号に発信後、通話中にP(ポーズ)で区切られた番号ごとにプッシュ信号を一括送信(「発信履歴／着信履歴からプッシュ信号を送る」 P.46 ページ、「電話帳に登録したプッシュ信号を送信する」 P.46 ページ)	発信(一部の機能) 文字の入力モードの切り替え
	待受中： 短く押す：ディスプレイバックライトの点灯／消灯 長く(約1秒以上)押す：電源のOFF 着信中： 長く(約1秒以上)押す：電源のOFF 通話中： 短く押す：終話 長く(約1秒以上)押す：電源のOFF	短く押す：機能操作の中止 長く(約1秒以上)押す：電源のOFF
	待受中：電話番号の入力 通話中：プッシュ信号を送る	項目番号の選択 数値／文字の入力
	待受中： 短く押す：電話番号の入力 長く(約1秒以上)押す：マナーモードの設定／解除 着信中： 長く(約1秒以上)押す：マナー着信の設定／解除 通話中：プッシュ信号を送る	項目番号の選択 文字入力
	待受中： 短く押す：電話番号の入力 長く(約1秒以上)押す：安全運転モードの設定／解除 通話中：プッシュ信号を送る	項目番号の選択 文字入力 改行の入力

ご使用前の準備

バッテリーについて

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてお使いになるときや長時間ご使用にならなかったときは、付属の充電用ケーブルおよびACアダプタで充電してからご使用ください。

※バッテリーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」(P.166ページ)をご参照ください。

充電時間とご利用可能時間

充電時間	約3時間	空のバッテリーを本製品の電源を切った状態でACアダプタを使用して充電したとき
連続待受時間	約490時間	電源を入れたまま、キー操作や通話を行わないで待受状態を続けられる時間
連続通話時間	約5.0時間	通話を続けられる時間

お願い

- パソコンのUSBポートから充電する場合は、パソコンの電流駆動能力に左右されるため、充電時間に変動が生じる可能性があります。
- 「連続待受時間」とは、十分に充電された新品のバッテリーを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態で算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所(ビル内、カバンの中など)や圏外表示の状態では、ご利用時間が短くなることがあります。
- 実際のご利用可能時間は、発信、着信の回数によって異なり、実際に使用された通話時間や移動距離が長い場合には短くなります。また、圏外や電波が不安定な場所(ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など)での待受、移動距離、バッテリーの充電状態、機能の設定状態、気温などの使用環境により通話/待受時間は半分以下になる場合があります。
- ディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用(電話帳操作/メール操作など)が多い場合、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- キー操作を長時間繰り返し行くと、バッテリーの消耗が早くなり、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- バッテリーを空の状態では放置しないでください。バッテリーが空の状態では放置されると、充電できなくなる場合があります。長時間使用しないときは、ときどき充電をして空の状態を避けてください。
- バッテリーには寿命があります。充電を繰り返すうちに利用可能時間は徐々に短くなります。最初に比べて半分程度になってきたら交換時期です。新しいバッテリーをお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。



Li-Polymer

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずに最寄りのウィルコムプラザ/ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店などにお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先:

有限責任中間法人JBRC

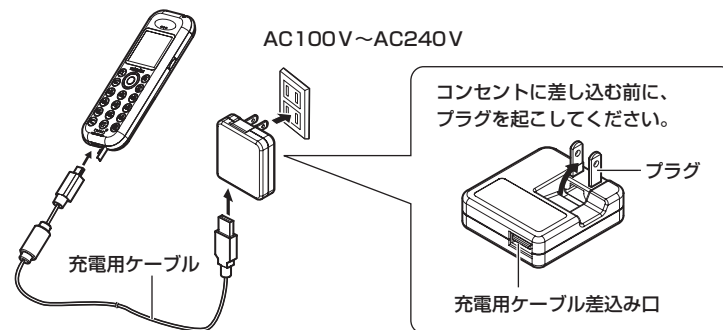
TEL: 03-6403-5673

ホームページ: <http://www.jbrc.com>

充電する

お買い上げ時には、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず専用の充電用ケーブルで充電してからご使用ください。

■ ACアダプタで充電する



お願い

- 付属品以外のUSBケーブルを使用される場合は、USB 1.1以上の認定品をご使用ください。それ以外のUSBケーブルの使用については、動作保証いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 付属品以外のACアダプタの使用については、動作保証いたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 充電中、周囲の温度が高いもしくは低いと保護機能がはたらき、充電できない場合があります。保護機能がはたらくと、バッテリー残量表示に「」が表示されたまま、表示ランプが消灯します。充電ケーブルを外し、周囲温度が5℃～35℃の場所にしばらく置いてから、再度充電してください。

お知らせ

- 充電中、バッテリー残量表示に「」が表示され、表示ランプが赤色点灯します。充電完了後、消灯します。

W-SIMを取り付ける

お願い

- お買い上げ時には、ダミーカードが差し込まれています。ダミーカードを取り外してからW-SIMを差し込んでください。取り外し方法については、下記をご参照ください。
- W-SIMを無理に差し込んだり引き抜いたりしないでください。本製品やW-SIMが破損するおそれがあります。
- ユーザーデータの更新中は絶対にW-SIMを取り外さないでください。ユーザーデータが破損します。
- W-SIM以外のカードを差し込むと、カードや本製品が破損するおそれがあります。

① W-SIMカバーを開ける



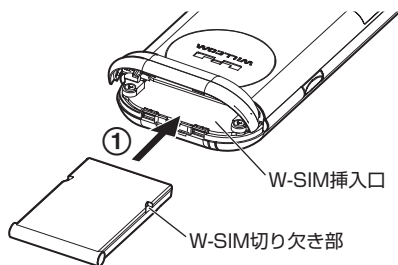
W-SIMカバー爪掛け部

お知らせ

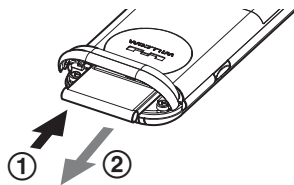
- W-SIMカバー爪掛け部へ軽く爪をかけることにより、W-SIMカバーを容易に開けることができます。

② W-SIMを「カチッ」と音がするまで差し込む

- W-SIM切り欠き部のある面を上にして①の方向に差し込んでください。

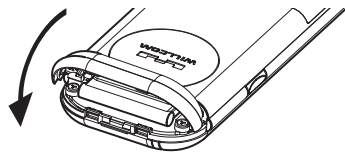


- 取り外すときは、W-SIMを①の方向に軽く押し込むと少し飛び出しますので、②の方向にまっすぐに取り出してください。



- W-SIMを無理に引っ張らないでください。

③ W-SIMカバーを閉じる



電源をON/OFFにする

電源をONにする

電源をONにしたらバッテリー残量や電波レベルを確認しましょう。

電源を長く(約5秒以上)押す

電源ONのアニメーションが表示された後、W-SIMのユーザーデータ更新が行われ、待受画面が表示されます。

お知らせ

- 認証コード(PINコード)設定時(※137ページ)は、認証コード(PINコード)入力画面になります。認証コード(PINコード)を入力すると、電源ONのアニメーションが表示されます。
- 認証コード(PINコード)入力画面で **[OK]** または **[キャンセル]** を押すと、電源ONのアニメーションが表示されますがW-SIMのユーザーデータ更新は行われず、待受画面が表示されます。W-SIMが取り外された状態となります。

電源をOFFにする

電源を長く(約1秒以上)押す

電源OFFのアニメーションが表示された後、電源が切れます。

お願い

- W-SIMの電話帳が更新されていないときは、「W-SIMカードの電話帳を更新しますか?」と表示されます。「はい」を選択し、**[決定]**を押してください。
- 「いいえ」を選択すると、電話帳は更新されませんので、追加や修正した内容は保存されません。また、電話帳を更新しないでW-SIMを取り外しても、追加や修正した電話帳は保存されません。

時計を設定する

〈日時設定〉 機能番号43

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、ライトメールの受信日時、Eメール／ライトメール／ライトEメールの送信日時などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時：
「2007年1月1日
00:00」

待受画面で

①  [MENU] →  

② 西暦(下2桁)、月、日、時刻(24時制)を入力し、

 [確定]

③ 

待受画面に戻ります



お願い

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
 - ・長時間お使いにならなかった場合
 - ・バッテリーを外していた場合
 - ・バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
 - ・「出荷時設定」(P.136ページ)を行った場合

お知らせ

- 入力できる日付は、2007年1月1日～2099年12月31日までです。

2

基本的な使いかた

電話をかける	36
電話番号を入力してかける	36
発信履歴から電話をかける(リダイヤル)	38
着信履歴から電話をかける	39
自分の電話番号を相手に通知する	40
国際電話をかける	41
電話を受ける	42
電話がかかってきたら	42
通話中や着信中にできること	43
通話中に受話音量を調節する	43
小さな声で話せるようにする(小声通話)	43
通話中に保留する	43
かかってきた電話を留守応答する	44
着信中に着信音を一時的に切る(クイックサイレント)	44
着信中に着信音をバイブレータに切り替える(マナー着信)	44
通話中にプッシュ信号を送る	45
ダイヤルキーを使ってプッシュ信号を送る	45
発信履歴／着信履歴からプッシュ信号を送る	46
電話帳に登録したプッシュ信号を送信する	46
メインメニューから機能呼び出す	47
項目を選んで機能呼び出す	47
機能番号を入力して機能呼び出す	48
留守電機能を使う	49
電話に出られないときに相手の用件を録音する(留守電設定)	49
応答メッセージを録音／再生／消去する	50
留守録を再生／消去する	50
安全運転モードを設定する	51
応答先と応答方法を切り替える	52
安全運転モードを解除する	52
マナーモードを設定する	53
マナーモードを解除する	53
マナーモード中のバイブレータ／LEDの設定をする	53
着信拒否を設定する	55
着信拒否を設定／解除する	55
着信拒否する相手を登録／編集する(拒否リスト編集)	56
着信拒否に登録した電話番号／Eメールアドレスを削除する	56

電話をかける

電話番号を入力してかける

待受画面で

① 電話番号を入力し、 または  [発信]

② 通話が終わったら 



お願い

- 一般電話へかける場合には、必ず市外局番から入力してください。
- PHS / 携帯電話へかける場合には、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- 受話口から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
 - ・電波が非常に弱い地域
いったん電話を切り、電波状態のよいところへ移動してから再度かけ直してください。
 - ・回線が混んでいる / 相手が通話中
いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。
- 通話時間の表示は目安です。

お知らせ

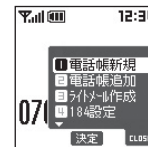
- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 入力中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・入力を間違えたときは  [クリア] を押します。  [クリア] を押すごとに下1桁を削除します。また  [クリア] を押し続けると、全桁削除します。
 - ・途中の番号を間違えたときは  でカーソルを移動させ、希望の位置に番号を追加したり、削除したりできます。
 - ・番号(184 / 186など)入力後、着信履歴(※39ページ)から電話番号を入力するときは、 を押し、 で着信履歴を選択し、 [決定] を押します。
 - ・番号(184 / 186など)入力後、電話帳(※70ページ)から電話番号を入力するときは、 を押し、電話帳を検索後、 [決定] ⇒ 電話番号を選択し、 [決定] を押します。
- 相手がPHS / 携帯電話の電源を切っているときや、電波の届かない地域にいるときは、接続できないことを音声ガイダンスでお知らせします。
- 最初に  を押してから電話番号を入力してかけることもできます。
- 特定のISDN端末へ電話をかけるには、以下の手順で行います。
電話番号を入力 ⇒  ⇒ サブアドレス(ISDN独自の番号) ⇒ 
入力できるダイヤル桁数(電話番号 +  + サブアドレスの桁数の合計)は32桁までです。
- 通話中にできることについて(※43ページ)

電話番号入力時のメニューを使う

電話番号入力時のメニューから以下の操作を行い、電話をかけることができます。

待受画面で

電話番号を入力 ⇒  [MENU]



以下の項目から選択します。

① 電話帳新規	入力した電話番号を電話帳に新たに登録します(「電話帳に登録する」※70ページ)。
② 電話帳追加	入力した電話番号を電話帳に追加して登録します。電話帳検索画面が表示され、電話帳を選択し追加します(「他の機能から電話帳に登録する」※74ページ)。
③ ライトメール作成	入力した電話番号を宛先としたライトメールを作成します(「ライトメールを作成して送信する」※98ページ)。
④ 184設定(184解除)	入力した電話番号に184設定(自分の電話番号を通知しない)／解除します。
⑤ 186設定(186解除)	入力した電話番号に186設定(自分の電話番号を通知する)／解除します。
⑥ 分計設定(分計解除)	入力した電話番号に料金分計サービスを利用してかけます(「料金分計サービスについて」※163ページ)。
⑦ ポーズ	ポーズ(P)を入力します。
⑧ コピー	入力した電話番号をコピーします。
⑨ ペースト	コピーした電話番号をカーソル位置にペースト(貼り付け)します。

最も強い電波を選択する(アンテナサーチ)

待受中または通話中に「アンテナサーチ」を起動すると、その時点で最も強い電波を選択し、切り替えることができます。

待受画面 / 通話中に

 を長く(約1秒以上)押す



お知らせ

- 場所によっては電波状況が変わらないことがあります。

発信履歴から電話をかける(リダイヤル)

以前にかけた相手の電話番号は、発信履歴として20件まで記録されます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。発信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で



発信履歴画面



お知らせ

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されている電話帳の名前は表示されません(「シークレットモードを設定/解除する」※135ページ)。
- 電話帳ロックを設定しているときは、登録されている電話帳の名前は表示されません(「電話帳にロックをかける」※134ページ)。
- 発信履歴の詳細(発信履歴詳細画面)を表示するには、以下の手順で行います。

発信履歴画面で**発信履歴**を選択し、**[決定]**

・発信履歴の詳細画面

🕒 : 発信日時

👤 : 名前(電話帳に登録されているとき)

☎ : 電話番号

※電話帳に電話番号が登録されている場合、電話番号の種別のアイコンが表示されます。

- 発信履歴詳細画面で電話番号を選択し、**[決定]**を押すと、**[MENU]**を押して電話番号入力時のメニュー(※37ページ)が使えます。
- 発信履歴詳細画面で名前を選択し、**[決定]**を押すと、電話帳詳細画面が表示されます。
- 通話できなかった場合も発信履歴は記録されます。

発信履歴詳細画面



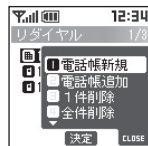
発信履歴画面のメニューを使う

待受画面で



以下の項目から選択します。

1. 電話帳新規	選択した履歴の電話番号を電話帳に新たに登録します(「電話帳に登録する」※70ページ)。
2. 電話帳追加	選択した履歴の電話番号を電話帳に追加して登録します。電話帳検索画面が表示され、電話帳を選択し追加します(「他の機能から電話帳に登録する」※74ページ)。
3. 1件削除	⇒ 「はい」を選択し、 [決定] 選択した履歴を削除します。
4. 全件削除	⇒ 「はい」を選択し、 [決定] 履歴すべてを削除します。
5. ライトメール作成	選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します(「ライトメールを作成して送信する」※98ページ)。



着信履歴から電話をかける

かかってきた相手の電話番号は、着信履歴として20件まで記録されます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で



着信履歴画面



お知らせ

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されている電話帳の名前は表示されません(「シークレットモードを設定/解除する」※135ページ)。
- 電話帳ロックを設定しているときは、登録されている電話帳の名前は表示されません(「電話帳にロックをかける」※134ページ)。
- 着信拒否を設定している相手からの着信は、着信履歴に記録されません(「着信拒否を設定する」※55ページ)。
- 着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

📞 : 着信通話(電話に出た場合)

📞 : 不在着信(電話に出られなかった場合)

📞 : 留守録あり(留守電機能(※49ページ)/安全運転モード(※51ページ)で応答した場合)

- 着信履歴の詳細(着信履歴詳細画面)を表示するには、以下の手順で行います。

着信履歴画面で**着信履歴**を選択し、**[決定]**

・着信履歴詳細画面

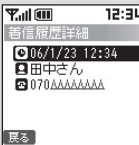
🕒 : 着信日時

👤 : 名前(電話帳に登録されているとき)

☎ : 電話番号または非通知理由

- 着信履歴詳細画面で電話番号を選択し、**[決定]**を押すと、**[MENU]**を押して電話番号入力時のメニュー(※37ページ)が使えます。
- 着信履歴詳細画面で名前を選択し、**[決定]**を押すと、電話帳詳細画面が表示されます。

着信履歴詳細画面



着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で

 ⇒ **着信履歴を選択** ⇒  **[MENU]**


以下の項目から選択します。

1. 電話帳新規	選択した履歴の電話番号を電話帳に新たに登録します(「電話帳に登録する」⇒70ページ)。
2. 電話帳追加	選択した履歴の電話番号を電話帳に追加して登録します。電話帳検索画面が表示され、電話帳を選択し追加します(「他の機能から電話帳に登録する」⇒74ページ)。
3. 1件削除	⇒「はい」を選択し、  [決定] 選択した履歴を削除します。
4. 全件削除	⇒「はい」を選択し、  [決定] 履歴すべてを削除します。
5. ライトメール作成	選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します(「ライトメールを作成して送信する」⇒98ページ)。
6. 着信拒否	選択した履歴の電話番号を、音声着信の着信拒否リストに追加します(「着信拒否する相手を登録／編集する」⇒56ページ)。

自分の電話番号を相手に通知する

〈発信番号通知〉 機能番号63

電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知するかどうかを設定できます。

待受画面で

 **[MENU]** ⇒  


以下の項目から選択します。

1. ON	電話をかけるとき、自分の電話番号を通知します。
2. OFF	電話をかけるとき、自分の電話番号は通知されません。

国際電話をかける

ウィルコム国際電話サービスを利用して、世界約240の国と地域へ国際電話をかけることができます。

本製品から海外へかける場合

例：アメリカの「212-123-△△△△」へかける場合

待受画面で



お願い

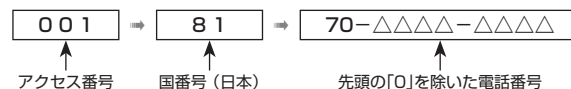
- 相手先電話番号が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください(一部の国と地域は除く)。

お知らせ

- ウィルコム国際電話サービスについて
 - ・ 国際電話をご利用の際、ウィルコムへの申し込みは不要です。
 - ・ 国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させて頂いております。ご利用限度額を超過したと確認できた時点から、国際電話サービスがご利用(発信のみ)頂けません。超過時はライトメールでお知らせします。ご利用限度額の設定解除およびご利用の再開については、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
 - ・ 国際電話サービスは、30秒単位での課金となります。
 - ・ 国際電話料金は、毎月のウィルコムのご利用料金と合算してのご請求となります。
 - ・ ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより国際電話サービスを利用不可にすることもできます。詳しくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

海外から日本国内の本製品へかける場合

例：アメリカから「070-△△△△-△△△△」へかける場合



お知らせ

- アクセス番号は、国によって異なります。

電話を受ける

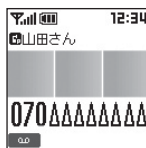
電話がかかってきたら

着信中に

📞を押す

電話を受けることができます。

エニーキーアンサーを設定している場合は、📞～📞でも電話を受けることができます。



📢お知らせ

- 電話の着信は、すべての操作に優先して行われます。
- 電話帳に登録している相手からかかってきたときは、着信中に相手の名前が表示されます。
- 通話中や着信中にできることについて📖43ページ。
- 電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるときにかかってきた電話を、他の電話に転送することができます(「着信転送サービスについて」📖162ページ)。
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしている場合や、公衆電話からかけてきた場合などは、以下のように表示されます。

ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している。
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている。
公衆電話発信	公衆電話からかけている。

- 発信者番号にサブアドレスが含まれている場合は、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。
- 電話に出られなかったときは「不在着信あり」と表示され、お知らせします。

📞[MENU]または📞を押すと着信履歴画面を表示します。

エニーキーアンサーを設定／解除する

〈エニーキーアンサー〉

機能番号62

電話がかかってきたとき、📞、📞～📞のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。

エニーキーアンサーを解除すると、📞のみで電話を受けるようにすることができます。

待受画面で



以下の項目から選択します。

📞 ON	エニーキーアンサーを設定します。
📞 OFF	エニーキーアンサーを解除します。

お買い上げ時：
[OFF]



通話中や着信中にできること

通話中に受話音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを「音量レベル1」(最小)～「音量レベル4」(最大)の4段階に調節します。

お買い上げ時：
「音量レベル3」

通話中に

🔊で音量を調節する



小さな声で話せるようにする(小声通話)

公共の場所や静かな場所で、周囲に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。小声通話中は小さな声でお話ししても、相手には通常の声の大きさに伝わります。

お買い上げ時：
[OFF]

通話中に

🔊を長く(約1秒以上)押す

もう一度🔊を長く(約1秒以上)押すと小声通話は解除されます。



📢お知らせ

- 小声通話中は、画面に「🔊」が表示されます。
- 小声通話は電話を切ると解除されます。
- あらかじめ小声通話を設定しておくこともできます(📖151ページ)。

通話中に保留する

通話中に相手に待っていただきます。保留中は相手に保留音が流れ、お互いに相手の声が聞こえません。

通話中に

1 📞【保留】を押す

通話を保留します。

2 通話できる状態になったら ➡ 📞【戻る】を押す

相手と通話ができます。



📢お知らせ

- 保留音は変更できます(📖127ページ)。

かかってきた電話を留守応答する

着信中の電話に出られないときは、着信中にキー操作を行うことで、一時的に留守電機能(※49ページ)で設定している応答メッセージで自動応答し、相手のメッセージを録音できます。

着信中に

 **【】を押す**



 **お知らせ**

- 上記の操作を行っても、留守電設定の状態は変わりません。
- 録音ができない場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直ください。」というメッセージを再生し、電話を切ります。

着信中に着信音を一時的に切る(クイックサイレント)

着信中、鳴っている着信音を停止させることができます。

着信中に

 **を押す**

着信中に着信音をバイブレータに切り替える(マナー着信)

着信中、鳴っている着信音を停止させてバイブレータの振動に変えることができます。

着信中に

 **を長く(約1秒以上)押す**

マナーモードが設定され、バイブレータ(パターン1)に切り替わります。

 **お願い**

- 上記の操作後はマナーモードが設定されます(※53ページ)。マナーモードを解除するときは  を長く(約1秒以上)押してください。

通話中にプッシュ信号を送る

「ビッポッパッ」というプッシュ信号を送ることにより、留守番電話のリモート操作、チケット予約や留守番電話サービスの設定変更などのプッシュホンサービスを利用することができます。また、電話帳や発信履歴／着信履歴に登録したダイヤルをプッシュ信号で送出する際に、電話番号の番号と番号の間に「P(ポーズ)」を入れることにより、「P」の後の番号を一時停止させ、 で続きの番号をプッシュ信号で送信することができます。

 **お知らせ**

- 電波状態が悪いと送れないことがあります。
- 通話中に「P」を入力することはできません。「P」は電話をかける前に入力しておくか、電話帳に登録しておく必要があります。
- P(ポーズ)を入力するには、以下の手順で行います。
電話番号入力画面でP(ポーズ)を入力する前までの電話番号を入力 ⇒  **【MENU】を押す**
⇒ 「ポーズ」を選択し、 **【決定】**
入力した電話番号の後にP(ポーズ)が表示されます。

ダイヤルキーを使ってプッシュ信号を送る

通話中に

番号を入力する

発信履歴／着信履歴からプッシュ信号を送る

待受画面で

- ① (発信履歴)または (着信履歴) ⇒ プッシュ信号を送る履歴を選択し、 (決定) ⇒ 電話番号を選択し、 (決定)

- ② (MENU) ⇒ (P)「ポーズ」

ポーズ(P)が入力されます。

- ③ プッシュ信号を送る番号を入力

さらにプッシュ信号を送る場合は、②～③を繰り返し、P(ポーズ)とプッシュ番号を入力します。

- ④ (送) または (発信) を押す

最初のポーズ(P)までを送信します。

以降 (送) を押すごとに次のポーズまでを送信します。

電話帳に登録したプッシュ信号を送信する

「P(ポーズ)」で区切られた番号ごとに送信します。

例：チケット予約のために、予約センターの電話番号「03-0011-△△△△」、会員番号「6666」、チケット番号「9999」を送信する場合(この場合、電話帳に「03-0011-△△△△P6666P9999」と登録しておきます)。

待受画面で

- ① (電話帳) ⇒ (1)「電話帳検索」⇒

プッシュ信号に登録した電話帳を選択し、 (決定)

- ② (送) を押す

電話番号「03-0011-△△△△」までを送信します。

- ③ (送) を押す

会員番号「6666」までを送信します。

- ④ (送) を押す

チケット番号「9999」までを送信します。

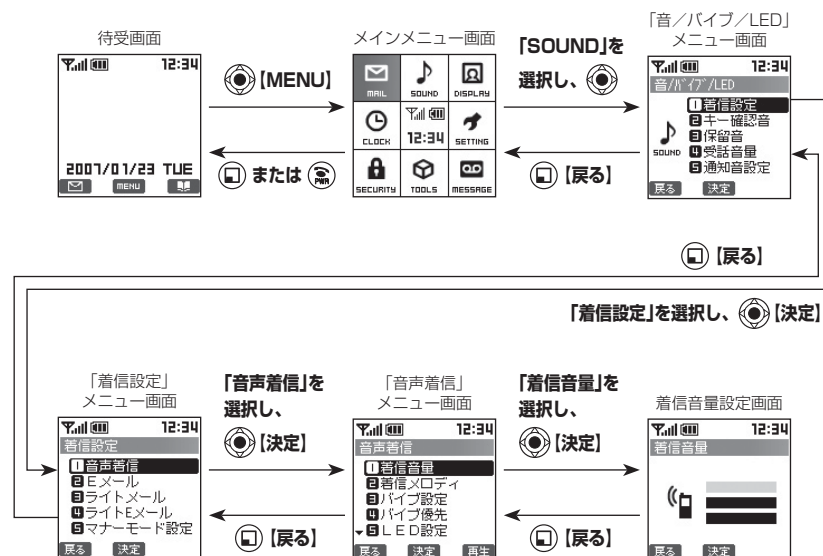
メインメニューから機能呼び出す

機能の設定や確認はメインメニューから行います。

項目を選んで機能呼び出す

待受画面で

例：機能番号2111 着信音量(音声着信)



お知らせ

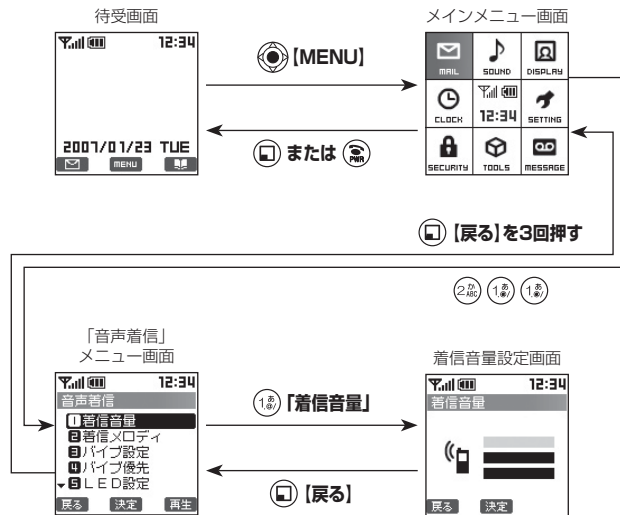
- (送) を押すと、待受画面に戻ります。

機能番号を入力して機能呼び出す

メインメニューで、機能番号をダイヤルキーで入力して呼び出します。機能番号を覚えておくと、すばやく呼び出すことができます。各機能番号とその機能名については、「機能一覧」(P171 ページ)をご参照ください。

待受画面で

例：機能番号2111 着信音量(音声着信)



お知らせ

- [ENTER] を押すと、待受画面に戻ります。

留守電機能を使う

〈留守電機能〉

機能番号92

電話に出られないときに相手の用件を録音する(留守電設定)

電話に出られないとき、着信後約30秒後に自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。応答メッセージは自分で録音するメッセージと固定メッセージから選択できます。

録音件数は、留守電と安全運転モード時に録音した相手のメッセージ(P51 ページ)と合わせて、4件まで録音できます。録音時間は4件合わせて約60秒までです。

伝言録音中画面



お知らせ

- 1件の録音時間が長い場合、録音できる件数は少なくなります。
- ウィルコムで提供している留守番電話サービス(「留守番電話サービスについて」P160ページ)とは異なります。
- 本製品の留守電機能と、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、本製品の留守電応答時間(約30秒)と留守番電話センター呼び出し時間で、短く設定されている方が優先されます。留守番電話センターの呼び出し回数を変更するには「留守番電話サービスの設定を変更する」(P161ページ)をご参照ください。

留守電を設定／解除する

〈留守電設定〉

機能番号921

待受画面で



以下の項目から選択します。

① ON	① 固定	着信約30秒後に「ただいま電話に出ることができません。発信音のあとにお名前とご用件をお話してください。」と固定メッセージで応答し、録音が始まります。
	② 録音データ	自分で録音したメッセージで応答し、録音が始まります。 (「応答メッセージを録音／再生／消去する」P50ページ)
	③ [再生]	を押すと、応答メッセージが再生され確認できます。
② OFF		留守電機能ははたらきません。

お知らせ

- 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。
- 録音件数が、留守電・安全運転モード時に録音した相手のメッセージ(P51ページ)と合わせて、すでに4件または60秒録音されている場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直しください。」の応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。
- 留守電を設定すると、待受画面に「92」が表示されます。
- 留守録音動作中(応答メッセージ再生中や録音中)に、[END] を押すと、留守録音動作を中断し、通話を行うことができます。中断までの内容は録音されています。

お買い上げ時：
「OFF」

応答メッセージを録音／再生／消去する 〈応答トーク設定〉 機能番号922

留守電の応答メッセージを録音します。
応答メッセージは1件、約10秒まで録音できます。

待受画面で

[MENU] ⇒

以下の項目から選択します。

1. 録音	⇒ [OK] ⇒ 録音開始 ⇒ 約10秒経過または [OK] で録音終了 ⇒ 「はい」を選択し、 [決定]
2. 再生	応答したメッセージを再生します。
3. 消去	⇒ 「はい」を選択し、 [決定] 録音した応答メッセージを消去します。



消去する

待受画面で

[MENU] ⇒ ⇒ 消去したい留守録を選択し ⇒

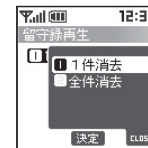
[MENU]

以下の項目から選択します。

1. 1件消去	⇒ 「はい」を選択し、 [決定] 選択した留守録を消去します。
2. 全件消去	⇒ 「はい」を選択し、 [決定] すべての留守録を消去します。

お知らせ

- 待受画面で を長く(約1秒以上)押しても、留守録を選択して消去することができます。



安全運転モードを設定する

運転中に電話がかかってきたとき、運転の妨げにならないように、着信音やバイブレータを「OFF」に切り替えることができます。このとき相手には、運転中のため通話ができないことをお知らせし、メッセージを録音してもらうことができます。録音件数は、安全運転モードの時の相手のメッセージ・留守録(※49ページ)と合わせて4件まで録音できます。メッセージの再生／消去方法は「留守録を再生／消去する」(※50ページ)をご参照ください。

待受画面で

を長く(約1秒以上)押す

お願い

- 安全運転モードと留守電の両方が設定されている場合、安全運転モードが優先されます。
- 安全運転モード設定中の着信は、 を押しても通話できません。

お知らせ

- 安全運転モードに設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- 安全運転モードに設定すると、お買い上げ時は、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

伝言の録音ができるとき	「ただいま運転中です。発信音のあとにお名前とご用件をお話してください。」
伝言の録音ができないとき	「ただいま運転中です。のちほどおかけ直してください。」

- 安全運転モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。

応答先と応答方法を切り替える

〈安全運転モード〉 機能番号93

安全運転モード設定中の応答先と応答方法を切り替えることができます。サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1. 電話機録音する	本製品が「ただいま運転中です。発信音のあとにお名前とご用件をお話しく下さい。」と応答し、相手のメッセージが録音できます。録音件数は留守録と合わせて4件までです。録音時間は4件合わせて約60秒までです。
2. 電話機応答のみ	本製品が「ただいま運転中です。のちほどおかけ直しください。」と応答し、電話を切ります。相手のメッセージは録音できません。
3. ネットワーク録音する	ウィルコムの留守番電話センターが「ただいま運転中のため、留守番電話センターでメッセージをお預かりいたします。発信音のあとに、60秒以内にメッセージを録音してください。」と応答し、相手のメッセージが録音できます。(ウィルコムの留守番電話サービスへのお申し込みが必要です※160ページ)
4. ネットワーク応答のみ	ウィルコムの安全運転モードで応答し、「ただいま運転中のため、電話に出ることができません。しばらく経ってからおかけ直しください。」のメッセージのあと電話を切ります。相手のメッセージは録音できません。

お願い

- ウィルコムの留守番電話サービスをご契約されていない場合は、「電話機録音する」、「電話機応答のみ」または「ネットワーク応答のみ」を選択してください。

お知らせ

- 「電話機録音する」に設定している場合、1件の録音時間が長いと、録音できる件数は少なくなります。
- 「ネットワーク録音する」に設定したときの録音メッセージの再生方法については、「メッセージを聞く」(※161ページ)をご参照ください。

安全運転モードを解除する

待受画面で

安全運転モード設定中に を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

- 安全運転モードを解除すると、着信音やバイブレータは元の設定に戻ります。

マナーモードを設定する

公共の場所で着信音やキー確認音などスピーカーから音を鳴らさないようにしたいときは、マナーモードを設定してください。

待受画面／着信中に

を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

- マナーモードに設定すると、待受画面に「」が表示されます。

マナーモードを解除する

待受画面／着信中に

マナーモード設定中に を長く(約1秒以上)押す

お知らせ

- マナーモードを解除すると、着信音やバイブレータは元の設定に戻ります。

マナーモード中のバイブレータ／LEDの設定をする 〈マナーモード設定〉 機能番号215

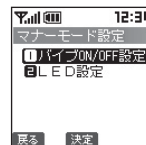
マナーモード中に着信を知らせるバイブレータのON／OFF、LED(表示ランプ／機能キー)の点滅パターンを設定できます。点滅パターンは「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1. バイブON／OFF設定	マナーモード中に着信を知らせるバイブレータを振動させるかどうかを設定します(「マナーモード中のバイブレータを設定する」※54ページ)。
2. LED設定	マナーモード中に着信を知らせるLED(表示ランプ、機能キー)の点滅パターンを設定します(「LEDの点滅パターンを設定する」※54ページ)。



マナーモード中のバイブレータを設定する

〈バイブON/OFF設定〉

マナーモード中に着信を知らせるバイブレータを振動させるかどうかを設定できます。
ONに設定した場合はパターン1のバイブレータでお知らせします。

マナーモード設定画面で

①「バイブON/OFF設定」

以下の項目から選択します。

① ON	マナーモード中の着信時、バイブレータが振動します。
② OFF	マナーモード中の着信時、バイブレータが振動しません。

お買い上げ時：
「ON」



LEDの点滅パターンを設定する

〈LED設定〉

マナーモード中に着信を知らせるLED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンを設定できます。
点滅パターンは「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

マナーモード設定画面で

②「LED設定」⇒①「パターン1」～③「パターン3」、
または④「OFF」

お買い上げ時：
「OFF」



お知らせ

- 点滅パターンを確認したいときは、②で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。
- 点滅中のパターンに設定するとき：④「決定」を押す
- 設定せずに戻るとき：④「戻る」を押す

着信拒否を設定する

〈着信拒否〉

機能番号65

特定の電話番号やEメールアドレスからの着信やメールの受信、電話番号が通知されない着信やメールの受信を拒否できます。

着信拒否を設定／解除する

待受画面で



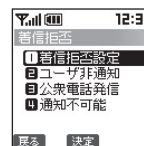
以下の項目から選択します。

① 着信拒否設定	① 音声着信 ⇒①「設定／解除」⇒①「ON」または②「OFF」 「ON」を選択すると、拒否リストに登録した電話番号からの着信を拒否します（「着信拒否する相手を登録／編集する」※56ページ）。
	② ライトメール ⇒①「設定／解除」⇒①「ON」または②「OFF」 「ON」を選択すると、拒否リストに登録した電話番号からのライトメールの受信を拒否します（「着信拒否する相手を登録／編集する」※56ページ）。
	③ Eメール／ライトEメール ⇒①「設定／解除」⇒①「ON」または②「OFF」 「ON」を選択すると、拒否リストに登録したEメールアドレスからのEメール／ライトEメールの受信を拒否します（「着信拒否する相手を登録／編集する」※56ページ）。
② ユーザ非通知	⇒①「ON」または②「OFF」 「ON」を選択すると、電話番号を通知してこない着信を拒否します。
③ 公衆電話発信	⇒①「ON」または②「OFF」 「ON」を選択すると、公衆電話からの着信を拒否します。
④ 通知不可能	⇒①「ON」または②「OFF」 「ON」を選択すると、発信者番号を通知する機能のない電話など、何らかの理由で発信者番号を通知できない相手からの着信を拒否します。

お知らせ

- 「ユーザ非通知」／「公衆電話発信」／「通知不可能」着信拒否は、ウィルコム番号非通知ガードサービスとは異なります。

お買い上げ時：
すべて「OFF」



着信拒否する相手を登録／編集する(拒否リスト編集)

音声着信、Eメール、ライトメール、ライトEメールで着信拒否できる電話番号やEメールアドレスは、それぞれ20件まで登録できます。

着信拒否リスト
(例：音声着信)



待受画面で

[MENU] ⇒ **拒否** **登録** **削除**

以下の項目から選択します。

1 音声着信	⇒ 拒否リスト編集 ⇒ 未登録 *を選択し、 決定 ⇒ 登録する電話番号を入力し、 確定 入力できる電話番号は32桁までです。
2 ライトメール	⇒ 拒否リスト編集 ⇒ 未登録 *を選択し、 決定 ⇒ 登録する電話番号を入力し、 確定 入力できる電話番号は32桁までです。
3 Eメール／ ライトEメール	⇒ 拒否リスト編集 ⇒ 未登録 *を選択し、 決定 ⇒ 登録するEメールアドレスを入力し、 決定 入力できる文字数は半角128文字までです。

※ 編集する場合は、登録されている電話番号またはEメールアドレスを選択してください。

着信拒否に登録した電話番号／Eメールアドレスを削除する

着信拒否リストで

削除する電話番号／Eメールアドレスを選択 ⇒

[MENU]



以下の項目から選択します。

1 1件削除	⇒ はい を選択し、 決定 選択した電話番号／Eメールアドレスを削除します。
2 全件削除	⇒ 暗証番号 を入力 ⇒ はい を選択し、 決定 すべての電話番号／Eメールアドレスを削除します。

3

文字の入力と設定

文字を入力する	58
文字入力モードの切り替え	58
各キーに割り当てられた文字について	59
ひらがなを入力する	59
濁点／半濁点を入力する	60
小文字のひらがなを入力する	60
英字を入力する	60
数字を入力する	60
文字を削除する	60
漢字やカタカナに変換する	61
予測変換で入力する	61
文字を変換して入力する	61
文字入力メニューを使う	63
絵文字を入力する	64
記号を入力する	64
定型文を入力する	65
文字をコピー／ペースト(貼り付け)する	65
各機能からデータを引用する	66
定型文を編集する	〈定型文〉 66
定型文をリセットする	66
よく使う単語を登録する	〈ユーザ辞書〉 67
ユーザ辞書に単語を登録／編集する	67
ユーザ辞書に登録した単語を削除する	67
学習辞書をリセットする	〈学習辞書リセット〉 68

文字を入力する

文字入力モードの切り替え

漢字・ひらがな、英字、数字など、入力する文字によって入力モードを切り替えます。

例：ライトメール(※98ページ)の本文入力画面

Ⓜ [MENU] ⇒ ①② ⇒ Ⓜ [決定] ⇒ Ⓜ で本文入力欄を選択し、Ⓜ [決定]

文字入力画面で

Ⓜ を押す

入力モード一覧が表示されます。

Ⓜ または Ⓜ を押して入力モードを選択し、Ⓜ [決定] を押すと入力モードを切り替えることができます。

漢	漢字・ひらがなモード
ア	全角カナ文字モード
7	半角カナ文字モード
a	全角英文字モード
8	半角英文字モード
1	半角数字モード

入力モード表示



入力モード一覧

お知らせ

- 電話帳検索画面(※75ページ)での読みカナ検索では、Ⓜ を押すごとに入力モードは下記のように切り替わります。

→ 7 (半角カナ文字モード) → a (半角英文字モード) → 1 (半角数字モード) → 記 (記号モード)

各キーに割り当てられた文字について

各キーに割り当てられている文字は以下のとおりです。

キー	入力モード			
	漢字・ひらがなモード (全角)	英文字モード (全角/半角)	数字モード (全角/半角)	カタカナモード (全角/半角)
①②	あいうえおあいうえお	. @ / : _ ' " ^ ~ * !	1	アイウエオアイウエオ
②③	かきくけこ	a b c A B C 2	2	カキクケコ
③④	さしすせそ	d e f D E F 3	3	サシスセソ
④⑤	たちつとっ	g h i G H I 4	4	タチツテツ
⑤⑥	なにぬねの	j k l J K L 5	5	ナニヌネノ
⑥⑦	はひふへほ	m n o M N O 6	6	ハヒフヘホ
⑦⑧	まみむめも	p q r s P Q R S 7	7	マミムメモ
⑧⑨	やゆよやゆよ	t u v T U V 8	8	ヤユヨヤユヨ
⑨⑩	らりるれろ	w x y z W X Y Z 9	9	ラリルレロ
⑩⑪	わをん □ (スペース) - (音引) 、 。 ・ ! ?	. , ¥ □ (スペース) - : ; & ! ? 0	0	ワヲン □ (スペース) - 、 。 ・ ! ?
Ⓜ	* (濁点) * (半濁点)	(無効)	*	* (濁点) * (半濁点)
Ⓜ	逆順表示 ⇐ (改行) ※2		#	逆順表示 ⇐ (改行) ※2

※1 全角では「～」、半角では「.」が入力されます。

※2 メール本文入力時またはメモ入力時のみ

お知らせ

- 同じキーに割り当てられた文字を続けて入力するときは、最初の文字の入力後、Ⓜ でカーソルを右へ移動させて次の文字を入力してください。
- Ⓜ で濁音に変換可能な文字は、「か行」「さ行」「は行」「た行」とカタカナ入力時の「ウ」となります。また、半濁音に変換可能な文字は、「は行」のみとなります。他は変換できません。
- Ⓜ を押すと逆の順序で文字が表示されます。
例：「お」を入力する場合は、①② ⇒ Ⓜ で入力できます。

ひらがなを入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、入力したい文字を表示します。

例：「きのう」を入力

漢字・ひらがなモードで

②③ を2回「き」⇒ ⑤⑥ を5回「の」⇒ ①② を3回「う」⇒

Ⓜ [決定]



お知らせ

- 10文字まで続けて入力できます。
- 文字を削除するには、「文字を削除する」(※60ページ)を参照してください。

濁点／半濁点を入力する

文字を入力した後、 で濁点／半濁点が付いた文字に変換します。
例：「ぼ」を入力

漢字・ひらがなモードで

 を5回「ぼ」⇒  を2回「ぼ」⇒  【決定】

お知らせ

- 濁点／半濁点を付けられる文字のみ有効です。



小文字のひらがなを入力する

ダイヤルキーを繰り返し押して、入力したい文字を表示します。
例：「よ」を入力

漢字・ひらがなモードで

 を6回「よ」⇒  【決定】



英字を入力する

例：半角文字で「SHOP」と入力する

半角英文字モードで

 を8回「S」⇒  を5回「H」⇒  を6回「O」⇒  を5回「P」



数字を入力する

例：半角数字で「5」を入力

半角数字モードで

 を1回「5」



文字を削除する

 【クリア】を使って入力した文字を削除できます。

文字入力画面で

 を押して削除したい文字にカーソルを合わせる ⇒

 【クリア】



 【クリア】を長く（約1秒以上）押すと、カーソル以降の文字をすべて削除できます。

漢字やカタカナに変換する

ひらがなを入力した後、予測変換候補が表示されます。変換候補の中からを押して入力したい漢字を選択します。

予測変換で入力する

過去に一度変換した単語は、すべての文字を入力しなくても予測して変換できます。

例：「とうきょう」を「東京」と変換した後（「文字を変換して入力する」※下記）、再度同様に変換するとき

漢字・ひらがなモードで



お知らせ

- 変換時の候補は、過去により多く変換した単語の順に表示されます。
- 変換時の候補は、過去に文節に区切らずに変換した単語も文節に区切って表示します。
例：初めに「あいかさを」と入力し、「赤い傘を」と変換した場合
「あ」→「赤い」、「か」→「傘を」を候補として表示します。
- 予測変換で学習した情報はリセットをすることができます（「学習辞書をリセットする」※68ページ）。

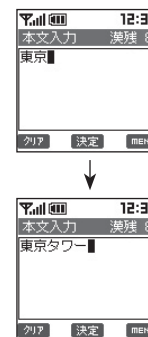
文字を変換して入力する

予測変換で変換候補に変換したい漢字が表示されなときやカタカナを入力したいときは、文字を変換して入力できます。

例：「東京タワー」を入力

漢字・ひらがなモードで

-  を5回「と」⇒  を3回「う」⇒  を2回「き」⇒  を6回「よ」⇒  を3回「う」⇒  【変換】⇒  で「東京」を選択し、 【決定】
-  を1回「た」⇒  を1回「わ」⇒  でカーソル移動 ⇒  を5回「ー」⇒  【変換】⇒  で「タワー」を選択し、 【決定】

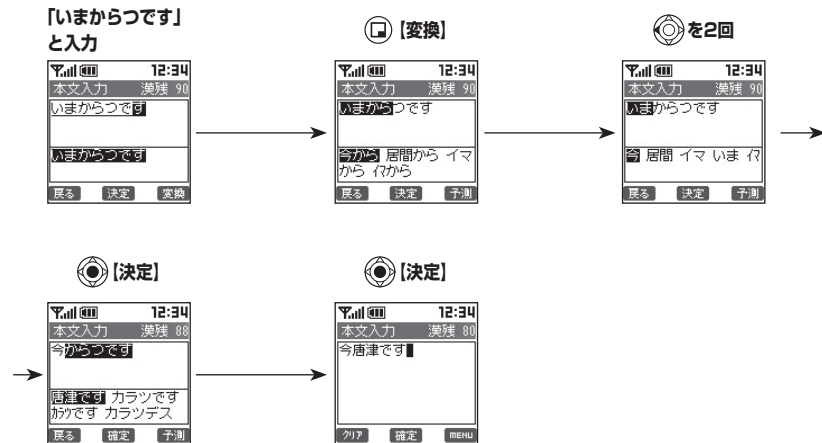


文節を区切り直す

一度にたくさんの文字(10文字まで)を入力し、あとから文節に区切って漢字に変換できます。また、正しく漢字に変換できないときは、文節を区切り直して変換することもできます。

例：「いまからつです」を「今唐津です」と変換する

漢字・ひらがなモードで



文字入力メニューを使う

文字入力画面で

[MENU]を押す

以下の項目から選択します。

絵文字	メールの本文に絵文字を入力します(※64ページ)。
記号	記号を挿入します(※64ページ)。
定型文	定型文を選択します(※65ページ)。
アニメ設定 (アニメ解除)	ライトメール本文の文頭に選択したアニメを設定／解除します(※98ページ)。
フレーム設定 (フレーム解除)	ライトメール本文に選択したフレームを設定／解除します(※98ページ)。
電話帳引用	電話帳の電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して入力します(※66ページ)。
メール履歴引用	受信や送信したメールから電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して入力します(※66ページ)。
プロフィール引用	自分のプロフィールを呼び出して入力します(※66ページ)。
メール切替	作成中のメール以外に切り替えることができます (Eメール ※91ページ、ライトEメール ※96ページ、 ライトメール ※98ページ、)。
コピー	文字をコピーします(※65ページ)。
カット	文字をカットします(※65ページ)。
ペースト	コピーした文字を貼り付けます(※65ページ)。

●利用中の機能によって、メニュー画面に表示される項目および順番は異なります。

文字入力画面の
メニュー



絵文字を入力する

メールの本文に絵文字を入力することができます。(「絵文字一覧」☞177ページ)

メール本文入力画面で

絵文字を入力したい位置にカーソルを合わせ、

☐ [MENU] ⇒ 「絵文字」を選択し、⦿ [決定] ⇒

⦿ で入力したい絵文字を選択し、⦿ [確定]

☐ [戻る]を押すと、入力画面に戻ります。



お知らせ

- 異なる機種種のPHSや携帯電話、パソコンなどに絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されないことがあります。
- 絵文字は全角のみです。
- 絵文字の種類は、ライトメールとライトEメール／Eメールで一部異なります(☞177ページ)。

記号を入力する

半角記号または全角記号を入力することができます。(「記号一覧」☞176ページ)

半角記号を入力したい画面で

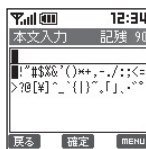
半角記号を入力したい位置にカーソルを合わせ、

☐ [MENU] ⇒ 「記号」を選択し、⦿ [決定] ⇒

☐ [MENU] ⇒ (1/2) 「半角記号」⇒

⦿ で入力したい記号を選択し、⦿ [確定]

☐ [戻る]を押すと、入力画面に戻ります。



全角記号を入力したい画面で

全角記号を入力したい位置にカーソルを合わせ、

☐ [MENU] ⇒ 「記号」を選択し、⦿ [決定] ⇒

☐ [MENU] ⇒ (2/2) 「全角記号」⇒

⦿ で入力したい記号を選択し、⦿ [確定]

☐ [戻る]を押すと、入力画面に戻ります。



定型文を入力する

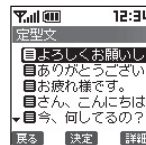
あらかじめ登録されている定型文を呼び出し、入力できます。定型文は自分で入力し変更することもできます(☞66ページ)。

文字入力画面で

定型文を入力したい位置にカーソルを合わせ、

☐ [MENU] ⇒ 「定型文」を選択し、⦿ [決定] ⇒

入力したい定型文を選択し、⦿ [決定]



カーソル位置に定型文が入力されます。

文字をコピー／ペースト(貼り付け)する

入力した文字をコピー(複写)できます。またコピーした文字を別の画面にペースト(貼り付け)することができます。

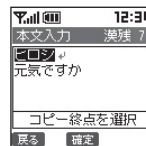
コピーする

文字入力画面で

コピーする最初の文字にカーソルを合わせ、☐ [MENU] ⇒

「コピー」を選択し、⦿ [決定] ⇒ ⦿ でコピーしたい範囲の

終点を選択し、⦿ [確定]



お知らせ

- コピーした文字列は、電源をOFFにすると消去されます。
- コピーは1件のみできます。

カット(切り取り)する

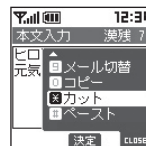
入力した文字をカット(切り取り)できます。

文字入力画面で

カットする最初の文字にカーソルを合わせ、☐ [MENU] ⇒

「カット」を選択し、⦿ [決定] ⇒ ⦿ でカットしたい範囲の

終点を選択し、⦿ [確定]



ペースト(貼り付け)する

前回コピーした文字を貼り付けることができます。

文字入力画面で

貼り付けたい位置にカーソルを合わせ、**[MENU]** ➡

「ペースト」を選択し、**[決定]**

お知らせ

- 画面によって使用できない文字が含まれている場合は、ペーストできません。



各機能からデータを引用する

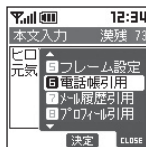
以下の内容を引用して電話番号やメールアドレスなどを入力することができます。

- 電話帳に登録されている名前や電話番号、Eメールアドレス
- プロフィールに登録されている自分の名前や電話番号、Eメールアドレス
- 受信や送信したメールの電話番号やEメールアドレス

文字入力画面で

貼り付けたい位置にカーソルを合わせ、**[MENU]** ➡

「電話帳引用」または「メール履歴引用」、「プロフィール引用」を選択し、**[決定]** ➡ 引用したい項目を選択し、**[決定]**



定型文を編集する

〈定型文〉 機能番号131

登録されている定型文(「定型文一覧」※175ページ)をお好みに合わせて書き換えることができます。

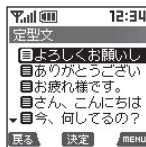
待受画面で

[MENU] ➡ **[1]** **[3]** **[1]** ➡ **編集したい定型文を選択し、**
[決定] ➡ **定型文を編集** ➡ **[決定]**

お知らせ

- 入力できる文字は全角61文字、半角123文字までです。

定型文一覧画面



定型文をリセットする

変更した定型文をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

[MENU] ➡ **[1]** **[3]** **[1]** ➡

リセットしたい定型文を選択 ➡ **[MENU]**



以下の項目から選択します。

1. 1件リセット	➡ 「はい」を選択し、 [決定] 選択した定型文をお買い上げ時の状態に戻します。
2. 全件リセット	➡ 暗証番号を入力 ➡ 「はい」を選択し、 [決定] 定型文をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

よく使う単語を登録する

〈ユーザ辞書〉

機能番号66

よく使う文字や記号などを短い読みで変換できるよう、辞書に単語を100件まで登録できます。

単語は全角10文字、半角20文字まで、読みは10文字まで登録できます。

登録できる文字は以下のとおりです。読みはひらがなで登録します。

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号

ユーザ辞書に単語を登録／編集する

〈辞書登録〉 機能番号661

待受画面で

[MENU] ➡ **[6]** **[3]** **[1]** ➡ **「未登録」または編集したい単語を選択し、**
[決定] ➡ **読みを入力／編集** ➡ **[決定]** ➡ **単語を入力／編集** ➡ **[決定]** ➡ **品詞※を選択し、**
[決定]

※以下の品詞から選択します。

1. 名詞	6. 名
2. 固有名詞	7. 地名
3. 人名&地名	8. 企業
4. 人名	9. 郵便番号
5. 姓	0. 電話番号

お買い上げ時： 「未登録」

辞書登録一覧画面



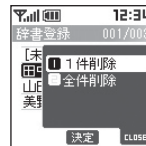
ユーザ辞書に登録した単語を削除する

待受画面で

[MENU] ➡ **[6]** **[3]** **[1]** ➡ **削除したい単語を選択** ➡
[MENU]

以下の項目から選択します。

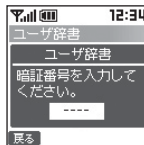
1. 1件削除	➡ 「はい」を選択し、 [決定] 選択した単語を削除します。
2. 全件削除	➡ 暗証番号を入力 ➡ 「はい」を選択し、 [決定] 登録した単語をすべて削除します。



文字変換の学習情報や予測変換の情報をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

⦿【MENU】⇒⦿【は】⇒⦿【は】⇒⦿【か】⇒暗証番号を入力⇒
「はい」を選択し、⦿【決定】



お知らせ

- 暗証番号を変更する (E97 136ページ)。

電話帳の使いかた

電話帳に登録する.....	70
電話帳の各項目を登録する	70
他の機能から電話帳に登録する.....	74
電話帳を検索する.....	75
名前(読み)で検索する	75
メモリ番号で検索する	76
グループで検索する	76
電話番号で検索する	76
登録内容を編集／削除する	77
編集する	77
削除する	77
電話帳から発信する.....	78
電話をかける	78
メールを送信する	78
スピードダイヤルで電話をかける	80
グループに名前を付ける	〈グループ名変更〉 80
相手によって着信音などを変える	〈グループ着信設定〉 81
W-SIMの電話帳を更新する.....	〈W-SIMマニュアル更新〉 82

電話帳に登録する

電話帳は700件まで登録でき、W-SIMに保存されます。

お知らせ

- 電話帳に新規登録や編集、削除をした場合、登録後にW-SIMのデータ更新(※82ページ)を行わないで電源を切ったりW-SIMを取り外すと、登録・編集・削除した内容はW-SIMに保存されません。

電話帳の各項目に登録する

待受画面で

1 ⇒ 2 「電話帳登録」⇒ 各項目を選択

電話帳登録画面



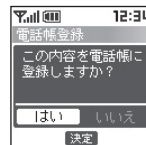
以下の項目から選択します。

 (名前入力)	⇒  [決定] ⇒ 名前を入力 ⇒  [決定] 名前を登録します(※71ページ)。
 (読みカナ入力)	名前を入力すると、その読みが24文字まで自動的に入力されます。 修正するときは、  [決定] ⇒ 読みを修正 ⇒  [決定] 名前を検索するときは、ここで登録した読み順で表示されます。 読みに入力できる文字数は半角24文字までです。
 (電話番号1)	⇒  [決定] ⇒ 電話番号を入力 ⇒  [決定] ⇒ 電話番号の種別を選択し、  [決定]
 (電話番号2)	電話番号と種別を登録します(※72ページ)。
 (電話番号3)	
 (メールアドレス1)	⇒  [決定] ⇒ Eメールアドレスを入力 ⇒  [決定]
 (メールアドレス2)	Eメールアドレスを登録します(※72ページ)。
 (メールアドレス3)	
 (グループ設定)	⇒  [決定] ⇒  ～  でグループを選択または  「グループなし」 登録するグループを設定します(※73ページ)。 友人や会社関係などのグループに分類して登録しておく、電話をかけるときに簡単に探し出せます。
 (シークレット設定)	⇒  [決定] ⇒  「ON」または  「OFF」 「ON」に設定して登録した内容は、電話帳シークレットモード(※135ページ)を設定しているときのみ電話帳に表示されます。
 (メモリ番号入力)	登録されていない一番小さいメモリ番号が自動的に入力されています。 異なる番号に登録するときは、  [決定] ⇒ メモリ番号を入力 ⇒  [決定] メモリ番号は電話帳1件ごとの番号です。No.000～No.699に登録します(※74ページ)。
 (メモ入力)	⇒  [決定] ⇒ メモを入力 ⇒  [決定] メモを登録します(※74ページ)。

2 各項目の入力または選択後、 **[登録]** ⇒

「はい」を選択し、 **[決定]**

登録した電話帳は、電源を切る前にW-SIMを更新しないと保存されません(※82ページ)。



お知らせ

- 電話帳の新規登録は、以下の手順でも行えます。
待受画面で電話番号を入力し、 **[MENU]** ⇒  「電話帳新規」
- 電話帳新規作成中・編集中に着信などによって登録が中断した場合は、登録内容は破棄され保存されません。
- 電話帳の登録や編集を中断すると、「編集内容を放棄してもよろしいですか?」と表示されます。「はい」を選択し、 **[決定]** を押すと作成中のデータは破棄され待受画面に戻ります。
- 「名前」「読みカナ」が入力されていないと、電話帳に登録できません。

名前を入力する

相手の名前を入力します。

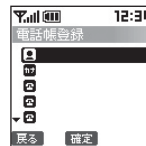
電話帳登録画面で

「 (名前入力)」を選択し、 **[決定]** ⇒ 名前を入力 ⇒

[決定]

お知らせ

- 入力できる文字数は全角32文字、半角64文字までです。



電話番号を入力する

電話帳登録画面で

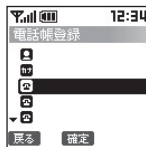
① 「 (電話番号1~3)」を選択し、 【確定】⇒

電話番号を入力 ⇒ 【確定】

② 電話番号の種別を選択し、 【確定】

選択できる種別は以下のとおりです。

PHS	FAX	会社
携帯	自宅	その他



お願い

- 相手が一般電話の場合は、必ず市外局番から入力してください。PHS／携帯電話の場合は必ず「0」から始まる11桁の番号を入力してください。

お知らせ

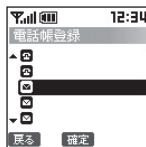
- 入力できる電話番号は32桁までです（「184」「186」も桁数に含まれます）。
- 電話番号入力中、 【MENU】を押すと、電話番号入力時のメニューが使えます（※37ページ）。（使えないメニューの項目は選択できません。）
- 電話番号入力画面で、番号を入力する前に を押すと、発信履歴から電話番号が入力できます。また を押すと、着信履歴から電話番号が入力できます。

Eメールアドレスを入力する

電話帳登録画面で

「 (メールアドレス1~3)」を選択し、 【確定】⇒

Eメールアドレスを入力 ⇒ 【決定】



お知らせ

- 入力できる文字数は半角128文字までです。

グループを設定する

登録する電話番号のグループを設定します。

電話帳登録画面で

「 (グループ設定)」を選択し、 【確定】⇒

~ でグループを選択または 「グループなし」

お買い上げ時：
「グループなし」



お知らせ

- ひとつのメモリ番号を複数のグループに登録することはできません。
- 「グループ1」~「グループ9」まで登録できます。グループには名前を付けることができます（「グループに名前を付ける」※80ページ）。
- グループを設定しない場合は「グループなし」に登録されます。

シークレットを設定する

電話帳登録画面で

「 (シークレット設定)」を選択し、 【確定】

以下の項目から選択します。

ON	シークレット設定した相手から着信すると、名前は表示されずに電話番号が表示されます。電話帳シークレットモード（※135ページ）を設定すると、着信時に相手の名前を表示します。また、登録した内容は、電話帳シークレットモードを設定しているときのみ電話帳に表示されます。
OFF	登録した相手から着信があると、名前を表示します。また、登録した内容は、電話帳シークレットモード（※135ページ）の設定にかかわらず、常に電話帳に表示されます。

お買い上げ時：
「OFF」



お願い

- シークレット設定した相手に電話帳を使って電話をかけたり、登録した内容を修正するときは、電話帳シークレットモードに設定してから行ってください。

メモリ番号を設定する

電話帳登録画面で

「 (メモリ番号入力)」を選択し、 [決定] ⇒

メモリ番号を入力 ⇒ [決定]



お知らせ

- 入力できるメモリ番号は「000」～「699」です。
- メモリ番号を指定しない場合は、登録されていない一番小さいメモリ番号に登録されます。
- 入力したメモリ番号がすでに登録されている場合は、登録時に「このメモリ番号のデータを上書きしてよろしいですか?」と表示されます。上書き登録するときは「はい」を選択し、 [決定] を押してください。

メモを入力する

電話帳登録画面で

「 (メモ入力)」を選択し、 [決定] ⇒ メモを入力 ⇒

[決定]



お知らせ

- 入力できる文字数は全角16文字、半角32文字までです。

他の機能から電話帳に登録する

電話帳に他の機能から新規登録や追加登録をすることができます。

登録できる機能は以下のとおりです。

- 発信履歴、着信履歴 (※38ページ)
- メールを送信履歴／受信履歴 (※104ページ／105ページ)
- マイフォルダ (※106ページ)
- 赤外線通信による電話帳データの受信 (※142ページ)

例：着信履歴から電話番号を登録する

待受画面で

⇒ 登録する履歴を選択 ⇒ [MENU]

以下の項目から選択します。



1. 電話帳新規	電話帳に新規登録します(「電話帳の各項目を登録する」※70ページ)。 電話帳登録画面が表示されます。「電話番号」に選択した着信履歴の電話番号が表示されます。
2. 電話帳追加	⇒ 追加登録する電話帳を選択し、 [決定] ⇒ [登録] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] 登録されている電話帳に選択した着信履歴の電話番号を追加して登録します。

電話帳を検索する

登録した電話帳を名前やグループなどで検索することができます。

待受画面で

[電話帳検索] ⇒ [MENU]

以下の項目から選択します。

1. 読みカナ検索	名前の読み順の電話帳リストが表示され、名前の読みを入力して検索します(「名前(読み)で検索する」※76ページ)。
2. メモリNo.検索	メモリ番号順の電話帳リストが表示され、メモリ番号を入力して検索します(「メモリ番号で検索する」※76ページ)。
3. グループ検索	グループに登録されている電話帳をメモリ番号順に表示します(「グループで検索する」※76ページ)。
4. 電話番号検索	電話番号の一部を入力して、その番号を含む電話帳を検索します(「電話番号で検索する」※76ページ)。

お知らせ

- シークレット設定したメモリ番号は、電話帳シークレットモード(※135ページ)設定中のみ検索することができます。
- 以下の方法でも電話帳が検索できます。

待受画面で、 を押す

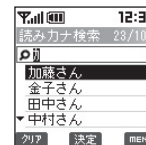
名前(読み)で検索する

名前の読みを入力して検索します。

電話帳検索メニュー画面で

1. 「読みカナ検索」⇒ 検索する読みを入力

読みを入力するごとに、該当する名前が選択されます。



2. 表示したい電話帳を選択し、 [決定]

電話帳詳細画面が表示されます。

お願い

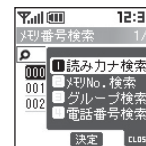
- ひらがな、漢字による検索はできません。

お知らせ

- 入力できる文字数は半角24文字までです。

お買い上げ時：
「メモリ番号検索」

電話帳検索メニュー画面



メモリ番号で検索する

メモリ番号を入力して検索します。

電話帳検索メニュー画面で

① ②「メモリNo.検索」⇒ 検索するメモリ番号を入力

入力することにより、該当するメモリ番号の電話帳が選択されます。

② 表示したい電話帳を選択し、【決定】

電話帳詳細画面が表示されます。



お知らせ

- 指定したメモリ番号がないときは、一番近いメモリ番号を表示します。

グループで検索する

選択したグループに登録されている電話帳をメモリ番号順に表示します。

電話帳検索メニュー画面で

① ③「グループ検索」⇒

④ ~ ⑨ で検索するグループを選択

② 表示したい電話帳を選択し、【決定】

電話帳詳細画面が表示されます。



電話番号で検索する

電話番号の一部を入力して、その番号を含む電話帳を検索します。

電話帳検索メニュー画面で

① ④「電話番号検索」⇒

検索する電話番号を入力し、【決定】

検索結果が表示されます。

② 表示したい電話帳を選択し、【決定】

電話帳詳細画面が表示されます。



お知らせ

- 入力できる数字は32桁までです。

登録内容を編集／削除する

電話帳の登録内容を編集／削除します。

お知らせ

- 赤外線通信方法については「赤外線通信を利用する」(P.142ページ)をご参照ください。

編集する

待受画面で

【電話帳検索】⇒ ①「電話帳検索」⇒ 編集する電話帳を検索し、

【決定】⇒ 編集する項目を選択 ⇒ 【MENU】⇒

②「編集」⇒ 登録内容を修正 ⇒ 【登録】⇒

「はい」を選択し、【決定】

各項目の修正方法については、「電話帳の各項目を登録する」(P.70ページ)をご参照ください。

電話帳画面のメニュー



削除する

1件削除する

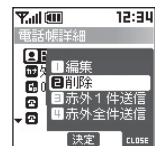
選択した電話帳を1件削除します。

待受画面で

【電話帳検索】⇒ ①「電話帳検索」⇒ 削除する電話帳を検索し、

【決定】⇒ 【MENU】⇒ ②「削除」⇒

「はい」を選択し、【決定】

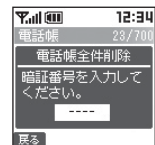


すべて削除する

待受画面で

【電話帳検索】⇒ ③「電話帳全件削除」⇒ 暗証番号を入力 ⇒

「はい」を選択し、【決定】



電話帳から発信する

電話をかける

待受画面で

- 1 → 1. 「電話帳検索」 →

電話帳を検索し、【決定】

電話帳詳細画面が表示されます。

電話帳詳細画面



- 2 または電話番号を選択し、

お知らせ

- 1件の電話帳に複数の電話番号の登録があるときに、電話番号を選択せずに を押すと、1番目の電話番号に電話をかけます。
- 電話番号入力時のメニュー(※37ページ)を使ってかけるときは、以下の手順で行います。
電話帳詳細画面で電話番号を選択し、【決定】 → 【MENU】 → メニュー項目選択後 または 【発信】

メールを送信する

ライトメールを送信する

待受画面で

- 1 → 1. 「電話帳検索」 →

電話帳を検索し、【決定】

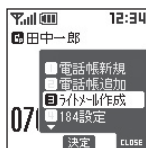
電話帳詳細画面が表示されます。



- 2 送信する電話番号を選択し、【決定】 →

【MENU】 → 3. 「ライトメール作成」 → 【決定】

ライトメール作成画面が表示されます。選択した電話帳に登録されている名前が宛先に表示されます。(「ライトメールを作成して送信する」※98ページ)



お知らせ

- ライトメール対応機種以外への送信はできません。

ライトEメールを送信する

待受画面で

- 1 → 1. 「電話帳検索」 →

電話帳を検索し、【決定】

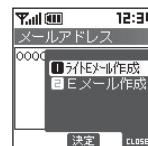
電話帳詳細画面が表示されます。



- 2 送信するEメールアドレスを選択し、【決定】 →

【MENU】 → 1. 「ライトEメール作成」 → 【決定】

ライトEメール作成画面が表示されます。選択した電話帳に登録されている名前が宛先に表示されます。(「ライトEメールを作成して送信する」※96ページ)



Eメールを送信する

待受画面で

- 1 → 1. 「電話帳検索」 →

電話帳を検索し、【決定】

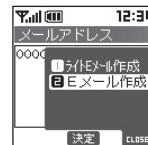
電話帳詳細画面が表示されます。



- 2 送信するEメールアドレスを選択し、【決定】 →

【MENU】 → 2. 「Eメール作成」 → 【決定】

Eメール作成画面が表示されます。選択した電話帳に登録されている名前が宛先に表示されます。(「Eメールを作成して送信する」※91ページ)



スピードダイヤルで電話をかける

メモリ番号000～099に登録している電話番号へかける場合は、メモリ番号の下1桁または下2桁を入力し、を押すだけで電話をかけることができます。

■ メモリ番号000～009の場合

待受画面で

メモリ番号の下1桁  ~  を入力し、 または  【発信】 ➡

Ⓜ または Ⓢ 【発信】

■ メモリ番号010～099の場合

待受画面で

メモリ番号の下2桁 (1.あ) ~ (9.あ) (十の位) → (0.あ) ~ (9.あ) (一の位)を入力し、

 または  【発信】 ⇒  または  【発信】

 お知らせ

- 電話帳ロック中(☎ 134ページ)はスピードダイヤルは使えません。
- シークレット設定したメモリ番号は、電話帳シークレットモード(☎ 135ページ)設定中のみスピードダイヤルで電話をかけることができます。
- 電話番号が複数登録されているときは、1番目の電話番号に電話をかけます。

グループに名前を付ける

〈グループ名変更〉

電話帳のグループにお好みの名前を付けることができます。

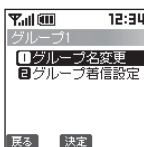
待受画面で

□【**📖**】⇒④「グループ設定」⇒①～⑨で名前を
付けるグループを選択 ⇒①「グループ名変更」⇒
名前を入力 ⇒**⦿**【決定】

 お知らせ

- 入力できる文字数は全角8文字、半角16文字までです。

お買い上げ時：
「グループ1」～
「グループ9」



相手によって着信音などを変える

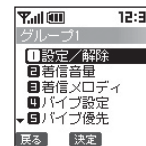
〈グループ着信設定〉

電話帳のグループによって、着信メロディやバイブレータのパターンを変更できます。
あらかじめ以下のことを行ってください。

- 電話帳の登録(「電話帳に登録する」[P.70](#)ページ)
- 電話帳のグループ設定(「グループを設定する」[P.73](#)ページ)

待受画面で

①【】⇒④^{ON}「グループ設定」⇒①^あ～⑨^んで
設定したいグループを選択⇒②^あ「グループ着信設定」



以下の項目から選択します。

1.2 設定／解除 お買い上げ時：「OFF」	⇒ 1.2 「ON」または 2.2 「OFF」 「ON」を選択すると、着信時にグループによって着信音などが変えられます。
2.2 着信音量 お買い上げ時： 「音量レベル2」	⇒ 2.2 で着信音量を選択し、2.2 「決定」 設定中のグループから着信があったときの着信音量を選択します。 2.2 で音量を選択すると、選択した音量で現在設定されている着信メロディを再生します（マナーモード設定中は、再生されません）。 音量は、OFFと音量レベル1～3、STEPから選択できます。
3.2 着信メロディ お買い上げ時： 「花のワルツ」	⇒ 3.2 ～ 3.2、3.2、3.2 で着信メロディを設定する 設定中のグループから着信があったときの着信メロディを選択します。 3.2 で選択し、3.2 「再生」を押すとメロディを再生できます。再生中に 3.2 「OK」を押すと、選択した着信メロディに設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、3.2 「決定」を押すと再生されます。選択できる着信メロディについては「着信メロディを設定する」(P.24ページ)をご参照ください。
4.2 バイブ設定 お買い上げ時：「OFF」	⇒ 4.2 「OFF」または 1.2 ～ 3.2 でパターンを設定する 設定中のグループから着信があったときのバイブレーションを選択します。 4.2 でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレーションが動作します。 バイブレーション動作中に 4.2 「決定」を押すと、選択したパターンに設定されます。
5.2 バイブ優先 お買い上げ時：「OFF」	⇒ 1.2 「ON」または 2.2 「OFF」 「ON」を選択すると、設定中のグループからの着信時に、着信音が鳴る前にバイブレーションが動作します。
6.2 LED設定 お買い上げ時：「OFF」	⇒ 4.2 「OFF」または 1.2 ～ 3.2 でパターンを設定する 設定中のグループから着信があったときのLED（表示ランプ）の点滅パターンを選択します。6.2 でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。 LEDの点滅中に 6.2 「決定」を押すと、選択したパターンに設定されます。

W-SIMの電話帳を更新する

〈W-SIMマニュアル更新〉

電話帳に新規登録や修正、削除を行った場合、W-SIMの電話帳を更新しないと、登録した内容が保存されません。W-SIMに保存されていない電話帳がある場合、画面に「

待受画面で

  **「W-SIMマニュアル更新」** ➡

「はい」を選択し、【決定】



お願い

- 電話帳更新中は、W-SIMは絶対に抜かないでください。
- 電話帳を更新しなかった場合の電話帳データの消失につきましては、当社はその責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

お知らせ

- W-SIMマニュアル更新を行わずに電源OFFにすると、「W-SIMカードの電話帳を更新しますか?」と表示されます。「はい」を選択し、【決定】を押して電話帳を更新してください。
- 電話帳の登録件数が700件になるときは、「W-SIM作業領域を削除しますか?」と表示されます。「はい」を選択し、【決定】を押して電話帳を更新してください。

5

メールの使いかた

オンラインサインアップをする.....〈オンラインサインアップ〉	85
設定内容を確認／変更する.....	86
Eメール／ライトEメール／ライトメールについて.....	87
Eメールについて.....	87
ライトEメールについて.....	88
ライトメールについて.....	89
メールメニューについて.....	90
Eメールを作成して送信する.....〈Eメール〉	91
Eメールを作成する.....	91
アドレスリストを編集する.....	93
Eメールの送信メニューについて.....	94
Eメールを送信する.....	95
保存したEメールを編集して送信する.....	95
ライトEメールを作成して送信する.....〈ライトEメール〉	96
ライトEメールを作成する.....	96
ライトEメールを送信する.....	97
保存したライトEメールを編集して送信する.....	97
ライトメールを作成して送信する.....〈ライトメール〉	98
ライトメールを作成する.....	98
ライトメールを送信する.....	99
保存したライトメールを編集して送信する.....	100
メールを受信／返信／転送する.....	100
受信したメールを読む.....	100
メールに返信する.....	103
メールを転送する.....	104
メール本文のEメールアドレス／電話番号を直接利用する (クリックابل).....	104
メールを管理する.....	106
メール一覧画面のメニューを使う.....	106
受信Eメール詳細画面のメニューを使う.....	107
受信ライトEメール／ライトメール詳細画面のメニューを使う.....	108
送信Eメール詳細画面のメニューを使う.....	109
送信ライトEメール／ライトメール詳細画面のメニューを使う.....	110
メールを削除する.....	111
メールを別のフォルダに移動する.....	111
メール一覧の表示順を変える(ソート).....	112
メールを保護する.....	112

メールの使いかた (つづき)

メールの機能を設定する	〈メール設定〉 113
フォルダ名を変更する	114
署名を設定する	115
メールの文字の大きさを設定する	116
ライトメール送信時の確認音を設定する	116
センター番号を変更する	117
ライトEメールの題名入力を不要にする	117
EメールセンターのEメールを削除するか設定する	118
Eメールの通信方式を設定する	119
Eメールの返信先を事前に指定する	120

オンラインサインアップをする 〈オンラインサインアップ〉

機能番号14

お買い上げ後、初めてEメール／ライトEメールをご利用いただくには、オンラインサインアップを行って、Eメールアドレスの取得とライトEメールの利用開始を設定していただく必要があります。

待受画面で

☐【】⇒⇒または【】⇒

画面の指示に従って設定※⇒オンラインサインアップ完了後、

※設定は、【編集】⇒設定内容を入力し、【決定】を押して行います。

① Eメールアドレスを取得する(機種変更などで、すでに取得しているときは必要ありません)

取得できるEメールアドレスは以下のようになります。

○○○○○ @ △△.pdx.ne.jp	
ユーザーネーム お客様が自由に設定できます。 ● 半角英数字と「- (ハイフン)」、「_ (アンダーバー)」で、4～20文字まで登録できます。 ● 1文字目は英字に限ります。 ● 英字はすべて小文字として取り扱われます。	ドメイン ユーザーネーム登録後、自動的に付加されます。 ● △△の部分には、ウィルコムで指定した文字列が入ります。

② ライトEメールの利用開始を設定する(ライトEメールを使用しない場合は設定不要)

Eメールアドレス取得後に、再度オンラインサインアップでライトEメールの「利用開始」を設定する必要があります。

オンラインサインアップ画面で
 「1. 開始」⇒「10. ライトEメール」⇒「1. 利用開始/内容変更」⇒「3. 受信設定変更」⇒「1. 受信する(詳細設定)」⇒「1. この内容で登録」⇒「00. 変更内容登録」⇒「1. 登録」と設定します。

お願

- オンラインサインアップは、電波状態の良い場所で行ってください。電波状態が悪い場所や移動中は、正しい設定ができないことがあります。
- 指定したユーザーネームと同じ名前がすでに登録されている場合、そのユーザーネームは使用できません。別のユーザーネームで登録し直してください。
- 機種変更で本製品をご使用になる場合、以前にお使いの機種でオンラインサインアップを行っているときも上記の手順でセンターに接続し、設定をご確認ください。

お知らせ

- オンラインサインアップ中は、電話の着信やメールの受信は行われません。
- Eメールアドレスを取得すると、オンラインサインアップでセンターに接続し、メールサービスに関する便利な機能の申し込みや設定内容の変更ができます(※86ページ)。
- オンラインサインアップは、待受画面で【MENU】⇒⇒を押しても表示できます。

設定内容を確認／変更する

Eメールアドレス取得後は、オンラインサインアップ画面で現在の設定内容の確認や変更ができます。

待受画面で

☐【】⇒⇒ または 【**発信**】⇒

「1⇒開始」を選択し、【**編集**】⇒【**決定**】

オンラインサインアップのメニューが表示されます。

以下の項目から選択します。(2007年5月現在)

1⇒転送	届いたメールを指定した他のEメールアドレスに転送します。転送してもウィルコム のメールサーバーにメールは保存されます。
2⇒蓄積停止	新しく送信されてきたメールをウィルコムのメールサーバーで保存しないように 設定し、メール受信を停止します。
3⇒メールアドレス指定 受信拒否／指定受信	メールアドレス指定受信拒否 指定したEメールアドレスからのメールを受信しないように設定します。(20件まで) メールアドレス指定受信 指定したEメールアドレスからのメールだけを受信するように設定します。(20件まで) ●「メールアドレス指定受信拒否」と「メールアドレス指定受信」を同時には設定で きません。
4⇒お知らせ	受信メール本文の末尾に、ウィルコムからのお知らせを付けて届くように設定します。
5⇒未確認メール通知	毎日(約24時間ごと)ウィルコムのネットワークに確認して、まだ受信していない メールがある場合にライトメールでお知らせします。
6⇒新着メール通知・ Eメール自動受信 (対応機種のみ)	新着メール通知 ウィルコムのメールサーバーに新しいメールがあることを、ライトメールでお知ら せします。 Eメール自動受信(対応機種のみ) 新しいEメールがウィルコムのメールサーバーに届くと、センターからの信号を受 けてメールを自動的に受信します。
7⇒期限到来メール通知	ウィルコムのメールサーバーに保存期間が29日目になるメールがあるときに、 ライトメールでお知らせします。
8⇒受信限度メール通知	ウィルコムのメールサーバーのメール蓄積容量がいっぱいになり、新しいメール が蓄積できなかったときに、ライトメールでお知らせします。
9⇒パソコンやPDAでの メール送受信	ウィルコムのインターネット接続サービス「PRIN」を利用してウィルコムの EメールをパソコンやPDAなどのメールソフトで送受信できます。
10⇒ライトEメール	ライトEメール受信 ライトEメールセンターに届いたEメールをライトEメールで受信します。 メール保存 ライトEメールセンターに届いたEメールをライトEメールで受信したあと、セン ターに保存するか削除するかを設定します。 表題 ライトEメールを受信するときに、表題(題名)を付けるかどうかを設定します。 ●ライトEメール受信を設定すると、「新着メール通知」と「Eメール自動受信」は 自動的に解除されます。
11⇒未承諾広告メール 拒否	受信者の承諾なく送られてくる商業広告メールなどを受信しないように設定します。 メールの題名に「! 広告!」または「未承諾広告※」が含まれているメールの受信を拒 否します。

12⇒添付ファイル削除	メールに添付されたファイルを削除して受信します。ただし、「転送」を設定して いる場合は、添付ファイルを削除せずに転送します。
13⇒メールアドレス変更	現在のEメールアドレスを変更します。 変更すると、以前のEメールアドレス宛のメールは受信できなくなります。 また、変更前のアドレスには戻しません。
99⇒現在の設定確認	現在の設定状況を確認できます。
98⇒中止	設定変更を中止し、オンラインサインアップを終了します。
00⇒変更内容登録	設定や変更した内容を登録します。

Eメール／ライトEメール／ライトメールについて

Eメールについて

Eメールはインターネットを経由して、世界中の人とメールをやりとりすることが可能です。
パソコンや他社携帯電話などともコミュニケーションできます。
本製品はパケット方式、PIAFS方式の2方式に対応しています。お買い上げ時は、パケット方式に
設定されております。また、通信方式によりご利用料金が異なります。
通信方式の設定については「Eメールの通信方式を設定する」(☎119ページ)をご参照ください。

●Eメールを利用するには、オンラインサインアップでEメールアドレスを取得してください(☎85ページ)。

Eメール機能の仕様

送信文字数	本文	全角1024文字まで、半角2048文字まで
	題名	全角128文字まで、半角256文字まで
	送信先Eメールアドレス	半角128文字まで
受信文字数	全角10368文字まで、半角20736文字まで (発信元Eメールアドレス(128文字まで)、題名、本文を合わせた文字数)	
文字種	全角：ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号・絵文字 半角：カタカナ・英字・数字・記号	
添付ファイル	送受信できません。添付ファイルを受信した場合、添付ファイルは 削除され、「添付あり」とメッセージが表示されます。	
メール保存件数	受信メール：最大400件 送信メール：最大400件	

お知らせ

●メール保存件数は、受信および送信したメールの容量により件数が400件を下回る場合があります。

ライトEメールについて

本製品でライトEメールを利用すると、Eメールアドレスを持つ世界中の人とメールをやりとりすることができます。

相手から送られてきたEメールはライトEメールセンターに届けられ、自動的に本製品が受信します。電波の届かないところや電源が入っていないときは、ライトEメールセンターが3日間(72時間)は、本製品に再送します。

- ライトEメールを利用するには、オンラインサインアップでEメールアドレス取得後(※85ページ)、再度オンラインサインアップで「10⇒ライトEメール」の設定を行ってください(※86ページ)。

ライトEメール機能の仕様

送信文字数	全角103文字まで、半角207文字まで (送信先Eメールアドレス、題名、本文を合わせた文字数)
受信文字数	全角123文字まで、半角246文字まで (発信元Eメールアドレス、題名、本文を合わせた文字数)
文字種	全角：ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号・絵文字 半角：カタカナ・英字・数字・記号
添付ファイル	送受信できません。(送られてきた添付ファイルは削除されます。)
メール保存件数	受信メール：最大200件 送信メール：最大200件 (ライトEメール、ライトメールを合わせた件数)

お願い

- 相手の受信機器によっては、一部正しく表示されない文字があります。
- 送受信できる文字数には、空白や改行も含まれます。

ライトメールについて

ライトメールは、ライトメール対応の電話機どうして文字メッセージをやりとりできます。本製品は、アニメーション絵文字やフレームに対応していますので、送信したい相手の電話機も対応していると、アニメーション絵文字やフレームを添付したメッセージのやりとりができます。ライトメールは電話番号を使用するため、オンラインサインアップしていなくても送受信が行えます。

ライトメール機能の仕様

送信文字数	全角45文字まで、半角90文字まで (アニメーション絵文字とフレームは、それぞれ全角1文字分になります。)
受信文字数	
文字種	全角：ひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号・絵文字 半角：カタカナ・英字・数字・記号
添付ファイル	送受信できません。
メール保存件数	受信メール：最大200件 送信メール：最大200件 (ライトEメール、ライトメールを合わせた件数)

お知らせ

- ライトメールを送信するときは、送信先がライトメール対応機種である必要があります。
- アニメーション絵文字とフレームは、送信先の電話機がそれぞれ対応していないときは、表示できません。
- Pメール対応電話機に送信する場合、半角のカタカナ／英字／数字／記号のみで20文字まで送信できますが、機種によっては送信できない場合があります。

メールメニューについて

メールメニューは、メールに関するさまざまな機能の入り口になります。

待受画面で



メールメニュー



以下の項目から選択します。

1. Eメール	新規作成	新しくEメールを作成します(「Eメールを作成して送信する」 ※91ページ)。
	受信フォルダ	受信したEメールが保存されます。
	送信フォルダ	送信したEメールや保存したEメール、送信に失敗したEメール が保存されます。
	マイフォルダ	送受信したEメールを振り分けて保存するためのフォルダです。
	Eメール受信	センター問い合わせによりメールを受信します。
2. ライト/ ライトEメール	新規作成	新しくライト/ライトEメールを作成します(「ライトEメール を作成して送信する」※96ページ、「ライトメールを作成して 送信する」※98ページ)。
	受信フォルダ	受信したライト/ライトEメールが保存されます。
	送信フォルダ	送信したライト/ライトEメールや保存したライト/ライトE メール、送信に失敗したライト/ライトEメールが保存されま す。
	マイフォルダ	送受信したライト/ライトEメールを振り分けて保存するた めのフォルダです。
3. メール設定	メール機能の各種設定ができます(「メールの機能を設定する」※113ページ)。	
4. オンライン サインアップ	Eメール/ライトEメールを使うための設定を行います(「オンラインサインアップをする」 ※85ページ)。	

お知らせ

- 本書では、EメールとライトEメールとライトメールを総称して、「メール」と表記しています。

Eメールを作成して送信する

【Eメール】機能番号111

新しくEメールを作成して送信します。作成したEメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で

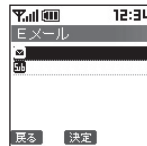


Eメール作成画面が表示されます。

以下の項目を入力します。

宛先	宛先(Eメールアドレス)を入力します(「宛先を入力する」※92ページ)。
題名	題名を入力します(「題名/本文を入力する」※92ページ)。
本文	本文を入力します(「題名/本文を入力する」※92ページ)。

Eメール作成画面



Eメールを作成する

宛先や題名、本文に入力できる文字数は以下のとおりです。

宛先	半角128文字まで
題名	全角128文字、半角256文字まで
本文	全角1024文字、半角2048文字まで

お願い

- 入力可能な文字種/文字数は、本製品から送信/受信可能かどうかの基準です。Eメールを作成するときは相手の電話機が受信可能な文字種/文字数についてご確認ください。
- 異なる機種のPHSや携帯電話、またはパソコンなどに絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
- 異なる機種のPHSや携帯電話、またはパソコンなどに送信した場合、題名や本文の文字数によっては、相手先で文章が途中で切れてしまう可能性があります。

お知らせ

- 本文入力の方法については、「文字の入力と設定」(※57ページ)をご参照ください。
- 宛先や題名、本文を入力するときは、文字入力メニューを利用して電話帳やメール履歴などのほか、さまざまな方法で引用や入力ができます。また、本文入力中にライトメール/ライトEメールに切り替えてメールを作成することもできます(「文字入力メニューを使う」※63ページ)。ライトメール/ライトEメールに切り替えたときに最大入力文字数を超えた場合は、超えた文字は削除されます。
- Eメール作成中に着信したり、(電源ボタン)を押して作成を中断した場合は、作成していたメール内容は送信フォルダに保存されます。続きを作成するには「保存したEメールを編集して送信する」(※95ページ)をご参照ください。

宛先を入力する

Ｅメール作成画面で

「 (宛先)」を選択し、【決定】⇒ 宛先を入力 ⇒ 【決定】

- 128文字以内であれば、カンマ「,」で区切ることで複数の宛先を入力することができます。
- アドレスリストから宛先を追加することができます。宛先を追加するときは「宛先を追加する」(※下記)をご参照ください。
- 題名、本文を入力する時は、「題名/本文を入力する」(※下記)をご参照ください。



宛先を追加する

アドレスリストから宛先を追加することができます。宛先の入力欄は「1」～「0」の10個となります。

Ｅメール作成画面で

① 「 (宛先)」を選択し、【決定】

アドレスリスト画面が表示されます。

② 宛先を追加する任意の入力欄「1」～「0」を選択し、【決定】⇒ 宛先を入力 ⇒ 【決定】

③ 【戻る】

Ｅメール作成画面に戻ります。

アドレスリスト



お知らせ

- 宛先が1件も入力されていない場合、アドレスリストは表示されません。宛先入力画面が表示されます。
- 1個の入力欄に対して、128文字以内であれば、カンマ「,」で区切ることで複数の宛先を入力することができます。
- アドレスリストから宛先に「To」、「Cc」、「Bcc」を設定することができます。「アドレスリストを編集する」(※93ページ)をご参照ください。

題名/本文を入力する

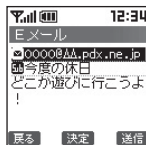
Ｅメール作成画面で

① 「 (題名)」を選択し、【決定】⇒ 題名を入力 ⇒ 【決定】

② 本文入力欄を選択し、【決定】⇒ 本文を入力 ⇒ 【決定】

Ｅメール作成画面に戻ります。

Ｅメール作成例



- 作成したEメールを送信するときに、返信先を指定したり、料金分計に設定することができます。「Eメールの送信メニューについて」(※94ページ)をご参照ください。
- 作成したEメールを送信するときは「Eメールを送信する」(※95ページ)をご参照ください。
- 作成したEメールを保存するときは

【戻る】⇒「はい」を選択し、【決定】を押す

作成したメールはEメールメニューの送信フォルダに保存されます。保存したメールを編集したり送信するときは、「保存したEメールを編集して送信する」(※95ページ)をご参照ください。

アドレスリストを編集する

宛先に「To」、「Cc」、「Bcc」を設定することができます。

Ｅメール作成画面で

「 (宛先)」を選択し、【決定】⇒ 宛先を選択し、【MENU】

アドレスリスト画面のメニュー



お知らせ

- 宛先が1件も設定されていない場合、アドレスリストは表示されません。宛先入力画面が表示されます。
- 保存したメール、送信済みのメールは、カンマで区切ることで、宛先を10件以上入力していた場合でもアドレスリストには宛先が10件以上表示されません。

以下の項目から選択します。

① Toへ変更	宛先を「To」に設定します。
② Ccへ変更	宛先を「Cc」に設定します。
③ Bccへ変更	宛先を「Bcc」に設定します。
④ 1件削除	⇒「はい」を選択し、【決定】 選択した宛先を削除します。
⑤ 全件削除	⇒「はい」を選択し、【決定】 アドレスリスト内のすべての宛先を削除します。

お知らせ

- 宛先が「To」に1件も設定されていないときは、メールを送信することができません。

Eメールの送信メニューについて

Eメール作成画面で

☐【送信】を長く(約1秒以上)押す

以下の項目から選択します。

① 返信先指定	送信先アドレスを指定アドレスに設定することができます。(「Eメールの返信先を指定する」※120ページ)。
② Eメール分計設定	Eメールを送信するときに、料金分計に設定して送信します(「Eメールを料金分計に設定して送信する」※120ページ)。

Eメール送信画面のメニュー



Eメールの返信先を指定する

送信先アドレスを指定アドレスに設定することができます。

Eメール作成画面で

☐【送信】を長く(約1秒以上)押す ⇒ ①「返信先指定」

以下の項目から選択します。

① ON	⇒ 返信先を入力 ⇒ ②【決定】 送信先アドレスを指定アドレスに設定します。
② OFF	送信先アドレスを指定アドレスに設定しません。

お買い上げ時：
「OFF」



お知らせ

- Eメールの返信先は事前に登録設定することもできます(「Eメールの返信先を事前に指定する」※120ページ)。
- 指定できるアドレスは1件のみとなります。
- 返信先を指定するとEメール作成画面に「Replyto」と表示されます。

Eメールを料金分計に設定して送信する

Eメールを送信するときに、料金分計に設定して送信します。

Eメール作成画面で

☐【送信】を長く(約1秒以上)押す ⇒ ②「Eメール分計設定」

以下の項目から選択します。

① ON	Eメールを送信するときに、料金分計に設定して送信します。
② OFF	Eメールを送信するときに、料金分計に設定しないで送信します。

お買い上げ時：
「OFF」

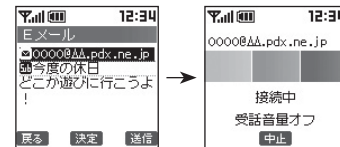


Eメールを送信する

Eメール作成画面で

☐【送信】を押す

送信したメールは、Eメールメニューの送信フォルダに保存されます。



お知らせ

- 入力した宛先や内容が正しいかどうか、送信の前に確認してください。宛先「To」に宛先が1件も入力されていない場合は、メールを送信することができません。
- 通話中は、Eメールを送信することができません。
- 送信メールは最大400件まで保存されます。送信メール保存件数は、送信したメールのサイズにより件数が増減します。保存できる件数を超えると古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。
- 何らかの理由で送信に失敗した場合も、Eメールメニュー送信フォルダに保存されます。

保存したEメールを編集して送信する

保存されたEメールは、Eメールメニュー送信フォルダに保存されています。

待受画面で

① ☐【メール】⇒ ①【再送/編集】⇒ ②【決定】⇒

☐【MENU】⇒ ①【再送/編集】

Eメール作成画面が表示され、新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。編集しないで送信するときは、手順③の操作を行います。

② 編集したい項目を選択し、②【決定】⇒ 編集後、③【決定】

③ ☐【送信】

お知らせ

- 送信済や編集したEメールは、新たなメールとしてEメールメニュー送信フォルダに保存されます。

ライトEメールを作成して送信する〈ライトEメール〉機能番号1212

新しくライトEメールを作成して送信します。作成したライトEメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で



ライトEメール作成画面が表示されます。

以下の項目を入力します。

宛先	宛先(Eメールアドレス)を入力します(「ライトEメールを作成する」※97ページ)。
題名	題名を入力します(「ライトEメールを作成する」※97ページ)。
本文	本文を入力します(「ライトEメールを作成する」※97ページ)。

ライトEメール
作成画面



ライトEメールを作成する

宛先は1件のみ入力できます。宛先や題名、本文に入力できる文字数は以下のとおりです。

宛先	半角128文字まで
題名	全角40文字、半角80文字まで
本文	受信メール：全角123文字、半角246文字まで 送信メール：全角103文字、半角207文字まで

宛先と題名、本文合わせて全角103文字、半角207文字まで入力できます。各項目に入力された文字数により、入力できる文字数は少なくなります。

ライトEメール作成画面で

- 1 「 (宛先)」を選択し、 [決定] ⇒ 宛先を入力 ⇒ [決定]
- 2 「 (題名)」を選択し、 [決定] ⇒ 題名を入力 ⇒ [決定]
- 3 本文入力欄を選択し、 [決定] ⇒ 本文を入力 ⇒ [決定]

ライトEメール作成画面に戻ります。

- 作成したライトEメールを送信するときは「ライトEメールを送信する」(※97ページ)をご参照ください。
- 作成したライトEメールを保存するときは

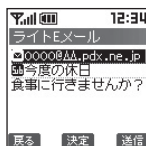
[戻る] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] を押す

作成したメールはライト/ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されます。保存したメールを編集したり送信するときは、「保存したライトEメールを編集して送信する」(※97ページ)をご参照ください。

お願い

- 入力可能な文字種/文字数は、本製品から送信/受信可能かどうかの基準です。ライトEメールを作成するときは、相手の電話機が受信可能な文字種/文字数についてもご確認ください。
- 異なる機種のPHSや携帯電話、またはパソコンなどに絵文字を送信した場合、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。
- 異なる機種のPHSや携帯電話、またはパソコンなどに送信した場合、題名や本文の文字数によっては、相手先で文章が途中で切れてしまう可能性があります。

ライトEメール
作成例



お知らせ

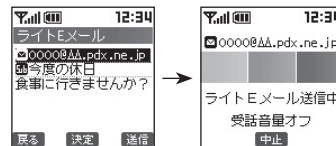
- 本文入力の方法については、「文字の入力と設定」(※57ページ)をご参照ください。
- 宛先や題名、本文を入力するときは、文字入力メニューを利用して電話帳やメール履歴などのほか、さまざまな方法で引用や入力ができます。また、本文入力中にEメール/ライトEメールに切り替えてメールを作成することもできます(「文字入力メニューを使う」※63ページ)。Eメール/ライトEメールに切り替えたときに最大入力文字数を超えた場合は、超えた文字は削除されます。
- ライトEメール作成中に着信したり、 を押して作成を中断した場合は、作成していたメール内容は送信フォルダに保存されます。続きを作成するには「保存したライトEメールを編集して送信する」(※97ページ)をご参照ください。

ライトEメールを送信する

ライトEメール作成画面で

[送信] を押す

送信したメールはライト/ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されます。



お知らせ

- 入力した宛先や内容が正しいかどうか、送信の前に確認してください。
- 通話中は、ライトEメールを送信することができません。
- 送信メールはライトEメール/ライトEメール合わせて200件まで保存されます。200件を超えると古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。
- 何らかの理由で送信に失敗した場合も、ライト/ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されます。

保存したライトEメールを編集して送信する

保存されたライトEメールは、ライト/ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されています。

待受画面で

- 1 [Eメール] ⇒ ⇒ 保存メールを選択し、 [決定] ⇒ [MENU] ⇒ 「再送/編集」

ライトEメール作成画面が表示され、新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。編集しないで送信するときは、手順③の操作を行います。

- 2 編集したい項目を選択し、 [決定] ⇒ 編集後、 [決定]
- 3 [送信]

お知らせ

- 送信済や編集したライトEメールは、新たなメールとしてライト/ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されます。

ライトメールを作成して送信する 〈ライトメール〉 機能番号1211

新しくライトメールを作成して送信します。作成したライトメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で



ライトメール作成画面が表示されます。

以下の項目を入力します。

宛先	宛先(電話番号)を入力します(「ライトメールを作成する」※下記)。
本文	本文を入力します(「ライトメールを作成する」※下記)。

ライトメール
作成画面



ライトメールを作成する

宛先は1件のみ入力できます。宛先や本文に入力できる文字数は以下のとおりです。

宛先(電話番号)	32桁まで
本文	全角45文字、半角90文字まで

本製品は、アニメーション絵文字やフレームに対応していますので、相手の電話機も対応している場合は、本文にアニメーション絵文字やフレームをそれぞれ1種類設定して送信できます。アニメーション絵文字やフレームを設定した場合、それぞれ全角1文字分になります。

ライトメール作成画面で

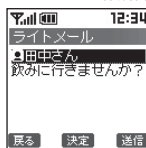
① 「☒(宛先)」を選択し、⦿【決定】⇒

宛先の電話番号を入力※⇒⦿【決定】

※ 履歴や電話帳から入力するときは

- 発信履歴から入力する場合：⦿⇒履歴を選択し、⦿【決定】
- 着信履歴から入力する場合：⦿⇒履歴を選択し、⦿【決定】
- 電話帳から入力する場合：⦿⇒電話帳を検索し、⦿【決定】⇒電話番号を選択し、⦿【決定】

ライトメール作成例



② 本文入力欄を選択し、⦿【決定】⇒ 本文を入力

アニメーション絵文字、フレームを設定するときは

本文入力中に⦿【MENU】⇒⦿【アニメ設定】または⦿【フレーム設定】⇒

アニメーション絵文字またはフレームを選択し、⦿【決定】

設定したアニメーション絵文字やフレームは、本文入力中は表示されません。ライトメール作成画面に戻ったときに表示され、確認できます。

③ 本文入力後、⦿【決定】

ライトメール作成画面に戻ります。

- 作成したライトメールを送信するときは、「ライトメールを送信する」(※99ページ)をご参照ください。
- 作成したライトメールを保存するときは、⦿【戻る】⇒「はい」を選択し、⦿【決定】を押す
作成したメールは送信フォルダに保存されます。保存したメールを編集したり送信するときは、「保存したライトメールを編集して送信する」(※100ページ)をご参照ください。

お知らせ

- 相手の電話機の種類によっては、一部表示できない文字があります。
- 本文入力の方法については、「文字の入力と設定」(※57ページ)をご参照ください。
- 本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます。また、ライトメールをEメール/ライトEメールに切り替えてメールを作成することもできます(「文字入力メニューを使う」※63ページ)。
- ライトメール作成中に着信したり、⦿を押して作成を中断した場合は、作成していたライトメール内容は送信フォルダに保存されます。続きを作成するには「保存したライトメールを編集して送信する」(※100ページ)をご参照ください。

ライトメールを送信する

ライトメール作成画面で

⦿【送信】を押す

送信したメールはライト/ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されます。



お知らせ

- 入力した宛先や内容が正しいかどうか、送信の前に確認してください。
- 通話中は、ライトメールを送信することができません。
- 相手の電話機の状態が、留守番電話サービス中/電源が入っていない/通話圏外/通話中のときは、ライトメールを送信しても相手に受信されません。
- 相手の電話機がライトメール非対応の場合は、ライトメールを送信しても通常の着信動作を行います。
- 送信メールは、ライトEメール/ライトメール合わせて200件まで保存されます。200件を超えると古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。
- ライトメールは分計発信(※163ページ)を使用して送信することはできません。
- 何らかの理由で送信に失敗した場合も、ライト/ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されます。

保存したライトメールを編集して送信する

保存されたライトメールは、ライト／ライトEメールメニューの送信フォルダに保存されています。

待受画面で

1 **【メール】** ⇒ 2 3 ⇒ **保存メールを選択し、** 4 **【決定】** ⇒

5 **【MENU】** ⇒ 6 **【再送/編集】**

ライトメール作成画面が表示され、新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。編集しないで送信するときは、手順⑥の操作を行います。

2 **【決定】** ⇒ **編集後、** 3 **【決定】**

3 **【送信】**

お知らせ

- 送信済や編集したライトメールは、新たなメールとしてライト／ライトEメールメニューの送信フォルダ保存されます。

メールを受信／返信／転送する

受信したメールを読む

メールを自動的に受信して読む

メールを受信した場合、メール着信音や待受画面の表示で、メールの受信をお知らせします。この新着情報表示で **【MENU】** を押しと最新のメールを見ることができます。

待受画面(新着情報表示画面)で

新着情報表示を確認し、 **【MENU】** ⇒ **【決定】**

新着情報表示画面



お知らせ

- 新着メールが複数ある場合は、新着情報表示画面で **【MENU】** を押し、「受信メール一覧」から確認できます(「受信メール一覧から受信したメールを読む」※102ページ)。

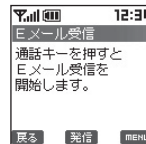
センター問い合わせによりメールを受信して読む(Eメールのみ対応)

センターへ新しいメールが届いていないか問い合わせることができます。電波の届かない場所にとときなど、受信できなかったEメールを受信することができます。

待受画面で

【メール】 ⇒ 1 5 **「Eメール受信」** ⇒ **【発信】**

センターへ接続します。新着Eメールがある場合は、待受画面に新着情報が表示されます。



お知らせ

- 一度読んだメールをもう一度読みたいときは、受信フォルダから確認できます(「受信メール一覧から受信したメールを読む」※102ページ)。
- センター問い合わせによりメールを受信するときに、料金分計に設定して受信することができます。(「Eメールを料金分計に設定して受信する」※下記)

Eメールを料金分計に設定して受信する

Eメールをセンターに問い合わせで受信するときに、料金分計に設定して受信します。

待受画面で

【メール】 ⇒ 1 5 **「Eメール受信」** ⇒

2 **【MENU】** ⇒ 2 **「Eメール分計設定」**

以下の項目から選択します。

1 ON	Eメールをセンターに問い合わせで受信するときに、料金分計に設定して受信します。
2 OFF	Eメールをセンターに問い合わせで受信するときに、料金分計に設定しないで受信します。



受信メール一覧から受信したメールを読む

受信したメールは受信フォルダに保存されます。確認したい受信メールを選択すると、内容が表示されます。

待受画面で

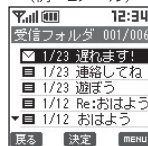
① [受信メール] ⇒ ② 「Eメール」または
③ 「ライト/ライトEメール」 ⇒ ④ 「受信フォルダ」 ⇒
⑤ メールを選択し、⑥ [決定]

メールを選択し、⑥ [決定]を押すことで、選択した受信メールが表示されます。
(受信メール詳細画面)。

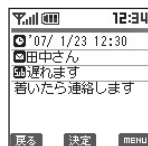
お知らせ

- 受信メール詳細画面では、以下の操作を行うことができます。
 - ⑦ [スクロール] : 1行ずつ表示をスクロールします。
 - ⑧ [決定] : メール本文にEメールアドレスや電話番号が入力されているとき、そのEメールアドレスや電話番号にメールを送ったり、電話帳に登録したりするメニューを表示します(「メール本文のEメールアドレス/電話番号を直接利用する」※104ページ)。
 - ⑨ [戻る] : 受信メール一覧画面に戻ります。
 - ⑩ [待受] : 待受画面に戻ります。
 - ⑪ [MENU] : メニューを表示し、メールの返信や削除など、さまざまな機能をご使用できます(「受信Eメール詳細画面のメニューを使う」※107ページ、「受信ライトEメール/ライトメール詳細画面のメニューを使う」※108ページ)。
- Eメールの受信メールは最大400件まで保存されます。受信メール保存件数は、受信したメールのサイズにより件数が変動します。最大保存件数を超えると古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。メモリアル状態により、自動的に削除が行われない場合があります。その場合、メールを削除するまで受信することができません。待受画面に「メモリアル センターメールあり」と表示された場合は、お客様ご自身でメールを削除してください。
- ライトEメール/ライトメールの受信メールは合わせて200件まで保存されます。200件を超えると既読の古いメール(保護されていないメール)から自動的に削除されます。また、受信メール一覧で、受信したライトEメール/ライトメールの種別はアイコンで判断できます(※103ページ)。

受信メール一覧画面
(例: Eメール)



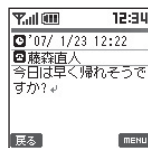
受信メール詳細画面
(例: Eメール)



受信メール一覧画面
(例: ライトEメール
/ライトメール)



受信メール詳細画面
(例: ライトメール)



お知らせ

- 各画面のアイコン表示は、以下のようになっています。

■ 受信メール一覧画面のアイコン

未読Eメール
既読Eメール
未読ライトEメール
既読ライトEメール
未読ライトメール
既読ライトメール

■ 送信メール一覧画面のアイコン

未送信Eメール
送信済Eメール
未送信ライトEメール
送信済ライトEメール
未送信ライトメール
送信済ライトメール

■ 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面のアイコン

日時
差出人/宛先: 電話番号
差出人/宛先: Eメールアドレス
差出人/宛先: 名前
件名

■ アドレスリスト画面のアイコン

宛先の設定が「To」のとき
宛先の設定が「Cc」のとき
宛先の設定が「Bcc」のとき
送信日指定/送信日時指定を設定したとき

メールに返信する

受信したEメール/ライトEメール/ライトメールに返信します。

受信メール詳細画面で

① [MENU] ⇒ ② 「返信引用あり」または ③ 「返信引用なし」

■ Eメールを返信するとき

返信する宛先を選択します。受信したEメールの宛先が複数のとき、その宛先全員に返信できます。

② ④ 「送信者のみ」または ⑤ 「全員」

③ 本文入力欄を選択し、⑥ [決定] ⇒ ⑦ 本文を編集し、⑧ [決定] ⇒ ⑨ [送信]

■ ライトEメール/ライトメールを返信するとき

② 本文入力欄を選択し、⑥ [決定] ⇒ ⑦ 本文を編集し、⑧ [決定] ⇒ ⑨ [送信]

お知らせ

- 引用した題名/本文などに、本製品で表示できない文字が含まれている場合、空白に置き換えて引用されることがあります。

メールを転送する

受信したEメール／ライトEメールを、他のEメールアドレスに転送することができます。
また、選択したライトメールは、他のライトメール対応電話機へライトメールで転送することができます。

受信メール詳細画面で

[MENU] ⇒ **「転送」** ⇒ **宛先を選択し、** **「決定」** ⇒ **宛先を入力** ⇒
 「決定」 ⇒ **本文入力欄を選択し、** **「決定」** ⇒ **本文を編集** ⇒
 「決定」 ⇒ **「送信」**

お知らせ

- 引用した題名／本文などに、本製品で表示できない文字が含まれている場合、空白に置き換えて引用されることがあります。

5

メール本文のEメールアドレス／電話番号を直接利用する(クリッカブル)

本製品は、メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、Eメール／ライトEメール／ライトメールを作成できます。認識可能な文字列は、受信メール詳細画面で反転表示されます。

メールアドレスと認識する文字列	「@」の前後に1文字以上の半角英数字があり、「@」の後に「.」(ピリオド)が含まれている場合
電話番号と認識する文字列	「0」で始まる10から32桁の数字

メール本文のEメールアドレスを利用する

受信メール詳細画面で

で本文中のEメールアドレスを選択し、 **「決定」**

以下の項目から選択します。

1. 電話帳新規登録	新しく電話帳に登録します。(「電話帳の各項目を登録する」※70ページ)。
2. 電話帳追加登録	⇒ 追加登録する電話帳を選択し、 「決定」 ⇒ 「登録」 ⇒ 「はい」を選択し、 「決定」 ⇒ 「はい」を選択し、 「決定」 すでに登録されている電話帳に、Eメールアドレスを追加登録します。
3. Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します (Eメールを作成して送信する)※91ページ)。
4. ライトEメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたライトEメールを作成します (ライトEメールを作成して送信する)※96ページ)。

お知らせ

- 送信済メールや未送信メールの場合も同様に利用できます。

メール本文の電話番号を利用する

受信メール詳細画面で

で本文中の電話番号を選択し、 **「決定」**

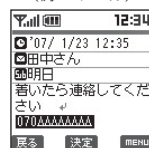
以下の項目から選択します。

1. 発信	選択した電話番号に電話をかけます。
2. 電話帳新規登録	新しく電話帳に登録します。(電話帳の各項目を登録する)※70ページ)。
3. 電話帳追加登録	追加登録する電話帳を選択し、 「決定」 ⇒ 「登録」 ⇒ 「はい」を選択し、 「決定」 ⇒ 「はい」を選択し、 「決定」 すでに登録されている電話帳に、電話番号を追加登録します。
4. ライトメール作成	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します (ライトメールを作成して送信する)※98ページ)。

お知らせ

- 送信済メールや未送信メールの場合も同様に利用できます。

受信メール詳細画面
(例：Eメール)



5

メールを管理する

■ 受信メールの管理について

- 受信したメールは「受信フォルダ」(☞102ページ)に保存されています。「受信メール一覧画面」のメニューを使うと、メールの削除や並べ替え、マイフォルダへの移動などの管理ができます。

■ 送信メールの管理について

- 送信したメールは「送信フォルダ」に保存され、未送信のメールや送信に失敗したメールも一緒に保存されます。
- 「送信メール一覧画面」のメニューを使うと、メールの削除や並べ替え、マイフォルダへの移動などの管理ができます。

■ マイフォルダについて

- マイフォルダには5つのフォルダがあり、それぞれ自分でフォルダ名を付けて受信メールや送信メールを分類することができます。

メール一覧画面のメニューを使う

受信メール一覧画面や送信メール一覧画面から、フォルダ内のメールを削除したり、並べ替えやマイフォルダへ移動させたりすることができます。

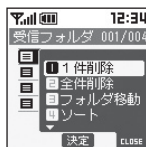
マイフォルダのメール一覧画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

☐【☐】⇒①【Eメール】または
②【ライト/ライトEメール】⇒②【受信フォルダ】⇒
メールを選択⇒☐【MENU】

以下の項目から選択します。

メール一覧画面の
メニュー
(例: Eメール)



① 1件削除	選択したメールを削除します(「メールを削除する」☞111ページ)。						
② 全件削除	選択したフォルダ内の保護設定されていないメールをすべて削除します(「メールを削除する」☞111ページ)。						
③ フォルダ移動	⇒①②～⑤⑥で移動先のフォルダを選択 選択したメールをマイフォルダに移動します(「メールを別のフォルダに移動する」☞111ページ)。						
④ ソート	選択したフォルダ内のメールの表示順番を変更します(「メール一覧の表示順を変える」☞112ページ)。 <table><tr><td>① 日付</td><td>メールを日付の新しい順に並べ替えます。</td></tr><tr><td>② メール状態</td><td>受信メールは、未読メール→既読メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。 送信メールは、未送信メール→送信済メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。</td></tr><tr><td>③ メール種別</td><td>ライトメール→ライトEメール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。</td></tr></table>	① 日付	メールを日付の新しい順に並べ替えます。	② メール状態	受信メールは、未読メール→既読メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。 送信メールは、未送信メール→送信済メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。	③ メール種別	ライトメール→ライトEメール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。
① 日付	メールを日付の新しい順に並べ替えます。						
② メール状態	受信メールは、未読メール→既読メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。 送信メールは、未送信メール→送信済メール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。						
③ メール種別	ライトメール→ライトEメール(各々日付の新しい順に並べ替え)の順に並べ替えます。						
⑤ 保護設定(保護解除)	選択している受信メールを保護/解除します(「メールを保護する」☞112ページ)。						

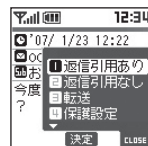
受信Eメール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の受信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

☐【☐】⇒①【Eメール】⇒②【受信フォルダ】⇒
メールを選択し、③【決定】⇒☐【MENU】

受信Eメール詳細画面
のメニュー



以下の項目から選択します。

① 返信引用あり	表示している受信メールの本文を引用し、差出人に返信します(「メールに返信する」☞103ページ)。
② 返信引用なし	表示している受信メールの本文を引用しないで、差出人に返信します(「メールに返信する」☞103ページ)。
③ 転送	表示している受信メールの本文を引用し、転送します(「メールを転送する」☞104ページ)。
④ 保護設定(保護解除)	表示している受信メールを保護/解除します(「メールを保護する」☞112ページ)。
⑤ 電話帳新規	表示している受信メールの差出人(電話番号またはEメールアドレス)を電話帳に登録します(「電話帳の各項目に登録する」☞70ページ)。
⑥ 電話帳追加	⇒追加登録する電話帳を選択し、③【決定】⇒☐【登録】⇒「はい」を選択し、 ③【決定】⇒「はい」を選択し、③【決定】 すでに登録されている電話帳に差出人の電話番号またはEメールアドレスを追加登録します。
⑦ アドレス詳細	表示している受信メールの差出人のEメールアドレスを表示します。宛先が複数の場合は、アドレスリストが表示されます(「受信Eメールのアドレス詳細を確認する」☞下記)。

受信Eメールのアドレス詳細を確認する

表示している受信メールの差出人のEメールアドレスを表示します。

待受画面で

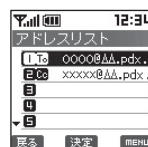
① ☐【☐】⇒①【Eメール】⇒②【受信フォルダ】⇒
メールを選択し、③【決定】⇒☐【MENU】⇒
⑦【アドレス詳細】

差出人のEメールアドレスが表示されます。宛先が複数の場合は、アドレスリストが表示されます。Eメールアドレスを電話帳に登録することができます。

受信メール
アドレス詳細画面



受信メールアドレスリスト



2 [MENU]

以下の項目から選択します。

1. 電話帳新規	表示している受信Eメールの差出人(電話番号またはEメールアドレス)を電話帳に登録します(「電話帳の各項目を登録する」※70ページ)。
2. 電話帳追加	⇒ 追加登録する電話帳を選択し、[決定] ⇒ [登録] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] ⇒ 「はい」を選択し、[決定] すでに登録されている電話帳に差出人のEメールアドレスを追加登録します。

受信ライトEメール/ライトメール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の受信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

- [MENU] ⇒ [受信フォルダ] ⇒ メールを選択し、[決定] ⇒ [MENU]

以下の項目から選択します。

1. 返信引用あり	表示している受信メールの本文を引用し、差出人に返信します(「メールに返信する」※103ページ)。
2. 返信引用なし	表示している受信メールの本文を引用しないで、差出人に返信します(「メールに返信する」※103ページ)。
3. 転送	表示している受信メールの本文を引用し、転送します(「メールを転送する」※104ページ)。
4. 保護設定(保護解除)	表示している受信メールを保護/解除します(「メールを保護する」※112ページ)。
5. 電話帳新規	表示している受信メールの差出人(電話番号またはEメールアドレス)を電話帳に登録します(「電話帳の各項目を登録する」※70ページ)。
6. 電話帳追加	⇒ 追加登録する電話帳を選択し、[決定] ⇒ [登録] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] ⇒ 「はい」を選択し、[決定] すでに登録されている電話帳に差出人の電話番号またはEメールアドレスを追加登録します。
7. 発信※1	差出人に電話をかけます。
8. 再設定※2	ローミングメール受信時に、ローミング情報を登録します(「ローミング情報を登録する」※157ページ)。

※1：ライトEメール選択時は選択できません。

※2：ローミングメール選択時のみ選択できます。

受信メール詳細画面
のメニュー
(例：ライトメール)



送信Eメール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の送信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

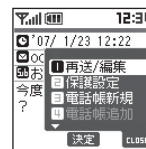
待受画面で

- [MENU] ⇒ [Eメール] ⇒ [送信フォルダ] ⇒
メールを選択し、[決定] ⇒ [MENU]

以下の項目から選択します。

1. 再送/編集	表示されているメールを送信または編集します(「保存したEメールを編集して送信する」※95ページ)。
2. 保護設定(保護解除)	表示している送信メールを保護/解除します(「メールを保護する」※112ページ)。
3. 電話帳新規	表示している送信メールの宛先(Eメールアドレス)を電話帳に登録します(「電話帳の各項目を登録する」※70ページ)。
4. 電話帳追加	⇒ 追加登録する電話帳を選択し、[決定] ⇒ [登録] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] ⇒ 「はい」を選択し、[決定] すでに登録されている電話帳に宛先のEメールアドレスを追加登録します。
5. アドレス詳細	表示している送信メールの宛先のEメールアドレスを表示します(「送信Eメールのアドレス詳細を確認する」※下記)。

送信Eメール詳細画面
のメニュー



送信Eメールのアドレス詳細を確認する

表示している送信メールの宛先のEメールアドレスを表示します。

待受画面で

- [MENU] ⇒ [Eメール] ⇒ [送信フォルダ] ⇒
メールを選択し、[決定] ⇒ [MENU] ⇒
[アドレス詳細]

宛先のEメールアドレスが表示されます。宛先が複数の場合は、アドレスリストが表示されます。カンマで区切ることで、宛先を10件以上入力していた場合でもアドレスリストには宛先が10件以上表示されません。Eメールアドレスを電話帳に登録したり、設定されていた送信日時を確認することができます。

送信メール
アドレス詳細画面



送信メール
アドレスリスト



2 [MENU]

以下の項目から選択します。

1. 電話帳新規	表示している送信Eメールの宛先(Eメールアドレス)を電話帳に登録します(「電話帳の各項目を登録する」※70ページ)。
2. 電話帳追加	⇒ 追加登録する電話帳を選択し、[決定] ⇒ [登録] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] ⇒ 「はい」を選択し、[決定] すでに登録されている電話帳に宛先のEメールアドレスを追加登録します。
3. 送信日時参照	設定されていた送信日時を確認することができます。

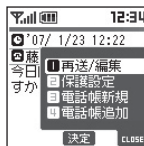
送信ライトEメール/ライトメール詳細画面のメニューを使う

マイフォルダ内の送信メール詳細画面からも、同じメニューが使えます。

待受画面で

- [MENU] ⇒ 2. 「ライト/ライトEメール」 ⇒
3. 「送信フォルダ」 ⇒ メールを選択し、[決定] ⇒
[MENU]

送信メール詳細画面
のメニュー
(例：ライトメール)



以下の項目から選択します。

1. 再送/編集	表示されているメールを送信または編集します(「保存したライトEメールを編集して送信する」※97ページ、「保存したライトメールを編集して送信する」※100ページ)。
2. 保護設定(保護解除)	表示している送信メールを保護/解除します(「メールを保護する」※112ページ)。
3. 電話帳新規	表示している送信メールの宛先(電話番号またはEメールアドレス)を電話帳に登録します(「電話帳の各項目を登録する」※70ページ)。
4. 電話帳追加	⇒ 追加登録する電話帳を選択し、[決定] ⇒ [登録] ⇒ 「はい」を選択し、 [決定] ⇒ 「はい」を選択し、[決定] すでに登録されている電話帳に宛先の電話番号またはEメールアドレスを追加登録します。

メールを削除する

メール一覧画面のメニュー(※106ページ)を使って、メールを削除します。

メール一覧画面で

メールを選択 ⇒ [MENU]

メール一覧画面の
メニュー
(例：Eメール)



以下の項目から選択します。

1. 1件削除	⇒ 「はい」を選択し、[決定] 選択したメールを削除します。
2. 全件削除	⇒ 暗証番号を入力 ⇒ 「はい」を選択し、[決定] フォルダ内の保護設定(※112ページ)されていないすべてのメールを削除します。

お願い

- 一度削除したメールは復元できません。全件削除する場合はとくにご注意ください。

お知らせ

- 「1件削除」では、保護設定(※112ページ)されたメールも削除されます。

メールを別のフォルダに移動する

メール一覧画面のメニュー(※106ページ)を使って、受信メールや送信メールをマイフォルダに移動し、分類できます。

メール一覧画面で

メールを選択 ⇒ [MENU] ⇒ 3. 「フォルダ移動」 ⇒

1. ～ 5. で移動先のフォルダを選択



お知らせ

- マイフォルダ内のメールを選択すると、マイフォルダ内の別のフォルダに移動できます。
- マイフォルダのフォルダ名を変えたいときは、「フォルダ名を変更する」(※114ページ)をご参照ください。

メール一覧の表示順を変える(ソート)

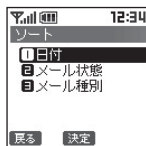
メール一覧画面のメニュー(☰ 106ページ)を使って、メールの表示順を変えることができます。マイフォルダ内のメールの表示順も、同様の手順で行えます。

メール一覧画面で

☰ [MENU] ⇒ ④ [ソート]

以下の項目から選択します。

① 日付	メールを日付の新しい順に並べ替えます。
② メール状態	受信メールは、未読メール→既読メールの順に並べ替えます(それぞれ日付の新しい順に表示されます)。送信メールは、未送信メール→送信済メールの順に並べ替えます(それぞれ日付の新しい順に表示されます)。
③ メール種別 (ライトEメール/ライトメールフォルダのみ)	ライトメール→ライトEメールの順に並べ替えます(それぞれ日付の新しい順に表示されます)。



メールの機能を設定する

〈メール設定〉

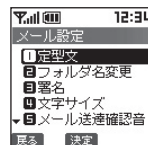
機能番号13

メール機能に関する各種設定を行います。

待受画面で

☰ [☑] ⇒ ③

メール設定画面



以下の項目から選択します。

① 定型文	定型文を編集します(「定型文を編集する」☰ 66ページ)。
② フォルダ名変更	マイフォルダ内のフォルダ名を変更します(「フォルダ名を変更する」☰ 114ページ)。
③ 署名	送信するメールの本文に署名を追加します(「署名を設定する」☰ 115ページ)。
③ ① Eメール	Eメール本文に追加する署名を入力します。
③ ② ライトメール	ライトメール本文に追加する署名を入力します。
③ ③ ライトEメール	ライトEメール本文に追加する署名を入力します。
④ 文字サイズ	メール詳細画面でのメール本文の文字の大きさを設定します(「メールの文字の大きさを設定する」☰ 116ページ)。
④ ① 標準	メール本文の文字を標準の大きさで表示します。
④ ② 大	メール本文の文字を標準より大きく表示します。
⑤ メール送達確認音	ライトメールの送信時の確認音を設定します(「ライトメール送信時の確認音を設定する」☰ 116ページ)。
⑤ ① ON	ライトメールを相手に送信できたときに確認音を鳴らします。
⑤ ② OFF	ライトメール送信時の確認音は鳴りません。
⑥ センター番号変更	「センター番号変更」は、ウィルコムから変更のお知らせがあったときのみ設定してください(「センター番号を変更する」☰ 117ページ)。
⑥ ① Eメールセンター	Eメールセンターの電話番号を設定します。
⑥ ② Eメール自動受信通知	Eメール自動受信通知の電話番号を設定します。
⑥ ③ ライトEメールセンター	ライトEメールセンターの電話番号を設定します。
⑥ ④ オンラインサインアップ	オンラインサインアップの電話番号を設定します。
⑦ 題名不要設定	ライトEメールを送信するときの題名入力を不要にできます(「ライトEメールの題名入力を不要にする」☰ 117ページ)。
⑦ ① ON	ライトEメールを作成するとき、題名は入力できません。
⑦ ② OFF	ライトEメールを作成するとき、題名を入力できます。

5

メールの使いかた

メールを保護する

送／受信したメールが、本製品の最大保存件数を超えると、送／受信日時の古いメールから自動的に削除されます(Eメールの場合、メモリフル状態により、自動的に削除されない場合もあります(「受信メール一覧から受信したメールを読む」☰ 102ページ))。大事なメールが自動削除されたり、誤って削除されないようにするために保護設定を行います。設定方法は2通りあります。

■ メール一覧画面から

メール一覧画面で

メールを選択し、☰ [MENU] ⇒ ⑤ [保護設定] ⇒

「はい」を選択し、☑ [決定]

■ メール詳細画面から

メール一覧画面で

メールを選択し、☑ [決定] ⇒ ☰ [MENU]

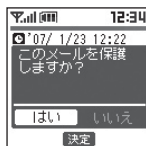
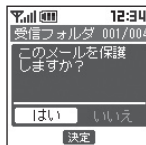
どちらか

(受信メールのとき ⇒ ④ [保護設定]
送信メールのとき ⇒ ② [保護設定]

⇒ 「はい」を選択し、☑ [決定]

お知らせ

- 保護設定の最大件数はEメールが25件、ライトEメール／ライトメールが50件です。
- 保護設定を解除するには、保護設定手順を再度行ってください。メールが保護されていた場合、メニューの「保護設定」が「保護解除」に変わっています。
- 保護を設定すると、メールのアイコンに「🔒」が追加されます。



5

メールの使いかた

以下の項目から選択します。

⑨ ⑨ Eメール削除設定	EメールセンターにあるEメールを削除するかを設定します(「EメールセンターのEメールを削除するか設定する」※118ページ)。	
	⑭ ON	EメールセンターにあるEメールを削除します。
	⑭ OFF	EメールセンターにあるEメールを残します。
⑨ ⑨ Eメール通信方式	Eメールの通信方式をPIAFS方式、またはパケット方式に設定します(「Eメールの通信方式を設定する」※119ページ)。	
	⑭ PIAFS	Eメールの通信方式をPIAFS方式に設定します。
	⑭ パケット	Eメールの通信方式をパケット方式に設定します。
⑨ ⑨ 返信先指定	送信先アドレスを指定アドレスに設定することができます(「Eメールの返信先を事前に指定する」※120ページ)。	
	⑭ ON	送信先アドレスを指定アドレスに設定します。
	⑭ OFF	送信先アドレスを指定アドレスに設定しません。

フォルダ名を変更する

〈フォルダ名変更〉 機能番号132

マイフォルダ内のフォルダ名を、メールを分類するときなどに分かりやすくするために変更できます。

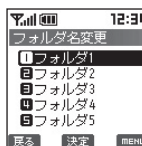
待受画面で

- ④ [メール] ⇒ ③ [メール設定] ⇒ ② [フォルダ名変更] ⇒
 ① [Eメール]または ② [ライト/ライトEメール] ⇒
 ① [フォルダ1]～ ⑤ [フォルダ5] ⇒ フォルダ名を編集 ⇒
 [決定]

お知らせ

- 入力できる文字数は全角8文字、半角16文字までです。

お買い上げ時：
「フォルダ1」～
「フォルダ5」



お買い上げ時のフォルダ名にリセットする

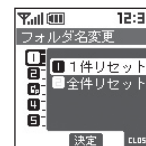
変更したフォルダ名を、お買い上げ時のフォルダ名に戻すことができます。

待受画面で

- ④ [メール] ⇒ ③ [メール設定] ⇒ ② [フォルダ名変更] ⇒
 ① [Eメール]または ② [ライト/ライトEメール] ⇒
 フォルダを選択 ⇒ ④ [MENU]

以下の項目から選択します。

⑭ 1件リセット	⇒ 「はい」を選択し、[決定] 選択したフォルダ名をお買い上げ時に戻します。
⑭ 全件リセット	⇒ 暗証番号を入力 ⇒ 「はい」を選択し、[決定] すべてのフォルダ名をお買い上げ時に戻します。



署名を設定する

〈署名〉 機能番号133

メール本文に挿入する署名を設定します。Eメール/ライトメール/ライトEメールで個別に設定できます。

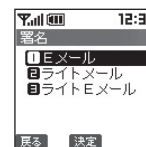
待受画面で

- ④ [メール] ⇒ ③ [メール設定] ⇒ ③ [署名] ⇒
 ① [Eメール]または ② [ライトメール]または
 ③ [ライトEメール] ⇒ 署名を入力 ⇒ [決定]

お知らせ

- 入力できる文字数は以下のとおりです。
 - Eメールの署名：全角128文字、半角256文字まで
 - ライトメールの署名：全角45文字、半角90文字まで
 - ライトEメールの署名：全角61文字、半角123文字まで
- 署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。
- 署名を設定しないときは、入力した署名を全文削除してください。

お買い上げ時：
「未設定」



メールの文字の大きさを設定する 〈文字サイズ〉 機能番号134

メール詳細画面で表示されるメール本文の文字の大きさを設定します。

待受画面で

④ [メール] ⇒ ③ [メール設定] ⇒

④ [文字サイズ]

以下の項目から選択します。

① 標準		1行あたり全角10文字、 半角20文字を表示します。
② 大		1行あたり全角7文字、 半角15文字を表示します。

お知らせ

- メール作成時の文字サイズは変更されません。

お買い上げ時：
「標準」



センター番号を変更する 〈センター番号変更〉 機能番号136

Eメールセンター/Eメール自動受信通知/ライトEメールセンター/オンラインサインアップの電話番号は、お買い上げ時に設定されています。設定変更は、ウィルコムから変更のお知らせがあった場合のみ、行ってください。

待受画面で

④ [メール] ⇒ ③ [メール設定] ⇒

⑥ [センター番号変更] ⇒ ① [Eメールセンター]または

② [Eメール自動受信通知] ⇒

③ [ライトEメールセンター]または

④ [オンラインサインアップ] ⇒ ④ [MENU]

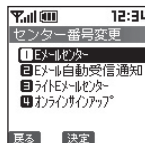
以下の項目から選択します。

① 変更	⇒ ウィルコムからお知らせした電話番号を入力 ⇒ ④ [確定] 選択したセンターの電話番号を変更します。
② リセット	⇒ 「はい」を選択し、④ [決定] 選択したセンターの電話番号をお買い上げ時に戻します。

お知らせ

- Eメールセンターの電話番号はEメールの通信方式によって異なります(「Eメールの通信方式を設定する」参照119ページ)。

お買い上げ時：
Eメールセンター
通信方式：PIAFS時
「0077488865」
通信方式：バケット時
「0570570002」
Eメール自動受信通知
「0706961000」
ライトEメールセンター
「*901」
オンラインサインアップ
「0077488864」



ライトメール送信時の確認音を設定する 〈メール送達確認音〉 機能番号135

ライトメールを送信したとき、相手に送信できたときに確認音でお知らせします。

待受画面で

④ [メール] ⇒ ③ [メール設定] ⇒

⑤ [メール送達確認音] ⇒ ① [ON]または ② [OFF]

お買い上げ時：
「ON」



ライトEメールの題名入力を不要にする 〈題名不要設定〉 機能番号137

ライトEメールを作成するときの題名入力を不要にできます。

待受画面で

④ [メール] ⇒ ③ [メール設定] ⇒

⑦ [題名不要設定]

以下の項目から選択します。

① ON	ライトEメールを作成するとき、題名は入力できません。
② OFF	ライトEメールを作成するとき、題名を入力できます。

お買い上げ時：
「OFF」



EメールセンターのEメールを削除するか設定する〈Eメール削除設定〉 機能番号138

EメールセンターにあるEメールを削除するか設定します。

待受画面で

☐【】⇒「メール設定」⇒

「Eメール削除設定」

以下の項目から選択します。

ON	EメールセンターにあるEメールを削除します。
OFF	EメールセンターにあるEメールを残します。

お買い上げ時：
「ON」



ご注意

- 「Eメール削除設定」をOFFにされた場合も、Eメール自動受信すると、Eメールセンターのメールは削除されます。Eメールセンターにメールを残したい場合は、オンラインサインアップにて「Eメール自動受信」を停止し、手動での受信をお願いいたします（「オンラインサインアップをする」※85ページ）。

Eメールの通信方式を設定する〈Eメール通信方式〉 機能番号139

Eメールの通信方式をPIAFS方式、またはパケット方式に設定します。

待受画面で

☐【】⇒「メール設定」⇒

「Eメール通信方式」

以下の項目から選択します。

PIAFS	Eメールの通信方式をPIAFS方式に設定します。 PIAFS方式とは、PHSデータ通信標準規格の通信方式です。最大64kbpsでの接続ができます。
パケット	Eメールの通信方式をパケット方式に設定します。 パケット方式とは、情報をパケット(小包)に分割し、パケット単位でやりとりする方式です。最大32kbpsで接続ができます。

お買い上げ時：
「パケット」



本設定後もメールメニューの表示は同一です。メール設定項目より通信方式を確認してください。

設定	表示名	参考図	
		メールメニュー画面	メール作成画面
PIAFS パケット	Eメール		

お知らせ

- パケット方式で接続したEメールをエッジメールと呼びます。
- ウィルコムが提供するパケット通信を利用したEメールサービスへの加入、契約する料金コースにより、パケット方式でのEメールが無料または定額で使い放題になります。詳しくはウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

ご注意

- PIAFS方式とパケット方式では、ご利用料金が異なります。また、パケット方式のEメールは、ウィルコムのカタログやご利用ガイドブック内にて、Eメール(エッジメール)/エッジメールと表記されております。

Eメールの返信先を事前に指定する 〈返信先指定〉 機能番号130

送信先アドレスを指定アドレスに設定することができます。Eメールの送信サブメニュー(「Eメールの返信先を指定する」⇔94ページ)から指定することも可能ですが、ここで事前に登録設定することができます。

待受画面で

- ① [Eメール] ⇒ ③ 「メール設定」 ⇒
② 「返信先指定」

以下の項目から選択します。

① ON	⇒ 返信先を入力 ⇒ ② [決定] 送信先アドレスを指定アドレスに設定します。
② OFF	送信先アドレスを指定アドレスに設定しません。

お知らせ

- 指定できるアドレスは1件のみとなります。
- 返信先を指定するとEメール作成画面に「Reply to」と表示されます。



お買い上げ時：
「OFF」

6

音/バイブレータ/LEDの設定

着信音や着信パターンを設定する..... 〈着信設定〉	122
着信音量を設定する	123
着信メロディを設定する	124
バイブレータを設定する	124
バイブレータ優先を設定する	125
LEDの点滅パターンを設定する	125
リマインダーを設定する	126
キーの操作音を設定する	〈キー確認音〉 126
保留音を設定する.....	〈保留音〉 127
受話音量を設定する.....	〈受話音量〉 127
通知音を設定する.....	〈通知音設定〉 128
通話経過時間の通知音を設定する	128
圏外のときの通知音を設定する	128

着信音や着信パターンを設定する

〈着信設定〉

機能番号21

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音やバイブレータ、LED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンなどを設定します。電話（音声着信）、Eメール、ライトメール、ライトEメールで個別に設定できます。

待受画面で

1 [MENU] ⇒ ⇒ ～ で項目を選択

以下の項目から選択します。

 音声着信	電話がかかってきたときの着信音や着信パターンを設定します。
 Eメール	Eメールを受信したときの着信音や着信パターンを設定します。
 ライトメール	ライトメールを受信したときの着信音や着信パターンを設定します。
 ライトEメール	ライトEメールを受信したときの着信音や着信パターンを設定します。
 マナーモード設定	マナーモード中に着信を知らせるバイブレータ、LED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンを設定します（「マナーモード中のバイブレータ／LEDの設定をする」  53ページ）。

2 ～ で項目を選択

以下の項目から選択します。

 着信音量	電話やメールを受信したときの着信音量を設定します（「着信音量を設定する」  123ページ）。
 着信メロディ	電話やメールを受信したときの着信メロディを設定します（「着信メロディを設定する」  124ページ）。
 バイブ設定	電話やメールを受信したときのバイブレータを設定します（「バイブレータを設定する」  124ページ）。
 バイブ優先	電話やメールを受信したときに、バイブレータを動作させてから着信音が鳴るように設定します（「バイブレータ優先を設定する」  125ページ）。
 LED設定	電話やメールを受信したときのLED（表示ランプ、機能キー）の点滅パターンを設定します（「LEDの点滅パターンを設定する」  125ページ）。
 リマインダー設定	不在着信や留守録が録音されているとき、またメールを受信したときに、着信後一定間隔でキーを1回点灯させてお知らせします（「リマインダーを設定する」  126ページ）。

着信設定画面



お知らせ

- 着信設定画面で  **【再生】** を押すと、現在の着信設定が再生され、確認できます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、 **【決定】** を押すと再生できます。再生を中止するときは、 **【OK】** または  **【戻る】** を押してください。

着信音量を設定する

〈着信音量〉

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音量を「OFF」、「音量レベル1」（最小）～「音量レベル3」（最大）、「STEP」に設定できます。STEPにすると、音がだんだん大きくなります。

お買い上げ時：
「音量レベル2」

着信設定画面で

1 「着信音量」⇒ で音量を選択し、 **【決定】**

お知らせ

- 音量選択中、選択している音量で着信メロディが再生されます。ただし、マナーモード設定中は、着信メロディは再生されません。
- 音声着信の着信音量を「OFF」に設定すると、待受画面に「S」が表示されます。

着信メロディを設定する

〈着信メロディ〉

電話がかかってきたときやメールを受信したときの着信音を設定します。

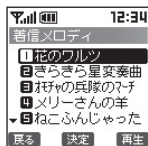
着信設定画面で

② 「着信メロディ」を押す

以下の項目から選択します。

① 花のワルツ	⑤ ねこふんじゃった	⑨ メロディ3
② きらきら星変奏曲	⑥ スイス軍の行進	⑩ メロディ4
③ オモチャの兵隊のマーチ	⑦ メロディ1	⑪ メロディ5
④ メリーさんの羊	⑧ メロディ2	⑫ メロディ6

お買い上げ時：
音声着信 : 「花のワルツ」
Eメール : 「きらきら星変奏曲」
ライトメール : 「オモチャの兵隊のマーチ」
ライトEメール : 「メリーさんの羊」



お知らせ

- 着信メロディを再生したいときは、⑤で着信メロディを選択し、④ [再生] を押してください。
マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、⑤ [決定] を押すと再生されます。
- 再生中の着信メロディに設定するとき：⑤ [OK] を押す
- 設定せずに戻るとき：④ [戻る] を押す
- 着信メロディ再生中は、⑤で音量を調節できます。(着信音量の設定は変わりません。)

バイブレーションを設定する

〈バイブ設定〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、バイブレーションを振動させてお知らせします。バイブレーションは「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

着信設定画面で

③ 「バイブ設定」⇒ ① 「パターン1」～ ③ 「パターン3」、
または ④ 「OFF」

お知らせ

- 音声着信のバイブレーションを設定すると、待受画面に「V」が表示されます。
- バイブレーションの振動を確認したいときは、⑤で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでバイブレーションが振動します。
- 振動中のバイブレーションに設定するとき：⑤ [決定] を押す
- 設定せずに戻るとき：④ [戻る] を押す



バイブレーション優先を設定する

〈バイブ優先〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、設定したバイブレーションを振動させてから着信音を鳴らすように設定できます。

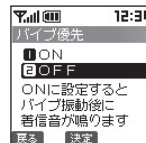
着信設定画面で

④ 「バイブ優先」を押す

以下の項目から選択します。

① ON	着信時、バイブレーションを先に振動させ、約2秒後に着信音が鳴ります。
② OFF	着信時、バイブレーションは着信音と同時に振動します。

お買い上げ時：
「OFF」



LEDの点滅パターンを設定する

〈LED設定〉

電話がかかってきたときやメールを受信したとき、LED (表示ランプ、機能キー) を点滅させてお知らせします。キーの点滅は「OFF」、「パターン1」～「パターン3」に設定できます。

着信設定画面で

⑤ 「LED設定」⇒ ① 「パターン1」～ ③ 「パターン3」、
または ④ 「OFF」

お知らせ

- 点滅パターンを確認したいときは、⑤で「パターン1」～「パターン3」を選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。
- 点滅中のパターンに設定するとき：⑤ [決定] を押す
- 設定せずに戻るとき：④ [戻る] を押す



リマインダーを設定する

〈リマインダー設定〉

不在着信や留守録が録音されているとき、またメールを受信したときに、着信後一定間隔で表示ランプを一回点灯させてお知らせします。着信してからキー点灯までの時間は「10秒」「20秒」「40秒」に設定できます。

着信設定画面で

6画 [リマインダー設定]を押す

以下の項目から選択します。

1 10秒	不在着信やメール受信10秒後に、緑色で1回点灯します。
2 20秒	不在着信やメール受信20秒後に、赤色で1回点灯します。
3 40秒	不在着信やメール受信40秒後に、緑色から赤色に1回点灯します。
4 OFF	不在着信やメール受信後には点灯しません。

お知らせ

- [OK]で「10秒」「20秒」「40秒」を選択すると、上記の点灯パターンが確認できます。



戻る 決定

キーの操作音を設定する

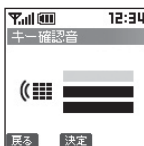
〈キー確認音〉

機能番号22

キーを押したときの音量を「OFF」、「音量レベル1」(最小)～「音量レベル3」(最大)の4段階に調節できます。

待受画面で

[MENU] → [2画] [2画] → [OK]で音量を選択し、[決定]



戻る 決定

お知らせ

- 音量選択中、選択している音量でキー確認音が鳴ります。ただし、マナーモード設定中は鳴りません。

保留音を設定する

〈保留音〉

機能番号23

通話を保留しているときに、相手に流れる保留音を設定します。

待受画面で

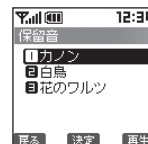
[MENU] → [2画] [3画]

以下の項目から選択します。

1 カノン
2 白鳥
3 花のワルツ

お知らせ

- 保留音を再生したいときは、[OK]で保留音を選択し、[再生]を押してください。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、[決定]を押すと、再生されます。
 - ・再生中の保留音に設定するとき：[OK]を押す
 - ・設定せずに戻るとき：[戻る]を押す
- 保留音再生中は、[OK]で音量を調節できます。



戻る 決定 再生

受話音量を設定する

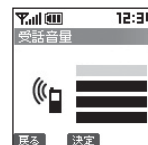
〈受話音量〉

機能番号24

通話中の受話口からの音量を「レベル1」(最小)～「レベル4」(最大)に設定できます。通話中に受話音量を調節するときは、「通話中に受話音量を調節する」(※43ページ)をご参照ください。

待受画面で

[MENU] → [2画] [4画] → [OK]で音量を選択し、[決定]



戻る 決定

通知音を設定する

〈通知音設定〉

機能番号25

通話中の経過時間や電波状態が悪くなったときに、通知音でお知らせするように設定します。

通話経過時間の通知音を設定する

〈経過時間〉

機能番号251

通話中、1分経過するごとに通知音を鳴らしてお知らせします。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1 ON	通知音を鳴らします。
2 OFF	通知音を鳴らしません。

お買い上げ時：
「OFF」



圏外のときの通知音を設定する

〈圏外警告音〉

機能番号252

通話中電波状態が悪くなり、通話が切れそうになったときに、警告音を鳴らしてお知らせします。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1 ON	圏外警告音を鳴らします。
2 OFF	圏外警告音を鳴らしません。

お買い上げ時：
「OFF」



7

画面 / 照明の設定

待受画面の壁紙を設定する	〈待受画面〉 130
画面やキーのバックライトを設定する	〈バックライト〉 130
画面の点灯時間を設定する	130
キーの照明を設定する	131
画面の明るさを設定する	〈輝度調整〉 131
画面のコントラストを設定する	〈コントラスト〉 131
ダイヤル発信中やメール送信中の 動画を設定する	〈動画設定〉 132

待受画面の壁紙を設定する

〈待受画面〉

機能番号31

待受画面に表示する壁紙を設定します。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1. OFF	待受画面に壁紙やカレンダーは表示されません。
2. 待受画面1	壁紙「待受画面1」を待受画面に表示します。
3. 待受画面2	壁紙「待受画面2」を待受画面に表示します。
4. 待受画面3	壁紙「待受画面3」を待受画面に表示します。
5. 待受画面4	壁紙「待受画面4」を待受画面に表示します。
6. 待受画面5	壁紙「待受画面5」を待受画面に表示します。
7. 待受画面6	壁紙「待受画面6」を待受画面に表示します。
8. カレンダー	今月のカレンダーを待受画面に表示します。

お知らせ

- 壁紙やカレンダーを確認したいときは、で壁紙または「カレンダー」を選択し、 [確認] を押してください。
壁紙確認中、を押すと壁紙を順番に表示できます。
- 表示中の壁紙に設定するとき： [OK] を押す。
- 設定せずに戻るとき： [戻る] を押す。



画面やキーのバックライトを設定する〈バックライト〉

機能番号32

ディスプレイの点灯時間や、キーを押したときのキー照明を設定します。

画面の点灯時間を設定する

〈液晶画面〉

機能番号321

キーを押したときや着信があったときなどの、ディスプレイの点灯時間を設定します。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1. 5秒	キー操作や着信後、約5秒後にディスプレイが消灯します。
2. 10秒	キー操作や着信後、約10秒後にディスプレイが消灯します。
3. 20秒	キー操作や着信後、約20秒後にディスプレイが消灯します。
4. 40秒	キー操作や着信後、約40秒後にディスプレイが消灯します。
5. 60秒	キー操作や着信後、約60秒後にディスプレイが消灯します。

お買い上げ時：
「OFF」

キーの照明を設定する

〈キーパッド〉

機能番号322

キーを押したときのキー照明を設定します。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1. ON	キー操作後、約15秒間キーが点灯します。
2. OFF	キーを押しても点灯しません。

お買い上げ時：
「ON」

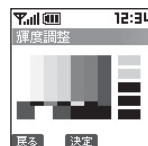
画面の明るさを設定する

〈輝度調整〉

機能番号33

画面の明るさを「輝度レベル1」(暗い)～「輝度レベル5」(明るい)の5段階に調節できます。

待受画面で



画面のコントラストを設定する

〈コントラスト〉

機能番号34

画面のコントラストを「コントラスト1」(弱)～「コントラスト5」(強)の5段階に調節できます。

待受画面で



ダイヤル発信中やメール送信中の動画を設定する〈動画設定〉

機能番号35

ダイヤル発信中やメール送信中に表示される動画を設定します。

待受画面で



以下の項目から選択します。

1 ON	ダイヤル中やメール送信中に動画を表示します。
2 OFF	ダイヤル中やメール送信中に動画を表示しません。

お買い上げ時：
「ON」

8

セキュリティ機能の設定

キーロックを設定／解除する	134
電話帳にロックをかける	〈電話帳ロック〉 134
ダイヤルロックを設定／解除する	〈ダイヤルロック〉 135
ダイヤルロックを設定する	135
ダイヤルロックを解除する	135
シークレットモードを設定／解除する...	〈電話帳シークレット〉 135
暗証番号を変更する	〈暗証番号変更〉 136
登録内容や各機能の設定をリセットする..	〈設定リセット〉 136
W-SIMの認証コード	
(PINコード)を設定する	〈W-SIM設定〉 137

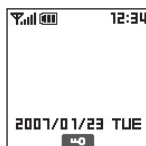
キーロックを設定／解除する

待受画面で誤ってキーが押されても動作しないように、 と  以外のキーをロックできます。

待受画面で

 を長く(約1秒以上)押す

キーロックを解除するときは、もう一度  を長く(約1秒以上)押してください。



お知らせ

- キーロック設定中は、待受画面に「」が表示されます。
- キーロック設定中でも、以下の場合はキー操作ができます。
 - ・着信中や通話中
 - ・アラーム動作中
- キーロック設定中は、 を長く(約1秒以上)押しても電源は切れません。キーロックを解除してから行ってください。

電話帳にロックをかける

〈電話帳ロック〉

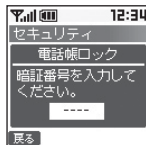
機能番号71

電話帳ロックを設定すると、電話帳の登録／検索／編集／削除／引用ができなくなります。また、電話帳に登録された相手から電話がかかってきたときや履歴画面では、電話番号を表示し、名前は表示されません。

待受画面で

 **[MENU]** ⇒   ⇒ **暗証番号を入力**

電話帳ロックが設定されます。解除するときも同じ操作を行います。



お知らせ

- 電話帳ロック設定中は、操作ガイド表示エリアに「」は表示されません。
- 電話帳ロック設定中にスピードダイヤル(※80ページ)で電話をかけると、「電話帳に登録がありません」と表示され、かけることができません。
- 着信中に  を長く(約1秒以上)押すと、電話帳ロックを設定することができます。
- 暗証番号を変更する(※136ページ)

ダイヤルロックを設定／解除する 〈ダイヤルロック〉

機能番号72

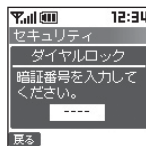
ダイヤルロックを設定すると、着信／受信以外の操作ができない状態になります。

ダイヤルロックを設定する

待受画面で

 **[MENU]** ⇒   ⇒ **暗証番号を入力**

お買い上げ時：
「解除」



お知らせ

- ダイヤルロックを設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- ダイヤルロック設定中でも、以下の場合は操作ができます。
 - ・着信中の応答や通話中の保留／保留解除
 - ・アラーム動作中のアラーム停止
 - ・電源のON／OFF
- 暗証番号を変更する(※136ページ)

ダイヤルロックを解除する

待受画面で

ダイヤルロックされた状態で、暗証番号を入力する

シークレットモードを設定／解除する 〈電話帳シークレット〉

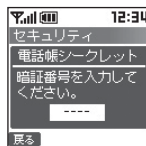
機能番号73

他の人に見られたくない電話帳は、電話帳登録時にシークレット設定(※73ページ)を「ON」にして登録しておく、電話帳や履歴画面では表示されません。シークレット設定した電話帳を表示させるには、以下の操作で電話帳シークレットモードを設定してください。

待受画面で

 **[MENU]** ⇒   ⇒ **暗証番号を入力**

お買い上げ時：
「解除」



電話帳シークレットモードが設定されます。解除するときも同じ操作を行います。

お知らせ

- 電話帳シークレットモード設定中は、シークレット設定された電話帳と通常の電話帳をすべて表示することができます。
- 電話帳シークレットモード設定中は、スピードダイヤル(※80ページ)を使ってシークレット設定した電話帳にもかけられます。
- 暗証番号を変更する(※136ページ)

暗証番号を変更する

〈暗証番号変更〉

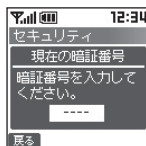
機能番号74

お使いの本製品の暗証番号を4桁の数字で設定します。お客様の個人情報を保護するため、お買い上げ時の設定からお好みの番号に変更することをおすすめします。

待受画面で

① [MENU] ⇒ ⑦ (7) ④ (4) ⇒ 暗証番号を入力 ⇒

新暗証番号を入力 ⇒ もう一度新暗証番号を入力



お願い

- 暗証番号は必ず手元にお控えください。万一暗証番号をお忘れになった場合は、本製品とウィルコムの手続き書類、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真が入ったもの）をご用意のうえ、ウィルコムプラザ/ウィルコムカウンターまでご連絡ください。

登録内容や各機能の設定をリセットする 〈設定リセット〉

機能番号75

登録内容や各機能設定をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。

待受画面で

① ① [MENU] ⇒ ⑦ (7) ⑤ (5) ⇒

以下の項目から選択します。

① Function項目	各種機能（機能設定のみ）の設定内容をリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
② 出荷時設定	本製品の登録、設定、録音内容や履歴をすべてリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。 送受信したメールやW-SIMの電話帳もすべて削除されますのでご注意ください。



② 暗証番号を入力 ⇒ 「はい」を選択し、⑥ [決定]

お知らせ

- 以下の設定内容は、「出荷時設定」を行ってもリセットされません。
 - ・オンラインサインアップ（※85ページ）で取得した情報
 - ・W-SIM設定（※137ページ）
 - ・Li設定（※152ページ）
 - ・国際ローミング情報（※155ページ）
- Function項目でリセットされる機能の一覧については、「機能一覧」（※171ページ）をご参照ください。
- 出荷時設定後は暗証番号もお買い上げ時の状態に戻ります。

W-SIMの認証コード(PINコード)を設定する 〈W-SIM設定〉

機能番号76

W-SIMを有効にするための認証コード(PINコード)の変更や、本製品の電源を入れたときに、W-SIMの認証コード(PINコード)の入力を必要とするかどうかの設定(認証設定)を行います。
設定は、W-SIMの機能をよくご理解した上で行ってください。

待受画面で

① [MENU] ⇒ ⑦ (7) ⑥ (6) ⇒



以下の項目から選択します。

① 認証コード変更	⇒ ⑥ [OK] ⇒ 認証コード(PINコード)を入力し、⑥ [決定] ⇒ 新認証コード(新PINコード)を入力し、⑥ [決定] ⇒ もう一度新認証コード(新PINコード)を入力し、⑥ [決定] W-SIMの認証コード(PINコード：4～16桁の数字)を変更します。W-SIMの認証が設定されているときのみ変更できます。
② 認証設定	■ W-SIMの認証を設定するとき(W-SIMの認証が解除されているとき) ⇒ ⑥ [OK] ⇒ 認証コード(PINコード)を入力し、⑥ [決定] ⇒ もう一度認証コード(PINコード)を入力し、⑥ [決定] W-SIMの認証コード(PINコード：4～16桁の数字)を設定し、電源を入れたときに認証コード(PINコード)の入力が必要になります。 ■ W-SIMの認証を解除するとき(W-SIMの認証が設定されているとき) ⇒ ⑥ [OK] ⇒ 暗証番号入力 ⇒ 認証コード(PINコード)を入力し、⑥ [決定] ⇒ 「はい」を選択し、⑥ [決定] W-SIMの認証コード(PINコード)を削除し、W-SIMの認証を解除します。

お願い

- W-SIMの認証コード(PINコード)の入力を続けて10回まちがえると、「PUKコードを入力してください。」と表示されます。
PUKコードを入力すると、新しく認証コード(PINコード)を登録することができます。PUKコードは、お使いのW-SIMの保証書に記載されています。万一、W-SIMの保証書を紛失された場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター（※187ページ）にお問い合わせください。
- 認証コード(PINコード)は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一認証コード(PINコード)をお忘れになった場合は、修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター（※187ページ）にお問い合わせください。

自分の電話番号を確認／登録する.....〈プロフィール〉	140
自分の電話番号を確認する	140
詳細を登録する	140
登録した詳細を確認／編集／削除する	141
赤外線通信を利用する	142
データを受信する	142
データを送信する	144
アラーム機能を使う.....〈アラーム設定〉	145
アラーム設定を登録／編集する	145
アラーム設定を一時停止する	146
アラームを止める	146
時計の表示方法を設定する	〈表示モード〉 147
カレンダーを表示する	〈暦(こよみ)〉 147
スケジュール機能を使う	〈スケジュール〉 148
スケジュールを登録／編集する	148
スケジュールを削除する	149
電卓を使う	〈電卓〉 149
メモ帳を使う	〈メモ帳〉 150
メモを登録／編集する	150
メモを削除する	150
電波の送受信を停止する	〈停波モード〉 150
小さな声で話せるように設定する	〈小声通話〉 151
相手が応答したことをお知らせする	〈応答パイプ〉 151
充電中にW-SIMの電話帳を更新する	〈充電中更新〉 151
現在の位置情報を通知する	152
L機能を設定する	152
相手から位置情報送付の要求があったとき	155
国際ローミングを利用する	〈国際ローミング〉 155
ローミングモードに切り替える	155
ローミングモードで電話をかける	156
ローミングモードで電話を受ける	156
ローミング情報を登録する	157
タイ／ベトナムのローミング情報をリセットする	158

自分の電話番号を確認／登録する

〈プロフィール〉

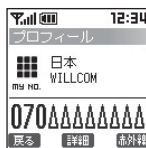
機能番号 0

自分の電話番号を確認する

ご使用になっている本製品の電話番号を確認します。

待受画面で

ⓘ [MENU] ⇒ ⓘ



お知らせ

- 国際ローミング (※155ページ) で使用している地域が登録されている場合、ⓘ でそれぞれのローミング用番号を表示します。
- W-SIMを取り付けていない場合は、プロフィールを見ることができません。

詳細を登録する

自分の名前／Eメールアドレスを登録します。

待受画面で

① ⓘ [MENU] ⇒ ⓘ ⇒ ⓘ [詳細]

以下の項目から選択します。

👤 (名前)	自分の名前を入力します。名前に入力できる文字数は全角9文字、半角19文字までです。
✉ (Eメールアドレス)	Eメールアドレスを入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。

- 各項目の入力方法は、「電話帳の各項目を登録する」(※70ページ)をご参照ください。

② 各項目を入力し、ⓘ [決定] ⇒ ⓘ [MENU] ⇒ ⓘ 「登録」
⇒ 「はい」を選択し、ⓘ [決定]

お買い上げ時：
「未登録」



登録した詳細を確認／編集／削除する

お知らせ

- 赤外線通信方法については「(赤外線通信を利用する)」(※142ページ)をご参照ください。

詳細を確認する

待受画面で

ⓘ [MENU] ⇒ ⓘ ⇒ ⓘ [詳細]

詳細表示画面



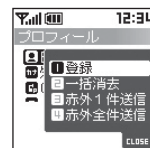
詳細を編集する

詳細表示画面で

編集する項目を選択し、ⓘ [決定] ⇒

編集し、ⓘ [決定] ⇒ ⓘ [MENU] ⇒ ⓘ 「登録」

⇒ 「はい」を選択し、ⓘ [決定]



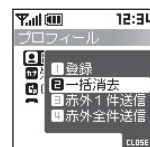
詳細をすべて削除する

登録した詳細をすべて削除します。

詳細表示画面で

ⓘ [MENU] ⇒ ⓘ 「一括消去」 ⇒ 「はい」を選択し、

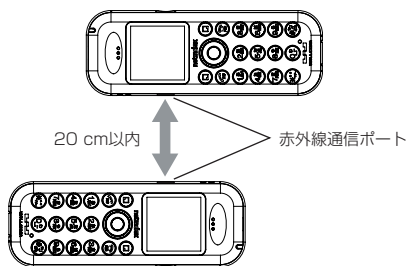
ⓘ [決定]



赤外線通信を利用する

赤外線通信により、本製品同士や赤外線通信機能を搭載した他の電話機との間で電話帳データを送受信することができます。

赤外線通信距離は20 cm以内でご利用ください。それぞれの電話機の赤外線通信ポートを向い合わせ、データの送受信が終わるまで動かさないでください。赤外線通信を利用するには、送信側と受信側でそれぞれ準備する必要があります。送信側は受信側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



お願い

- 赤外線通信中は、指などで赤外線通信ポートをおおわないようにしてください。
- 赤外線通信ポートが汚れていると通信できにくくなります。柔らかな布で拭き取ってからご利用ください。
- 電話帳全件のデータの送受信には、認証パスワードの入力が必要です。認証パスワードは赤外線通信のための専用のパスワードです。パスワードは任意の4桁の数字となりますが、受信側と送信側で同じパスワードを入力する必要があります。通信相手とパスワードを取り決めてから通信を行ってください。

お知らせ

- 受信できるデータの容量は1.2 Mバイトまでです。
- 電話帳データはvCard形式で送信されます。
- 直射日光が当たる場所、蛍光灯の下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- W-SIMを取り付けていない場合は、赤外線通信をご利用できません。
- 赤外線通信による電話帳の送受信は、すべての電話機に対して完全な互換性を保証するものではありません。
- 赤外線通信中は、消費電力が大きくなります。
- 赤外線通信中は、停電モードとなります。(「電波の送受信を停止する」※150ページ)
- 電話帳データの送受信で、暗証番号の入力を求める画面が表示される場合があります。(「暗証番号を変更する」※136ページ)
- 電話帳ロック時にデータを送受信した場合、暗証番号の入力を求める画面が表示されます。入力すると一時的にロックが解除され、送受信することができます。(「電話帳にロックをかける」※134ページ)
- 電話帳データを受信すると、W-SIMのマニュアル更新画面が表示されます。更新をしない場合、電話帳は保存されません。(「W-SIMの電話帳を更新する」※82ページ)

データを受信する

機能番号83

本製品を受信待ちの状態にし、相手から送信される電話帳データを受信します。

待受画面で

① [MENU] → (8) (3)

② 赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける

以降は、受信データにあわせて操作してください。



電話帳データを1件または複数件受信した場合

① 「はい」を選択し、 [決定]

送信側から電話帳データを受信し、電話帳に登録します。

「もう一件受信しますか?」と表示されます。

② 「いいえ」を選択し、 [決定]

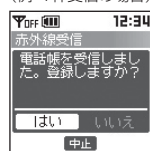
続けて受信する場合は、「はい」を選択してください。赤外線受信中画面に戻ります。

「いいえ」を選択した場合、「電話帳登録完了しました。W-SIMマニュアル更新を行いますか?」と表示されます。

③ 「はい」を選択し、 [決定]

W-SIMに受信した電話帳データが保存されます。

赤外線通信による
受信画面
(例: 1件受信の場合)



電話帳データを全件受信した場合

① 認証パスワードを入力

② 受信完了後、下記の項目から選択

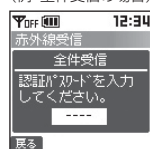
① 追加登録	電話帳に追加して登録します。
② 上書き登録	→ 暗証番号を入力 本製品に登録された電話帳データを削除して、受信したデータを上書き登録します。
③ キャンセル	受信データを電話帳に登録せずに削除します。

追加登録または上書き登録を選択した場合、「電話帳登録完了しました。W-SIMマニュアル更新を行いますか?」と表示されます。

③ 「はい」を選択し、 [決定]

W-SIMに受信した電話帳データが保存されます。

赤外線通信による
受信画面
(例: 全件受信の場合)



お知らせ

- 電話帳を複数件受信、または全件受信した場合、電話帳の登録可能件数を超えて受信すると「電話帳がいっぱいになりました。」と表示され、以降のデータは登録されません。
- 送信側の電話機から絵文字を伴うデータを受信した場合、正しく登録されないことがあります。
- 名前が設定されていない電話帳データを受信した場合、名前に「名前なし」が登録されます。また、フリガナについても設定されていない場合、「ナメエナシ」が登録されます。
- グループ名は、電話帳を全件受信し、上書き登録した場合のみ登録されます。
- 本製品の電話帳の各項目の最大入力文字数を超えたデータを受信した場合、最大入力文字数以降のデータは削除されます。メールアドレスの場合は、すべて削除されます。

データを送信する

受信待ちの電話機に本製品の電話帳データを送信します。

電話帳データを1件送信する場合

自分のプロフィールデータ、または電話帳データを1件のみ送信することができます。送信するデータにあわせて操作してください。

■自分のプロフィールデータを送信する

待受画面で

① **[MENU]** ⇒ **[赤外線]** ⇒ **「はい」**を選択し、

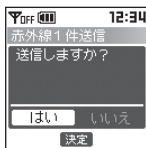
[決定]

下記からでも送信できます。

[MENU] ⇒ **[赤外線]** ⇒ **[詳細]** ⇒ **[MENU]**

[赤外線1件送信] ⇒ **「はい」**を選択し、 **[決定]**

赤外線通信による
送信画面
(例: 1件送信の場合)



■電話帳に登録されたデータを送信する

待受画面で

① **[電話帳]** ⇒ **[電話帳検索]** ⇒ 任意の電話帳を選択し、 **[決定]** ⇒

[MENU] ⇒ **[赤外線1件送信]** ⇒ **「はい」**を選択し、 **[決定]**

② 赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける

受信側の電話機へ電話帳データが送信されます。

電話帳データを全件送信する場合

① **[電話帳]** ⇒ **[Red外線全件送信]** ⇒ 暗証番号を入力 ⇒

「はい」を選択し、 **[決定]** ⇒ 認証パスワードを入力

下記からでも送信できます。

[MENU] ⇒ **[Red外線全件送信]** ⇒ **[詳細]** ⇒ **[MENU]**

[Red外線全件送信] ⇒ 暗証番号を入力 ⇒ **「はい」**を選択し、 **[決定]** ⇒ 認証パスワードを入力

赤外線通信による
送信画面
(例: 全件送信の場合)



② 赤外線通信ポートを相手の赤外線通信ポートに向ける

受信側の電話機へ電話帳データが送信されます。

お知らせ

- 電話帳データを全件送信する場合、自分のプロフィールデータも送信されます。
- シークレット登録されている電話帳データは、シークレットモード解除中には送信できません。シークレットモードに設定してから送信してください。(「シークレットモードを設定/解除する」⇒135ページ)
- 送信したプロフィールデータに名前が設定されていない場合、受信側の名前に電話番号が登録されます。フリガナについては、「ナメエナシ」が登録されます。
- 送信した電話帳データに電話番号とメールアドレスが設定されていない場合、電話番号に「****」が登録されます。

アラーム機能を使う

〈アラーム設定〉

機能番号41

設定した日付と時刻にアラーム音を鳴らしたり、目覚し時計などとして使うことができます。アラームは3件まで登録できます。

アラーム設定を登録/編集する

待受画面で

① **[MENU]** ⇒ **[4]** ⇒ **[1]** ⇒

[アラーム1] ~ **[アラーム3]**

アラーム一覧画面



以下の項目から選択し、必要な項目を登録/編集します。

① ON/OFF	① ON	設定した内容でアラームを鳴らします。
お買い上げ時: 「OFF」	② OFF	アラームは鳴らしません。
② 時刻設定	⇒ 時刻を入力し、 [決定]	
お買い上げ時: 「00:00」	指定した時刻にアラームを鳴らします。 時刻は24時制で入力します。	
③ 曜日設定	④ 毎日	毎日アラームを鳴らします。
お買い上げ時: アラーム1: 「月～金」 アラーム2: 「土日」 アラーム3: 「毎日」	⑤ 月～金	平日(月～金)にアラームを鳴らします。
	⑥ 土日	週末(土日)にアラームを鳴らします。
	⑦ 曜日指定	⇒ ⑧ 「日曜日」 ~ ⑨ 「土曜日」 ⇒ ⑩ 「ON」または ⑪ 「OFF」 「ON」に設定した曜日にアラームを鳴らします。
④ アラーム音量	⇒ でアラーム音量を選択し、 [決定]	
お買い上げ時: 「音量レベル2」	指定した音量でアラームを鳴らします。 押すごとに、選択した音量で現在設定されているアラーム音を再生します (マナーモード設定中は、再生されません)。音量は、OFFと音量レベル1～3、STEPから選択できます。	
⑤ アラーム音種	⇒ ~ でアラーム音を設定する	
お買い上げ時: アラーム1: 「花のワルツ」 アラーム2: 「きらきら星 変奏曲」 アラーム3: 「オモチャの 兵隊のマーチ」	設定したアラーム音でアラームを鳴らします。 で選択し、 [再生] を押すとアラーム音を再生できます。 再生中に [OK] を押すと、選択したアラーム音に設定されます。マナーモード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を選択し、 [決定] を押すと再生されます。 選択できるアラーム音については「着信メロディを設定する」(⇒124ページ)をご参照ください。	
⑥ バイブ設定	⇒ ⑫ 「OFF」または ⑬ ~ ⑭ でパターンを設定する	
お買い上げ時: 「OFF」	設定したパターンでバイブレータを動作させます。 でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に [決定] を押すと、選択したパターンに設定されます。	

9

その他の便利な機能

9

その他の便利な機能

⑦ LED設定

お買い上げ時：「OFF」

⇒ ④⑤「OFF」または ①② ～ ③④ でパターンを設定する

設定したパターンでLED（表示ランプ）を点滅させます。

⑥ でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。LEDの点滅中に ⑥【決定】を押すと、選択したパターンに設定されます。

⑧ スヌーズ設定

お買い上げ時：「OFF」

①④ ON アラームを5分間隔で3回まで鳴らします。

②⑤ OFF アラームを1回だけ鳴らします。

2 ④【登録】を押す

お知らせ

- 電源を切っていると、アラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音は鳴りません。
- アラームを設定すると、待受画面に「▲」が表示されます。
- 以下の状態ではアラームは動作しません。
 - ・通話中／発信中／着信中
 - ・留守応答中／録音中／再生中
- アラームの時刻が重複して設定されたときは、アラーム1～3の順に優先されます。
- アラームとスケジュール（※148ページ）の時刻が重複して設定されたときは、スケジュールが優先されます。

アラーム設定を一時停止する

アラーム一覧画面で

①②「アラーム1」～ ③④「アラーム3」で一時停止したいアラーム設定を選択 ⇒ ①②「ON/OFF」⇒ ②⑤「OFF」⇒ ④【登録】

お知らせ

- 一時停止したアラームを再開するには、上記手順で ①④「ON」を選択してください。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに

⑥【停止】または ⑥【PWR】

お知らせ

- アラーム動作中に着信／メール受信があると、アラーム動作を停止します。
 - スヌーズ設定が「ON」のときは、「スヌーズを解除しますか？」と表示されます。
 - ・スヌーズを解除するときは：「はい」を選択し、⑥【決定】を押す
 - ・スヌーズを解除しないときは：「いいえ」を選択し、⑥【決定】を押す
- 約5分後、再度アラームが鳴ります。

時計の表示方法を設定する

〈表示モード〉

機能番号42

待受画面の時計の表示方法を設定します。

待受画面で

⑥【MENU】⇒ ④⑤ ②⑥

以下の項目から選択します。

①④ 24時間表示	時刻を24時間(0：00～23：59)で表示します。
②⑤ 12時間表示	時刻を12時間(0：00～11：59)で表示します。 午前は時刻の前に「A」、午後は「P」が表示されます。



カレンダーを表示する

〈暦(こよみ)〉

機能番号44

待受画面で

⑥【MENU】⇒ ④⑤ ④⑤

今月のカレンダーが表示されます。



お知らせ

- カレンダー画面表示中は、以下の操作を行うことができます。

⑥	前の月を表示します。
⑥	次の月を表示します。
④【戻る】	カレンダー画面を終了します。

- 表示できる月は、2007年1月～2009年12月までです。
- カレンダー画面からは、スケジュールに登録した内容は確認できません。

スケジュール機能を使う

〈スケジュール〉

機能番号81

会議や待ち合わせ時間など、スケジュールを登録しておくと、指定した日時にアラームでお知らせします。スケジュールは7件まで登録できます。

お買い上げ時：
「未登録」

スケジュールを登録／編集する

待受画面で

1 [MENU] ⇒ ⇒

～ で登録／編集する番号を選択

以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。



1 日時	⇒ 日付時刻を入力し、 [決定]
お買い上げ時： 「現在日時表示」	指定した日時にアラームを鳴らします。 西暦は下2桁、時刻は24時制で入力します。 入力できる日時は、2007年1月1日 0：00～2099年12月31日 23：59 までです。
2 内容	⇒ スケジュールの内容を入力し、 [決定]
お買い上げ時：「未登録」	入力できる文字数は全角26文字、半角52文字までです。
3 アラーム音量	⇒ でアラーム音量を選択し、 [決定]
お買い上げ時： 「音量レベル2」	指定した音量でアラームを鳴らします。 押すごとに、選択した音量で現在設定されているアラーム音を再生します (マナーモード設定中は、再生されません)。音量は、OFFと音量レベル1～3、 STEPから選択できます。
4 アラーム音種	⇒ ～ 、、 でアラーム音を設定する
お買い上げ時： 「花のワルツ」	設定したアラーム音でアラームを鳴らします。 で選択し、 [再生]を押すとアラーム音を再生できます。 再生中に [OK]を押すと、選択したアラーム音に設定されます。マナー モード設定中は、マナーモードの一時解除画面が表示されますので、「はい」を 選択し、 [決定]を押すと再生されます。 選択できるアラーム音については「着信メロディを設定する」(※124ページ) をご参照ください。
5 バイブ設定	⇒ 「OFF」または ～ でパターンを設定する
お買い上げ時：「OFF」	設定したパターンでバイブレータを動作させます。 でパターンを選択すると、選択したパターンでバイブレータが動作します。 バイブレータ動作中に [決定]を押すと、選択したパターンに設定されます。
6 LED設定	⇒ 「OFF」または ～ でパターンを設定する
お買い上げ時：「OFF」	設定したパターンでLED (表示ランプ)を点滅させます。 でパターンを選択すると、選択したパターンでLEDが点滅します。LEDの 点滅中に [決定]を押すと、選択したパターンに設定されます。

2 [登録]を押す

お知らせ

- 電源を切っていると、アラームは動作しません。
- マナーモード設定中は、アラーム音は鳴りません。
- スケジュールは、待受画面で を押しても表示できます。
- 以下の状態では、アラームは動作しません。
 - ・ 通話中／発信中／着信中
 - ・ 留守応答中／録音中／再生中
- スケジュールの日時が重複して設定されたときは、スケジュールの番号順(1～7)に優先されます。
- スケジュールとアラーム(※145ページ)の時刻が重複して設定されたときは、スケジュールが優先されます。

スケジュールを削除する

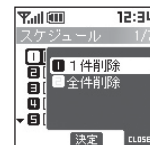
待受画面で

[MENU] ⇒ ⇒

で削除するスケジュールを選択 ⇒ [MENU]

以下の項目から選択します。

1 1件削除	⇒ 「はい」を選択し、 [決定]
	選択したスケジュールを削除します。
2 全件削除	⇒ 「はい」を選択し、 [決定]
	スケジュールをすべて削除します。



電卓を使う

〈電卓〉

機能番号82

電卓として使用します。電卓はディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

1 [MENU] ⇒ ⇒

2 ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

	＋ (たす)		= (計算結果表示)
	－ (ひく)		小数点を入力します。
	× (かける)		C (表示している数字のクリア)
	÷ (わる)		



お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき を押すとエラーが解除されます。

メモ帳を使う

〈メモ帳〉

機能番号84

本製品をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は10件まで登録できます。

お買い上げ時：
「未登録」

メモを登録／編集する

待受画面で

⊙ [MENU] ⇒ ⑧ ④ ⇒ ① ~ ⑤ で登録／編集する

メモ帳を選択 ⇒ メモを入力 ⇒ ⊙ [決定]



お知らせ

- 入力できる文字数は1件あたり全角32文字、半角64文字までです。

メモを削除する

待受画面で

⊙ [MENU] ⇒ ⑧ ④ ⇒ ⊙ で削除するメモ帳を選択 ⇒

□ [MENU]

以下の項目から選択します。

① 1件削除	⇒ 「はい」を選択し、⊙ [決定] 選択したメモ帳を削除します。
② 全件削除	⇒ 「はい」を選択し、⊙ [決定] メモ帳をすべて削除します。



電波の送受信を停止する

〈停波モード〉

機能番号85

電源を切らずに、電波の送受信を停止することができます。電話の発信、着信、メールの送受信はできなくなります。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

⊙ [MENU] ⇒ ⑧ ⑤

以下の項目から選択します。

① ON	電波の送受信を停止します。
② OFF	電波の送受信を行います。



お知らせ

- 停波モードを「ON」にすると、ディスプレイの電波状態表示は「▼OFF」になります。

小さな声で話せるように設定する

〈小声通話〉

機能番号61

公共の場所や静かな場所で、周囲に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。小声通話中は小さな声でお話しても、相手には通常の声の大きさと伝わります。

待受画面で

⊙ [MENU] ⇒ ⑥ ①

以下の項目から選択します。

① ON	通話中は小声通話に設定されます。
② OFF	通話中は通常の状態です。

お知らせ

- 小声通話で通話中は、画面に「🔊」が表示されます。
- 小声通話中は、相手の声も少し大きく聞こえます。ただし受話音量を最大にしているときは変わりません。
- 通話中に小声通話を設定／解除することもできます(※43ページ)。



相手が応答したことをお知らせする

〈応答バイブ〉

機能番号64

電話をかけたとき、相手が応答したことを振動(バイブレータ)でお知らせします。Eメール／ライトEメール／ライトメールは応答バイブではお知らせしません。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で

⊙ [MENU] ⇒ ⑥ ④

以下の項目から選択します。

① ON	応答バイブを設定します。
② OFF	応答バイブを解除します。



充電中にW-SIMの電話帳を更新する

〈充電中更新〉

機能番号67

充電するときに、W-SIMの電話帳の更新を自動的に行うように設定します。

待受画面で

⊙ [MENU] ⇒ ⑥ ⑦

以下の項目から選択します。

① ON	充電すると、W-SIMの電話帳が自動的に更新されます。
② OFF	充電してもW-SIMの電話帳は更新されません。

お買い上げ時：
「OFF」



現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報をセンターに通知します。別途、ウィルコム的位置検索サービスにお申し込みになると、この情報をもとに位置情報サービスをご利用になります。

- **LI (Location Information / 位置情報通知) 機能**：本製品が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。
- **自動位置情報送出**：LI機能を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。本製品に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の送出を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

LI機能を設定する

〈LI設定〉 機能番号68

LI (Location Information / 位置情報通知) 機能を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができます。遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。

自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。

- 自動位置情報送出
- 位置情報を通知する電話番号(通知許可番号)の登録／修正／消去
- 位置情報送出時の送出確認音(着信音)の設定

待受画面で

☰ [MENU] ⇒ Ⓜ️ ⇒ Ⓜ️ ⇒ Ⓜ️ [ON] ⇒ Ⓜ️ [決定] ⇒

LI暗証番号を入力 (お買い上げ時：「0000」)

以下の項目から選択します。

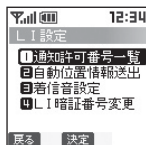
① 通知許可番号一覧	位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします(「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する」※153ページ)。
② 自動位置情報送出	通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします(「自動位置情報送出を設定する」※154ページ)。あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。
③ 着信音設定	自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします(「位置情報が通知されたときの着信音を設定する」※154ページ)。
④ LI暗証番号変更	LI機能を設定するための暗証番号(4桁の数字)を変更します(「LI暗証番号を変更する」※154ページ)。

お願い

- LI暗証番号は、136ページの暗証番号とは異なります。入力するときは、まちがえないようご注意ください。



LI設定画面



通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する

〈通知許可番号一覧〉

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。電話番号は20件まで登録することができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お買い上げ時：
通知許可番号：
「未登録」
通知許可パスワード：
「未登録」

LI設定画面で

① [通知許可番号一覧] ⇒ [未登録]を選択し、Ⓜ️ [決定] ⇒ 通知許可番号を入力し、Ⓜ️ [確定] ⇒ 通知許可パスワードを入力し、Ⓜ️ [決定] ⇒ もう一度通知許可パスワードを入力し、Ⓜ️ [決定] ⇒ 「はい」を選択し、Ⓜ️ [決定]



編集するとき

LI設定画面で ① [通知許可番号一覧] ⇒ 編集したい番号を選択し、Ⓜ️ [決定] ⇒ 通知許可番号を編集し、Ⓜ️ [確定] ⇒ 現在の通知許可パスワードを入力し、Ⓜ️ [決定] ⇒ 新しい通知許可パスワードを入力し、Ⓜ️ [決定] ⇒ もう一度新しい通知許可パスワードを入力し、Ⓜ️ [決定] ⇒ 「はい」を選択し、Ⓜ️ [決定]

お知らせ

- 入力できる通知許可番号は32桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。
- 通知許可番号と通知許可パスワードを登録すると、待受画面に「LI」が表示されます。LI機能または自動位置情報送出が「OFF」に設定されているときは、表示されません。

通知許可番号と通知許可パスワードを削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを削除します。

LI設定画面で

① [通知許可番号一覧] ⇒ 削除する番号を選択 ⇒ Ⓜ️ [MENU]

以下の項目から選択します。

① 1件削除	⇒ 「はい」を選択し、Ⓜ️ [決定] 選択した通知許可番号と通知許可パスワード削除します。
② 全件削除	⇒ 暗証番号を入力 ⇒ 「はい」を選択し、Ⓜ️ [決定] 通知許可番号と通知許可パスワードをすべて削除します。



自動位置情報送出手を設定する

〈自動位置情報送出〉

通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

LI設定画面で

②「自動位置情報送出」⇒①「ON」または②「OFF」

お願い

- 自動位置情報送出手機能を利用するときは、LI機能を「ON」に設定し（「LI機能を設定する」※152ページ）、有効な通知許可番号が登録されている必要があります（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する」※153ページ）。

お知らせ

- 自動位置情報送出手で位置情報を送る相手の電話番号は、通知許可番号で登録します（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録／編集する」※153ページ）。通知許可番号を登録すると、自動位置情報送出は自動的に「ON」に設定されます。
- 自動位置情報送出手を設定すると、待受画面に「LI」が表示されます。LI機能が「OFF」に設定されているときは、表示されません。



位置情報が通知されたときの着信音を設定する

〈着信音設定〉

自動位置情報送出手で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

LI設定画面で

③「着信音設定」⇒①「ON」または②「OFF」

お知らせ

- 送信確認音は、着信設定（※122ページ）の「音声着信」で設定されている内容で鳴ります。



LI暗証番号を変更する

〈LI暗証番号変更〉

LI機能を設定するための暗証番号を4桁の数字で設定します。お客様の位置情報などを保護するため、お買い上げ時の設定からお好みの番号に変更することをおすすめします。

お買い上げ時：
「0000」

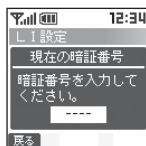
LI設定画面で

④「LI暗証番号変更」⇒LI暗証番号を入力⇒

新LI暗証番号を入力⇒もう一度新LI暗証番号を入力

お願い

- LI暗証番号は、136ページの暗証番号とは異なります。入力するときは、まちがえないようご注意ください。
- LI暗証番号は必ずメモを取るなどして、手元にお控えください。万一LI暗証番号をお忘れになった場合は修理での対応となりますので、ウィルコムサービスセンター（※187ページ）にお問い合わせください。



相手から位置情報送出の要求があったとき

LI機能および自動位置情報送出手を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している通知許可番号から位置情報送出の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

お知らせ

- 本製品の操作中に位置情報送出の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出手が終了すると、待受画面に戻ります。

国際ローミングを利用する

〈国際ローミング〉

機能番号86

ウィルコムに、別途国際ローミング契約をお申し込みになると、本製品が台湾／タイ／ベトナムでも使えるようになります。

台湾／タイ／ベトナムでご使用になる場合には、本製品をローミングモードに切り替える必要があります。詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

ローミングモードに切り替える

〈地域／事業者選択〉

機能番号861

ローミングモードで使用するには、ローミングモードへ切り替える必要があります。

お買い上げ時：
「日本」

待受画面で

① [MENU] ⇒ ③ 台湾 ④ タイ ⑤ ベトナム

以下の項目から選択します。

① 日本	日本／ウィルコム
② 台湾	台湾／大衆電信 (FITELE)
③ タイ	タイ／true
④ ベトナム	ベトナム／VNPT



② 「はい」を選択し、[決定]

お願い

- 日本以外の地域での使用後、日本に帰国した際は、必ずローミングモードを「日本」に切り替えてください。

お知らせ

- ローミングモードを日本以外の地域に切り替えると、待受画面に「R」が表示されます。
- ローミングモードでは、次の機能はご利用になれません。
 - ・安全運転モードのネットワーク応答、ネットワーク録音
 - ・発信者番号付加機能 (184、186)
 - ・留守番電話サービス
 - ・分計発信
 - ・ライトメール
 - ・ライトEメール
 - ・Eメール

ローミングモードで電話をかける

ローミングモードで電話をかけるには、直接相手の電話番号を入力し、 または 【発信】を押します。

ローミング国・地域から日本など他の国や地域に電話をかけるときには、国際プリフィックス番号の入力が必要となります。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードのご利用時に、日本など他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本製品では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

例：日本の「070-1234-xxxx」という番号に電話をかける場合

待受画面で

1

選択した国や割り当てられた国際プリフィックス番号が表示されます。

2

日本の国番号を入力します。

3 ⇒ ⇒ **【×】【×】【×】【×】**

相手の電話番号から、先頭の「0」を除いた番号(ここでは「701234xxxx」)を入力します。

●着信履歴または電話帳に登録されている電話番号に国際プリフィックス番号を付加して電話をかけるには、以下の手順を行います。

■着信履歴から電話番号を入力する場合

⇒ 着信履歴を選択し、 【決定】

■電話帳から電話番号を入力する場合

⇒ 電話帳を検索し、 【決定】 ⇒ 電話番号を選択し、 【決定】

着信履歴や電話帳から電話番号を入力する場合も、相手の電話番号先頭の「0」を除いた番号を入力します。

にて、相手の電話番号先頭の「0」まで移動し、削除してください。

4 または 【発信】を押す

ローミングモードで電話を受ける

ローミングモードで電話を受けるには、ローミング電話番号、PHS電話番号(070-△△△△-△△△△)のどちらでも電話を受けることができます。ただし、PHS電話番号で電話を受けるには、ウィルコムへの「ローミング先転送」のお申し込みが必要となります。

ローミング情報を登録する

〈ローミング情報登録〉機能番号862

ローミング情報の登録は、手入力による登録と、ローミングメール登録の2通りがあります。ここでは、手入力による登録方法を説明します。

待受画面で

1 【MENU】 ⇒

■台湾の場合

2 「台湾」⇒ **ローミング電話番号(32桁まで)を入力し、 【確定】**

■タイ／ベトナムの場合

2 「タイ」または 「ベトナム」を押す

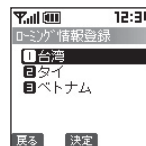
以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

登録日時	ローミング情報が登録された日時を表示します。 (選択できません。)
ローミング先PS-ID	⇒ ローミング先PS-IDを入力し、 【確定】 入力できる桁数は9桁までです。
PS番号	⇒ PS番号を入力し、 【確定】 入力できる桁数は13桁までです。
ローミング電話番号	⇒ ローミング電話番号を入力し、 【確定】 入力できる桁数は32桁までです。
暗証番号登録	⇒ 暗証番号を入力し、 【確定】 入力できる桁数は2桁までです。

3 【MENU】 ⇒ 「登録」

お知らせ

- ローミングメール登録とは、お客様がウィルコムサービスセンターで国際ローミングのお申し込みをされた後、約1時間程でライトメールにて通知され、自動的に本製品に登録される方法です。登録のしかたは「受信ライトEメール/ライトメール詳細画面のメニューを使う」(※108ページ)をご参照ください。
- ローミング電話番号を登録すると、登録した電話番号を「プロフィール」(「自分の電話番号を確認する」※140ページ)で確認することができます。
- 登録したローミング情報は、W-SIMにも保存されます。



ローミング情報登録画面(タイの場合)



ローミング情報登録画面(ベトナムの場合)



タイ／ベトナムのローミング情報をリセットする

待受画面で

Ⓜ [MENU] ⇒ Ⓜ ⇒ Ⓜ ⇒ Ⓜ ⇒

Ⓜ 「タイ」または Ⓜ 「ベトナム」 ⇒ Ⓜ [MENU] ⇒

Ⓜ 「登録消去」

ローミング情報登録
メニュー画面
(タイの場合)



ローミング情報登録
メニュー画面
(ベトナムの場合)



10

ウィルコム各種サービス

国際電話サービスについて(申し込み不要)	160
位置検索サービスについて	160
留守番電話サービスについて	160
メッセージを確認する	160
メッセージを聞く	161
留守番電話サービスの設定を変更する	161
安全運転モードについて(申し込み不要)	162
着信転送サービスについて(申し込み不要)	162
料金分計サービスについて	163
料金分計で電話をかける	163
国際ローミングサービスについて	164

国際電話サービスについて(申し込み不要)

ウィルコム国際電話サービスを利用して、世界約240の国と地域へ国際電話をかけることができます(「国際電話をかける」※41ページ)。詳しくは、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

位置検索サービスについて

ウィルコムの位置検索サービスは、ウィルコムのきめこまやかなマイクロセルネットワークを利用することで、GPSの電波が届かない建物の中や地下街にいても、位置検索サービスにお申し込みのウィルコムの電話のおおよその位置を地図で確認することができます。ご利用いただくにはあらかじめお申し込みが必要です。

このサービスを利用することによって、現在の位置情報を通知することができます(「現在の位置情報を通知する」※152ページ)。詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

留守番電話サービスについて

電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるとき、また、エリア内にいてもすぐに電話に出られないときや通話中のときに、ウィルコムの「留守番電話センター」がお客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。ご利用いただくにはあらかじめお申し込みが必要です。お預かりしたメッセージは、お使いの本製品の他に、プッシュ信号を送信できる一般加入電話や公衆電話からも聞くことができます。

- 留守番電話サービスは以下の条件にてメッセージをお預かりします。
 - メッセージの最大保存件数：20件
 - メッセージの最大録音時間：1件あたり約60秒
 - メッセージの保存期間：約73時間(保存操作を行うことで、さらに約73時間保存されます)
- お買い上げ時は呼出回数7回(約20秒)で留守番電話センターにおつなぎします。
- 呼出回数は1～15回まで選択することができます。
- 「着信転送サービス」と同時に利用することはできません。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お願い

- 本製品の留守電設定(「電話に出られないときに相手の用件を録音する」※49ページ)とは異なりますのでご注意ください。本製品の留守電設定では、サービスエリア外でメッセージを受け取ることはできません。
- 留守番電話サービスでEメール/ライトEメール/ライトメールをお預かりすることはできません。
- 留守番電話サービスをご利用いただくには、ウィルコムへお申し込みが必要です。

メッセージを確認する

待受画面で

1. [MENU] → 9. [1] → 1. [2] または 2. [発信] →

数秒後、「ツー」という音を確認し、3. [戻る]

上記操作後、ディスプレイをご確認ください。メッセージをお預かりしているときには「センター留守録あり」と表示されます。

メッセージを聞く

〈留守電サービス再生〉機能番号912

■お使いの本製品からメッセージを聞く場合

待受画面で

1. [MENU] → 9. [1] → 1. [2] または 2. [発信] →

ガイダンスに従って操作する



お知らせ

- メッセージを聞く前に、だれからのメッセージかを確認するには、以下の手順で行います(発信者番号読み上げサービス)。

待受画面で 9. [1] → 1. [2] または 2. [発信]

■一般電話や公衆電話からメッセージを聞く場合

0077-780-931に電話をかける → ガイダンスに従って操作する

お使いの本製品の電話番号と、留守番電話サービスの暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- ここで入力する暗証番号は、留守番電話サービス専用の番号です。お使いの本製品の暗証番号とは異なります。
- プッシュ信号を送信できる電話機以外では、メッセージを聞くことはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する 〈留守電サービス設定〉機能番号911

留守番電話サービスの各種設定を変更します。受付時間は5:00～24:00(年中無休)です。

■お使いの本製品から設定を変更する場合

待受画面で

1. [MENU] → 9. [1] → 1. [2] または 2. [発信] →

ガイダンスに従って操作する



■一般電話や公衆電話から設定を変更する場合

0077-776に電話をかける → ガイダンスに従って操作する

お使いの本製品の電話番号と、留守番電話サービスの暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

- ここで入力する暗証番号は、留守番電話サービス専用の番号です。お使いの本製品の暗証番号とは異なります。
- プッシュ信号を送信できる電話機以外では、設定変更できません。

安全運転モードについて(申し込み不要)

運転中に電話がかかってきたときに、運転の妨げにならないようにウィルコム の 基 地 局 から、か け てきた相手に電話に出られないことをお知らせするメッセージを流すサービスです。

また、ウィルコムの留守番電話サービス(※160ページ)にお申し込みいただくと、運転中にかかってきた相手のメッセージを留守番電話センターでお預かりすることもできます。

- ウィルコムの安全運転モードを利用するには、本製品の安全運転モードの応答先と応答方法を「ネットワーク録音する」または「ネットワーク応答のみ」に設定してください(※52ページ)。
 - ・「ネットワーク録音する」に設定するためには、あらかじめ「留守番電話サービス」へのお申し込みが必要です。
 - ・「ネットワーク録音する」に設定したときのメッセージの再生方法は、留守番電話サービスでのメッセージを聞く場合と同じです(「メッセージを聞く」※161ページ)。

着信転送サービスについて(申し込み不要)

電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるとき、また、エリア内においても通話中のときに、かかってきた電話を他の電話に転送するサービスです。転送先は他のウィルコムの電話機や一般電話、携帯電話などから選択できます。ご利用はあらかじめ登録が必要です。

- 海外への転送には対応しておりません。
- 「留守番電話サービス」と同時に利用することはできません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。
- 転送先には、発信者番号や非通知理由は表示されません。
- 転送先までの通話料金はお客様が負担していただくことになります。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お知らせ

- 留守番電話サービスと同様の番号にダイヤルして設定を変更できます(「留守番電話サービスの設定を変更する」※161ページ)。

料金分計サービスについて

ウィルコムでは、通話料金の請求先を2ヶ所に分けることができる「料金分計サービス」を行っています。ビジネスとプライベートの使い分けなどにご利用ください。ご利用にはあらかじめお申し込みが必要です。

- 料金分計の設定は1回の通話ごとに解除されます。
- 詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

お知らせ

- 料金分計サービスをご利用いただくには、ウィルコムへお申し込みが必要です。

料金分計で電話をかける

例：電話番号を入力して電話をかける場合

待受画面で

電話番号を入力 ⇒  **[MENU]** ⇒  **「分計設定」** ⇒

 **または**  **【発信】**

通話が終わったら、 を押します。料金分計設定はこの通話のみで、次回以降利用する場合は同様に分計発信の操作をする必要があります。

お知らせ

- 料金分計サービスをお申し込みでない場合は、設定しても料金を分けることはできません。
- 以下の機能では、料金分計サービスをご利用になれません。
 - ・ライトメール
 - ・ライトEメール
 - ・国際ローミングモードでの通話Eメールを送受信するときに、料金分計に設定することができます。(「Eメールを料金分計に設定して送信する」(※94ページ)「Eメールを料金分計に設定して受信する」(※101ページ))
- 分計設定をすると、画面に「」が表示されます。
- 料金分計サービスは、以下の場合にもご利用が可能です。
 - ・電話帳から電話をかけるとき
 - ・発信履歴や着信履歴から電話をかけるとき
- 分計設定をして発信した電話番号は、発信履歴詳細画面で電話番号を選択し、 **【決定】**を押すと、画面に「」が表示されます。

国際ローミングサービスについて

ウィルコムに別途国際ローミング契約をお申し込みになると、本製品が台湾／タイ／ベトナムでも使用できるようになります。（「国際ローミングを利用する」155ページ）。詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

お知らせ

- ローミングモード中に、PHS電話番号(070-△△△△-△△△△)にかかってきた電話を受けるには、ウィルコムの「ローミング先転送」へのお申し込みが必要です。

11

付 録

主な仕様	166
バッテリーの交換	166
バッテリーを取り付ける	166
バッテリーを取り外す	167
故障とお考えになる前に	168
本体について	168
オンラインサインアップについて	169
Eメール／ライトEメール／ライトメールについて	169
携帯電話／PHS端末のリサイクルについて	170
機能一覧	171
各機能の選択項目一覧	175
定型文一覧	175
記号一覧	176
絵文字一覧	177
アニメーション絵文字一覧	177
フレーム一覧	178
索引	179
お問い合わせ先	187
株式会社ネットインデックス	187
ウィルコムサービスセンター	187
通話相手先電話番号の照会方法について	187
保証書	裏表紙

主な仕様

質量	約75 g (バッテリー装着時)
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約45.0 mm × 125.0 mm × 14.3 mm
連続待受時間	約490時間
連続通話時間	約5.0時間
LCDサイズ(ヨコ×タテ)	約128 × 128ドット

お知らせ

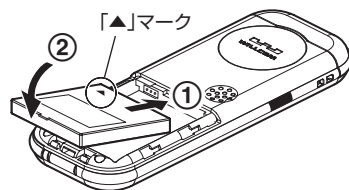
- 連続待受時間や連続通話時間は、充電状態や気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより短くなることがあります。

バッテリーの交換

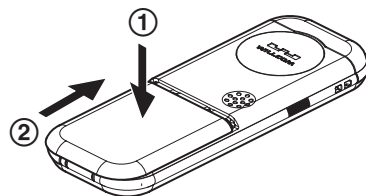
お買い上げ時にはバッテリーは装着されていません。交換する場合は必ず電源をOFFにしてください。

バッテリーを取り付ける

- 1 バッテリーのラベル面を上向きにして、「▲」マークの方向へ①のように差し込み、②の方向へしっかりと押し込む

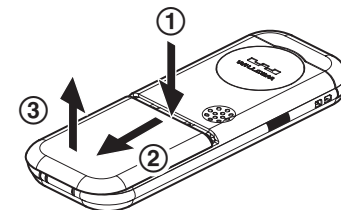


- 2 ①のようにバッテリーカバーを載せ、②の方向にスライドさせて確実に取り付ける

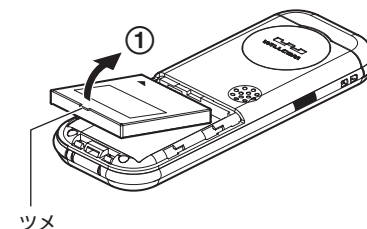


バッテリーを取り外す

- 1 ①を押しながら、②の方向に止まるまでスライドさせ、③の方向にカバーを持ち上げて取り外す



- 2 バッテリーのツメを持って、①の方向に取り外す



お願い

- バッテリーカバーは確実に取り付けてください。バッテリーカバーを確実に取り付けないと、水滴などが浸入し、故障の原因となります。
- 取り付け／取り外しの際にバッテリーに無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。傷害、故障、破損の原因となります。

故障とお考えになる前に

まず、以下のことをご確認ください。それでも改善されない場合は、当社サポートデスクまでお問い合わせください。

本体について

症状	原因
電源が入らない	● (電源ボタン) を約5秒以上押していますか(※33ページ)。 ● バッテリーは正しく取り付けられていますか(※166ページ)。 ● バッテリーは十分に充電されていますか(※24、31ページ)。
電話がかけれない	● 電話番号が間違っていないですか(市外局番からダイヤルしていますか)。 ● 「圏外」が表示されていませんか(※24ページ)。 ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(※24ページ)。 ● 停波モードを設定していませんか(※150ページ)。 ● (通話中) を押ししましたか(※36ページ)。 ● 電話帳ロックが設定されていませんか(※134ページ)。 ● ダイヤルロックが設定されていませんか。暗証番号を入力して解除してください(※135ページ)。 ● W-SIMを取り付けていますか(※32ページ)。 ● W-SIMが抜けていませんか(※32ページ)。
着信音が鳴らない	● 着信音量が「OFF」に設定されていませんか(※123ページ)。 ● マナーモードが設定されていませんか(※53ページ)。 ● 安全運転モードが設定されていませんか(※51ページ)。
電話がかかってこない	● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(※24ページ)。 ● 停波モードを設定していませんか(※150ページ)。 ● 着信拒否を設定していませんか(※55ページ)。 ● 着信転送を設定していませんか(※162ページ)。 ● 電源を「OFF」にしていますか(※33ページ)。 ● W-SIMを取り付けていますか(※32ページ)。 ● W-SIMが抜けていませんか(※32ページ)。
充電ができない	● ACアダプタをコンセントに差し込んでいますか(※31ページ)。 ● 周囲の温度が高いかもしくは低いと保護機能がはたらき、充電できない場合があります。(※31ページ)。
バッテリーを利用できる時間が短い	● 圏外や電波の届きにくい場所でのご利用やメールなどのご利用が多い場合は、バッテリーの消耗が早くなります。 ● 通常のご使用で利用時間が短い場合はバッテリーの寿命です。交換してください。
相手の声が聞こえない	● 受話音量が最小になっていませんか(※43、127ページ)。
電話帳が使えない	● 電話帳ロックが設定されていませんか(※134ページ)。 ● W-SIMを取り付けていますか(※32ページ)。 ● W-SIMが抜けていませんか(※32ページ)。

オンラインサインアップについて

症状	原因
オンラインサインアップができない(ユーザーネーム*が登録できない)	● 以下のような、不適当な入力をしていませんか。 ・先頭にスペースが入っていませんか。 ・@より右側は入力しないでください。 ・頭文字は必ず英字にしてください。 ・3文字以下または21文字以上入力していませんか。 ● すでに登録されているユーザーネーム*では登録できません。

* ユーザーネームとは、Eメールアドレスの@より左側の部分の文字列のことです。

Eメール/ライトEメール/ライトメールについて

症状	原因
Eメール/ライトEメール/ライトメールの受信ができない	● オンラインサインアップを済ませましたか(※85ページ)。 ● 「圏外」が表示されていませんか(※24ページ)。 ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(※24ページ)。 ● 停波モードを設定していませんか(※150ページ)。 ● 発信番号通知が「OFF」に設定されていませんか(※40ページ)。 ● 受信しようとしたメールのサイズが大きすぎると受信できなかったり、途中で切れてしまう場合があります。 ● E-mail受信フォルダが一杯になっている可能性があります。その場合は、不要なメールを削除してください。Eメールの場合は、削除後、センター問い合わせによりメールを受信してください(※101ページ)。 ● W-SIMを取り付けていますか(※32ページ)。 ● W-SIMが抜けていませんか(※32ページ)。
受信メールの絵文字が見えない	● 異なる機種種のPHSや携帯電話、またはパソコンなどから送信されたメールでは、絵文字が表示されない場合があります。
受信メールが文字化けしている	● パソコンからのメールは文字化けする場合があります。
Eメール/ライトEメール/ライトメールの送信ができない	● オンラインサインアップを済ませましたか(※85ページ)。 ● 「圏外」が表示されていませんか(※24ページ)。 ● サービスエリア外、または電波の届きにくい場所にいませんか(※24ページ)。 ● 停波モードを設定していませんか(※150ページ)。 ● 発信番号通知が「OFF」に設定されていませんか(※40ページ)。 ● 相手の電話機がメール対応機種でない場合は送信できません。 ● 送信アドレス/電話番号は正しく入力されていますか。 ● センター接続番号が正しくない場合があります。 ● 設定を確認し(※117ページ)、番号にまちがいがいない場合はウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。 ● W-SIMを取り付けていますか(※32ページ)。 ● W-SIMが抜けていませんか(※32ページ)。
Eメールをパケット方式で接続できない	● ご利用のW-SIMのバージョンにより、パケット方式でのご利用ができない場合があります。

携帯電話／PHS端末のリサイクルについて

携帯電話／PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機、バッテリー、充電器をブランド／メーカーを問わず下記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。



モバイル・リサイクル・ネットワーク

携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

やむを得ず、廃棄する場合は、各地方自治体の条例に従って処理するようお願い致します。梱包材、同梱物につきましても分別にご協力ください。

お願い

- 回収した電話機、バッテリー、充電器はリサイクルするためにご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報(電話帳、通信履歴、メールなど)は事前に消去してください(「登録内容や各機能の設定をリセットする」※136ページ)。

機能一覧

以下の操作で利用できる機能番号の一覧です。

待受画面で

⦿ [MENU] ⇒ 機能番号を入力

1 MAIL (メール)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
11	Eメール		91
111	新規作成		91
112	受信フォルダ		102
113	送信フォルダ		95
114	マイフォルダ	フォルダ1～5	106
115	Eメール受信		101
12	ライトメール／ライトEメール		96、98
121	新規作成		96、98
1211	ライトメール		98
1212	ライトEメール		96
122	受信フォルダ		102
123	送信フォルダ		97、100
124	マイフォルダ	フォルダ1～5	106
13	メール設定		113
131	定型文*	※175ページ	66
132	フォルダ名変更*		114
1321	Eメール	フォルダ1～5	114
1322	ライトメール／ライトEメール	フォルダ1～5	114
133	署名		115
1331	Eメール	未設定	115
1332	ライトメール	未設定	115
1333	ライトEメール	未設定	115
134	文字サイズ	標準	116
135	メール送達確認音	ON	116
136	センター番号変更		117
1361	Eメールセンター	PIAFS時：0077488865 パケット時：0570570002	117
1362	Eメール自動受信通知	0706961000	117
1363	ライトEメールセンター	*901	117
1364	オンラインサインアップ	0077488864	117
137	題名不要設定	OFF	117
138	Eメール削除設定	ON	118
139	Eメール通信方式	パケット	119
130	返信先指定	OFF	120
14	オンラインサインアップ		85

2 SOUND (音/バイブ/LED)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
21	着信設定		122
211	音声着信		122
2111	着信音量	音量レベル2	123
2112	着信メロディ	花のワルツ	124
2113	バイブ設定	OFF	124
2114	バイブ優先	OFF	125
2115	LED設定	OFF	125
2116	リマインダー設定	OFF	126
212	Eメール		122
2121	着信音量	音量レベル2	123
2122	着信メロディ	きらきら星変奏曲	124
2123	バイブ設定	OFF	124
2124	バイブ優先	OFF	125
2125	LED設定	OFF	125
2126	リマインダー設定	OFF	126
213	ライトメール		122
2131	着信音量	音量レベル2	123
2132	着信メロディ	オモチャの兵隊のマーチ	124
2133	バイブ設定	OFF	124
2134	バイブ優先	OFF	125
2135	LED設定	OFF	125
2136	リマインダー設定	OFF	126
214	ライトEメール		122
2141	着信音量	音量レベル2	123
2142	着信メロディ	メリーさんの羊	124
2143	バイブ設定	OFF	124
2144	バイブ優先	OFF	125
2145	LED設定	OFF	125
2146	リマインダー設定	OFF	126
215	マナーモード設定		53
2151	バイブON/OFF設定	ON	54
2152	LED設定	OFF	54
22	キー確認音	音量レベル2	126
23	保留音	カノン	127
24	受話音量	音量レベル3	127
25	通知音設定		128
251	経過時間	OFF	128
252	圏外警告音	OFF	128

3 DISPLAY (画面設定)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
31	待受画面	OFF	130
32	バックライト		130
321	液晶画面	20秒	130
322	キーパッド	ON	131
33	輝度調整	レベル3	131
34	コントラスト	コントラスト3	131
35	動画設定	ON	132

4 CLOCK (時計/アラーム設定)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
41	アラーム設定		145
411	アラーム1	OFF	145、146
412	アラーム2	OFF	145、146
413	アラーム3	OFF	145、146
42	表示モード	24時間表示	147
43	日時設定*	2007年1月1日00:00	34
44	暦(こよみ)	2007年1月	147

6 SETTING (各種設定)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
61	小声通話	OFF	151
62	エニーキーアンサー	OFF	42
63	発信番号通知	ON	40
64	応答バイブ	OFF	151
65	着信拒否		55
651	着信拒否設定		56
6511	音声着信	OFF	56
6512	ライトメール	OFF	56
6513	Eメール/ライトEメール	OFF	56
652	ユーザ非通知	OFF	55
653	公衆電話発信	OFF	55
654	通知不可能	OFF	55
66	ユーザ辞書		67
661	辞書登録*	未登録	67
662	学習辞書リセット*	—	68
67	充電中更新	OFF	151
68	LI設定*	OFF	152

7 SECURITY (セキュリティ)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
71	電話帳ロック*	解除	134
72	ダイヤルロック*	解除	135
73	電話帳シークレット*	解除	135
74	暗証番号変更*	0000	136
75	設定リセット		136
751	Function項目	—	136
752	出荷時設定	—	136
76	W-SIM設定		137
761	認証コード変更	—	137
762	認証設定*	解除	137

各機能の選択項目一覧

定型文一覧

No.	内容
1	よろしくお願いします。
2	ありがとうございました。
3	お疲れ様です。
4	さん、こんにちは。
5	今、何してるの？
6	飲みに行きませんか？
7	食事に行きませんか？
8	ごめんなさい。
9	今日は予定があります。また誘って下さいね。
10	今度いつ空いてますか？
11	どこか遊びに行こうよ！
12	時間に遅れます。
13	今、電話できません。後ほど、電話します。
14	今、出発しました。
15	時ごろに到着します。
16	おはようございます。
17	おやすみなさい。
18	いつもお世話になっております。
19	至急電話ください。
20	体調不良の為、お休み頂きます。

8 TOOLS (各種ツール)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
81	スケジュール	未登録	148
82	電卓	—	149
83	赤外線受信	—	142
84	メモ帳*	未登録	150
85	停波モード	OFF	150
86	国際ローミング		155
861	地域/事業者選択*	日本	155
862	ローミング情報登録		157
8621	台湾*	未登録	157
8622	タイ*	未登録	157
8623	ベトナム*	未登録	157

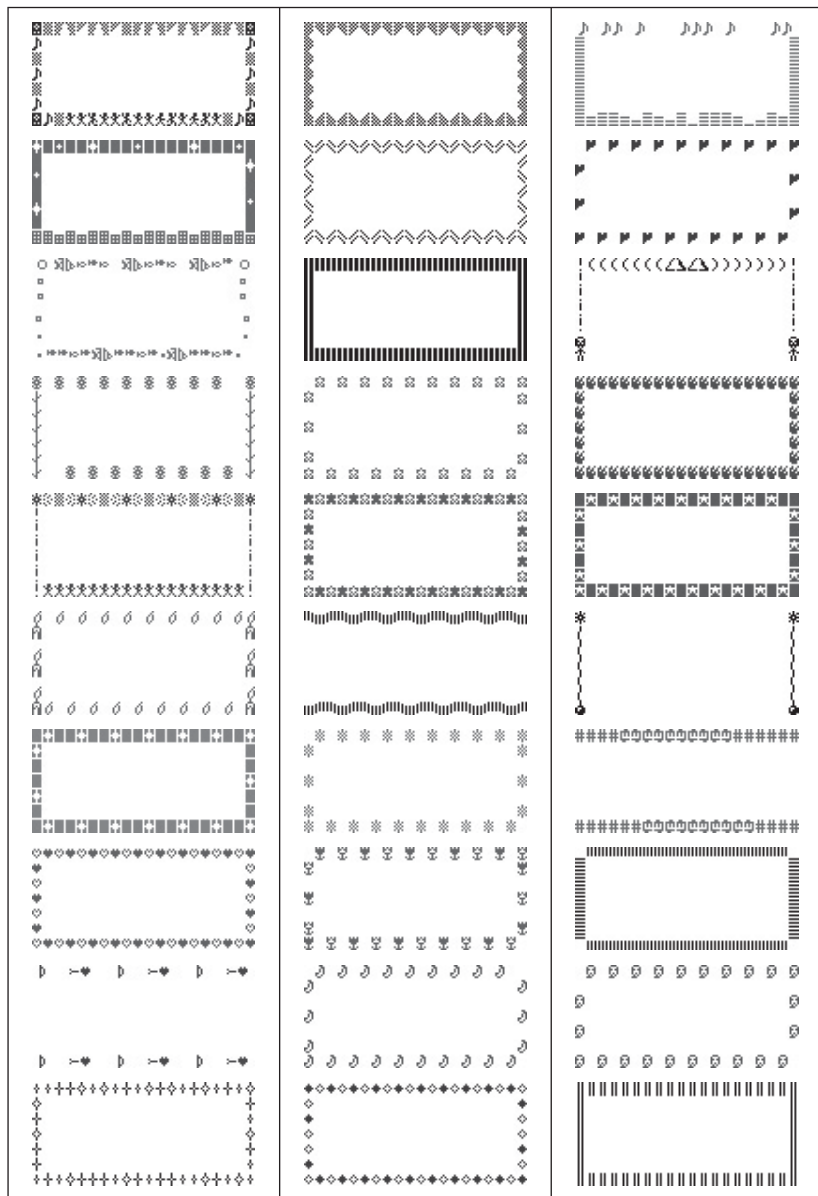
9 MESSAGE (留守電サービス)			
機能番号	機能名	お買い上げ時の設定	参照ページ
91	留守電サービス		160
911	留守電サービス設定	143	161
912	留守電サービス再生	*931	161
92	留守電機能		49
921	留守電設定	OFF	49
9211	留守電設定ON	固定	49
9212	留守電設定OFF	—	49
922	応答トーン設定*	未登録	50
923	留守録再生	—	50
93	安全運転モード	電話機録音する	52

※「Function項目」(※136ページ)ではリセットされない機能です。

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~。「」、°°

ゝ ˆ ˇ ˘ ˙ ˚ ˛ ˜ ˝ ; ? ! ^	φ χ ψ ω Α Β Γ Δ Ε
˚ ˛ ˜ ˝ _ \ ∞ ∫	Ε Ζ Ξ Ι Υ Κ Λ Μ Ν Ο
‰ # 全々 〇 — — — /	Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ц Ч Ш
\ ~ ... “ ”	Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в
() [] { } < >	г д е ё ж з и й к л
《 》 「 」 『 』 【 】 + -	м н о п р с т у ф х
± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥	ц ч ш щ ъ ы ь э ю я
∞ ∴ ♂ ♀ ° ’ ” ℃ ¥ \$	— Г г Л л Т т + +
¢ £ % # & * @ § ☆ ★	+ + Г г Л л Т т + +
○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽	+ + Г г Л л Т т + +
▼ ✕ 〒 → ← ↑ ↓ = ∈ ∃	+ + ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
≤ ≥ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ⇐ ⇒	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰
⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ∟ ∂ ∇ ≡ ≍	⑱ ⑲ I II III IV V VI VII VIII
<< >> √ ∞ ∞ ∴ ∵ ∶ ∷	IX X キ コ ケ カ ク ト ヌ ネ ノ
# b ♪ † ‡ ¶ ○ め 兎 牛	鼠 猫 狸 フル 犬 猪 鯉 鱈 mm cm
エ ヲ ン ヲ カ ケ A B Γ Δ	km mg kg cc m² 職 ” Na KK
E Z H Θ I K Λ M N Π	Tel ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊊ ㊋ ㊌
Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω	炬 驢 ♂ Σ L Δ
α β γ δ ε ζ η θ ι κ	
λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ	

[illegible]



数字・英字	
184設定	37
186設定	37
1件削除	38/40
ACアダプタ	3
Eメール	87/91
LED設定	125
削除	111
作成	91
受信	101
送信	79/97
着信音量	123
着信設定	122
着信メロディ	124
転送	104
パイプ設定	124
パイプ優先	125
分計設定	94/101
編集	95
返信	103
保護	112
保存	93
読む	100
リマインダー設定	126
Eメールアドレス	72/85
Function項目	136
LED設定	125
アラーム	145
グループ着信設定	81
スケジュール	148
Li暗証番号変更	154
Li設定	152
PINコード(認証コード)	137
W-SIM	3/32
W-SIMカバー	22
W-SIMカバー爪掛け部	22
W-SIM設定	137
W-SIMマニュアル更新	82

ア行	
アニメーション絵文字	
一覧	177
設定	98
アニメ設定	63/98
アラーム音	
アラーム	145
スケジュール	148
アラーム音量	
アラーム	145
スケジュール	148
アラーム設定	145
暗証番号	11
暗証番号変更	136
安全運転モード	51/162
アンテナサーチ	37
位置検索サービス	160
位置情報	152
位置情報送出要求	155
イヤースピーカー	22
引用	66
ウィルコムサービスセンター	187
ウィルコムシム	3/32
英字	60
液晶画面	130
エッジメール	119
エニキーアンサー	42
絵文字	64
一覧	177
応答トーク設定	50
応答パイプ	151
お問い合わせ先	187
音声着信	122
LED設定	125
着信音量	123
着信設定	122
着信メロディ	124
パイプ設定	124
パイプ優先	125
リマインダー設定	126
オンラインサインアップ	85/117

カ行	
カーソルキー	22/26
学習辞書リセット	68
カタカナ変換	61
壁紙	130
カレンダー	130/147
漢字・ひらがなモード	58
漢字変換	61
キー確認音	126
キーボード	131
キーロック	134
キーロックキー	22
記号	64
一覧	176
輝度調整	131
機能一覧	171
機能キー	27
機能番号	48
拒否リスト編集	56
クイックサイレント	44
クリッカブル	104
グループ検索	76
グループ設定	73
グループ着信設定	81
グループ名変更	80
経過時間	128
圏外警告音	128
公衆電話発信	55
小声通話	43/151
国際電話	41
国際電話サービス	160
国際ローミング	155
国際ローミングサービス	164
コネクタキャップ	22
コピー	37/65
小文字	60
暦(こよみ)	147
コントラスト	131
梱包品	3
サ行	
サポートデスク	187

シークレット設定	73
辞書登録	67
自動位置情報送出	154
充電	31
充電用ケーブル	3
充電時間	30
充電中更新	151
受信	100
受信フォルダ	102
受信メール一覧	102
出荷時設定	136
受話音量	43/127
受話口	22
仕様	166
署名	115
新規作成	91/96/98
数字	60
スクロールマーク	26
スケジュール	148
ストラップ取付部	22
スピーカー	22
スピードダイヤル	80
赤外線通信	142
赤外線通信ポート	22/142
設定リセット	136
全角英文字モード	58
全角カナ文字モード	58
センターキー	22/26
センター番号変更	117
操作ガイド表示エリア	24/25
送信フォルダ	95/97/100
送話口	22
ソート	112
タ行	
題名不要設定	117
ダイヤルキー	22/27
ダイヤルロック	135
濁点	60
地域/事業者選択	155
着信音設定	122/154
着信音量	123
グループ着信設定	81

着信拒否	40/55
着信拒否設定	55
着信設定	122
着信転送サービス	162
着信メロディ	124
グループ着信設定	81
着信履歴	39
通知音設定	128
通知許可パスワード	153
通知許可番号	153
通知不可能	55
通話キー	22
定型文	66
一覧	175
入力	65
編集	66
ディスプレイ	22/24
停波モード	150
電源	33
電源・終話キー	22/27
転送	104
電卓	149
電話	
受ける	42
かける	36
電話帳	70
更新	82
削除	77
登録	70
発信	78
編集	77
電話帳引用	63
電話帳検索	75
電話帳シークレット	135
電話帳新規	37/38/40/74
電話帳追加	37/38/40/74
電話帳ロック	134
電話番号	72
電話番号検索	76
動画設定	132
時計	34/147
取扱説明書	3

ナ行	
名前	71
日時設定	34
認証コード(PINコード)	137
認証コード変更	137
認証設定	137
ネットワーク録音/応答	52
ハ行	
パイプ設定	124
アラーム	145
グループ着信設定	81
スケジュール	148
パイプ優先	125
グループ着信設定	81
バックライト	130
発信番号通知	40
発信履歴	38
バッテリー	30
交換	166
リサイクル	11
バッテリーカバー	3/22
半角英文字モード	58
半角カナ文字モード	58
半角数字モード	58
半濁点	60
ピクト表示エリア	24
左機能キー	22/27
表示モード	147
ひらがな	59
フォルダ移動	111
フォルダ名変更	114
プッシュ信号	45
フレイム一覧	178
フレイム設定	63/98
プロフィール	140
プロフィール引用	63
分計設定	37
ベースト	37/65
返信	103
返信先指定	94/120
ポーズ	37

保護設定	112
保証書	3/裏表紙
保留	43
保留音	127

マ行

マイク	22
マイフォルダ	106
待受画面	130
マナー着信	44
マナーモード	53
右機能キー	22
メインメニュー	47
メール切替	63
メール設定	113
メール送達確認音	116
メールメニュー	90
メール履歴引用	63
メッセージ確認	160
メニュー	28
受信メール詳細画面	107/108
送信メール詳細画面	109/110
着信履歴画面	40
電話番号入力	37
発信履歴画面	38
メイン	47
メール	90
メール一覧画面	106
文字入力	63

メモ	74
メモ帳	150
メモリNo.検索	76
メモリ番号	74
文字サイズ	116
文字削除	60
文字入力	58
文字入力メニュー	63
文字入力モード	58

ヤ行

ユーザー登録	2
ユーザー辞書	67

ユーザ非通知	55
予測変換	61
読みカナ検索	75

ラ行

ライトEメール	88/96
LED設定	125
削除	111
作成	96
受信	100
送信	79/97
着信音量	123
着信設定	122
着信メロディ	124
転送	104
パイプ設定	124
パイプ優先	125
編集	97
返信	103
保護	112
保存	96
読む	100
リマインダー設定	126

ライトEメールセンター

ライトEメール	89/98
LED設定	125
削除	111
作成	98
受信	100
送信	78/99
着信音量	123
着信設定	122
着信メロディ	124
転送	104
パイプ設定	124
パイプ優先	125
編集	100
返信	103
保護	112
保存	98
読む	100
リマインダー設定	126

ライトメール作成	37
リサイクル	
携帯電話/PHS	170
バッテリー	11
リダイヤル	38
リチウムポリマーバッテリー	3
リマインダー設定	126
料金分計サービス	163
留守応答	44
留守電機能	49
留守電サービス再生	161
留守電サービス設定	161
留守電設定	49
留守番電話サービス	160
留守録再生	50
連続通話時間	30
連続待受時間	30
ローミングサービス	164
ローミング情報登録	157
ローミングモード	155

メモ

メモ

11

付
録

11

付
録

お問い合わせ先

本製品に関する技術的なお問い合わせは、下記サポートデスクまでご連絡ください。
また、修理を依頼される場合は、ウィルコムサービスセンターまでご相談ください。

■ 株式会社ネットインデックス

サポートデスク(通話料有料)		
受付時間	月曜日～金曜日 (土・日・祝および当社休日を除く) 当社休日については、当社ホームページをご覧ください	9:00～17:30
電話番号	一般加入電話／公衆電話から	0570-041-888
	携帯電話／PHSから	03-5250-0700
URL	http://www.netindex.co.jp/	

■ ウィルコムサービスセンター

ご利用のお申し込み・お問い合わせ(通話料無料)		
受付時間	月曜日～土曜日(日・祝日を除く)	9:00～19:00
電話番号	ウィルコムの電話から	局番なしの116
	一般加入電話／公衆電話／携帯電話／PHSから	0120-921-156

海外からのお問い合わせ(通話料有料)			
受付時間	日本時間	年中無休	9:00～19:00
	台湾時間	年中無休	8:00～18:00
	タイ・ベトナム時間	年中無休	7:00～17:00
電話番号	例)台湾からコールされる場合		009+81+3-5653-5648
	例)タイからコールされる場合		001+81+3-5653-5648
	例)ベトナムからコールされる場合		00+81+3-5653-5648

■ 通話相手先電話番号の照会方法について

通話相手先限定サービスに登録している相手先電話番号を確認するときは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせいただくか、下記のURLにアクセスしてご確認ください。

通話相手先電話番号の照会	
URL	https://picnic.willcom-inc.com/number/

保証書

この保証書は本書記載内容で無料修理をお約束するものです。万一保証期間内に故障した場合は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

製品名 WS005IN		シリアルNo.	
保証期間	お買い上げ日より1年間		
★お買い上げ日	年	月	日
★お客様	お名前 _____ 様		
	ご住所 〒 _____		
	電話番号 () -		
★販売店			

★印欄に記入のない場合は無効となりますのでご注意ください。

※修理・点検などのご相談はウィルコムサービスセンターまたは当社サポートデスクにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた個人情報修理業務のために使用いたします。予めご了承ください。

保証規定

- 取扱説明書、本体ラベル、その他注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合、保証期間内に限り無料修理、または他の機器との交換をいたします。
 - 本保証書はW-SIMを含みません。W-SIMの保証はW-SIM添付の保証書によります。
 - 保証期間内でも次のような場合は有料となります。
 - (1)保証書の提示がない場合、または必要事項の記入がない場合、又は字句を書き換えられた場合
 - (2)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障または損傷
 - (3)不当な修理や改造、または異常電圧に起因する故障または損傷
 - (4)使用中に生じた傷、汚れなど外観上の変化
 - (5)火災、地震、水害、落雷などの天災地変ならびに公害や盗難、水没などによる故障または損傷
 - (6)故障の原因が本製品以外にある場合
 - (7)消耗部品の交換、仕様変更など
 - 本製品の故障、誤動作、不具合に起因する付随的損害につきまして当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warrant is available only Japan.)
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理・点検などのご相談は、ウィルコムサービスセンターまたは当社サポートデスクにお問い合わせください。

製造元：株式会社 ネットインデックス

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル3F

URL <http://www.netindex.co.jp/>

サポートデスクTEL 0570-041-888 (一般加入電話・公衆電話から)

03-5250-0700 (携帯電話・PHSから)



- ・この取扱説明書の印刷には大豆インキを使用しています。
- ・この取扱説明書は再生紙を使用しています

第4版 2007年11月

NIX-M01-07009



NIX-M01-07009-04